

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

国 語

那須塩原市・那須町採択地区協議会

教科用図書の記号・番号・名称		種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名
国語727 新編 新しい国語 1	国語827 新編 新しい国語 2	国語927 新編 新しい国語 3	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)
	① 表現力と理解力の育成	① 表現力と理解力を育成するに際して、教材をパラランズ十の材を習った言葉類	① 「読むこと」の教材例 1年「スズメは本当に減っているのか」 2年「鯉節―世界に誇る伝統食」 3年「絶滅の意味」
	② 伝え合う力の育成	② 話し合いの段階を高める	② 話し合いを体験できる教材例 1年「話し合いで理解を深めよう」 2年「話し合いで問題を検討しよう」 3年「話し合いで問題を解決しよう」
	③ 思考力や想像力及び言語感覚を養うこと	③ 様々な社会問題を考える	③ 1年「ニュースの見方を考えよう」 2年「『正しい』言葉は信じられるか」 3年「いつものように新聞が届いた」
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 「話すこと・聞くこと」の学習を効果的に	(2) 「学びの扉」の例 1年「質問する」 2年「反論する」 3年「目的や相手に応じて説明する」	
(3) 各領域の能力を偏りなく養成しているか。	(3) 各学年とも本編の3箇所を	(3) 1年「本で世界を広げよう〈戦争・平和〉〈暮らし・文化〉」 2年「本で世界を広げよう〈人権〉〈科学・歴史〉」 3年「本で世界を広げよう〈日本文化〉〈現代社会〉」	
(4) 伝統的な言語文化に親しめるか。	(4) 巻頭には四季を編みこみ、	(4) 1年「古事記」、「土佐日記」、「伊勢物語」、「芭蕉・蕪村・一茶の句」 2年「清少納言と紫式部」、「漢詩の世界」 3年「恋の歌」、「『おくのほそ道』の旅」	

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 発達の段階を考慮し、心響く作品や、広い視野の発展を養い、教材の分量を適切に設定し、学習の負担を軽減する。	(1) 心の葛藤や成長を描いた教材 1年「飛べかもめ」、「さんちき」 2年「卒業ホームラン」、「走れメロス」 3年「百科事典少女」
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 身近な話題や、食・情報・災害・社会問題など、子どもが関心を持つような題材を配する。	(2) 言葉とメディアを扱った教材 1年「ニュースの見方を考えよう」 2年「『正しい』言葉は信じられるか」 3年「いつものように新聞が届いた」
	(3) 補充的な学習、発展的な学習を考慮しているか。	(3) 「言葉のひらき」や「言葉の宝庫」など、言葉の奥行きを深めるための教材を配する。	(3) 1年・2年・3年資料編「言葉をひろげよう」
	(4) 生きる力が身に付くように配慮しているか。	(4) 教材の構成や配列を工夫し、学習の意欲を高めるように配慮する。	(4) 1年「構成を考えて書こう」 2年「反対意見を想定して書こう」 3年「観察・分析して論じよう」
	(5) ユニバーサルデザインを考慮しているか。	(5) 色や文字の大きさ、フォントの大きさなどを配慮し、視覚障害のある子どもにも配慮する。	(5) 1年「根拠を明確にして書こう」 1年・2年基礎編「文法解説」
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成は適切か。	(1) 単元の構成や配列を工夫し、学習の意欲を高めるように配慮する。	(1) 単元の教材構成の例 1年「思いを捉える」「飛べかもめ」、「さんちき」(読む)「つなぐ言葉・指し示す言葉」(言語)「質問する」(学びの扉)「会話が弾む質問をしよう」(話す・聞く)
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 基礎的な学習から発展的な学習まで、段階的に学習を進められるように配慮する。	(2) 整理する力 1年「分類する」 2年「要約する」 3年「比較する」
	(3) 生活、他教科等との関連性について配慮しているか。	(3) 「生活と学習」の関連性を重視し、学習の意欲を高めるように配慮する。	(3) 1年「スズメは本当に減っているか」 2年「軽節―世界に誇る伝統食」 3年「絶滅の意味」
	(4) 漢字の提出が適切であるか。	(4) 新出漢字の提出は、教材の構成や配列を工夫し、学習の意欲を高めるように配慮する。	(4) 1年・2年・3年「広がる漢字」
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年の巻頭に折り込みで国語を学ぶ意義や1年間で学ぶことなどが分かりやすく示されている。</li> <li>キャラクターが設定され、生徒が親しみをもって学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>家庭学習ができる内容に家のマークが付けられ、家庭学習の習慣が身に付くよう配慮されている。</li> <li>巻末の学習用語や、教科書のページが記載され、学年ごとに違う内容に合わせた説明やルビが豊富に示されている。</li> </ul>	
	(2) 平成28年度採択見本となった点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1学年「さんちき」の挿絵ページが変更されている。</li> <li>作者の没年が加筆されている。</li> <li>「読書案内」の書籍が変更されている。</li> <li>第2学年「活用表」の使用単語の順序が入れ替わっている。</li> <li>「読書案内」の書籍が変更されている。</li> <li>読書案内「銀の匙」の解説文が改訂されている。</li> <li>第3学年「読書案内」のページで紹介される本の表紙が新版のものになっている。</li> <li>紹介された書籍が別のタイトルになっている。</li> </ul>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
発行 者 名				
1 年	2 年	3 年	学校図書株式会社	
国語728 中学国語1	国語828 中学国語2	国語928 中学国語3		
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。			
	① 表現力と理解力の育成	① 読解力の伸長と、自覚的な読解のために「発見する読み」で具体的な読み方のポイントが示されている。また、学習内容に表現活動が取り入れられ、表現力と理解力がバランスよく身に付くように配慮されている。	① 1年「視点を変えて深める構成」 2年「構成からの確な理解へ」 3年「問いのある読みへ」	
	② 伝え合う力の育成	② 学習内容の中に「意見交流活動」が入っており、互いの考えを伝え合う力が身に付くよう配慮されている。	② 1年「お気に入りを紹介しよう」 2年「魅力を伝えよう」 3年「世界に届ける言葉」	
	③ 思考力や想像力及び言語感覚を養うこと	③ 「読むこと」の教材が3段階に分かれており、段階的な発展学習ができるよう工夫されている。また、「ついた力の確かめ」が各単元末に配置され、再学習ができるよう配慮されている。	③ 「読むこと」の教材例 1年「風呂場の散髪」(第1段階) 「字のない葉書」(第2段階) 「兄やん」(選択教材)	
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 「単元を貫く言語活動」の典型を示し、各学年とも学習指導要領に示された言語活動が行えるように配慮されている。	(2) 1年「私のブックデザイン」 2年「想像する言葉」 3年「世界に届ける言葉」		
(3) 各領域の能力を偏りなく養うことや読書習慣の形成をねらいとしているか。	(3) 各学年とも、読書教材として様々なジャンルの作品が取り上げられている。また、関連図書が紹介されており、読書活動が広がるよう工夫されている。	(3) 1年「木精」「自由訳『イマジン』」 2年「坊っちゃん」「宇宙が叫ぶ」 3年「少年-海」 「ハールハ-ハ-の授業」		
(4) 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 各学年の古典単元冒頭に、「古典解説」が掲載される。作品読解の観点がわかるようになっている。また、巻末資料・折り込み・「古典コラム」などで、視覚情報と解説をつけることで、わかりやすいような配慮がされている。	(4) 古典解説 1年「言葉の向こうに」 2年「言葉の力」 3年「言葉との出会い」		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化されているか。</p>	<p>(1) 発達段階を考慮し、生徒が共通感し、考え方を深めるとともに、戦争・平和を題材に作品が多い。</p> <p>(2) 様々な考文や視点をもち、文学的文章・説明的文章が多数掲載され、生徒の気づきや興味・関心に適応している。</p> <p>(3) 巻末の「言語学習」において、古典文法等が各学年「8」に紹介され、取り上げられていく。</p> <p>(4) 各教科の最後、「ついでに」欄で「学びの窓」が設けられ、漢字の書き込みや「漢字の成り立ち」が紹介されている。</p> <p>(5) 「漢字の成り立ち」は、漢字の成り立ちを詳しく説明している。</p>	<p>(1) 戦争・平和を題材とした教材 1年「字のない葉書」「イジメ(抄)」 2年「目撃者の目」「挨拶」 3年「輝ける闇」「黒い雨」</p> <p>(3) 1年・2年・3年「言語の学習」 「古典に親しむために」 (発展を含む)</p> <p>(4) 1年・2年・3年「学びの窓」</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 単元の教材構成は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(4) 漢字の提出が適切であるか。</p>	<p>(1) 1つの単元は、概ね「読むこと」「話すこと」「書くこと」「漢字」の4つで構成されている。</p> <p>(2) 言語の学習では、系統的に設定されたテーマに沿って学習ができるよう配慮されている。</p> <p>(3) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の4つを、生活や学習の場面で活用できるように工夫されている。</p> <p>(4) 新出漢字は、教材文の下段と6年生の漢字の提出が適切である。</p>	<p>(1) 単元構成の例 1年 絆一家族の中で「風呂場の散髪」(読む) 「お気に入りを紹介しよう」(話す・聞く) 「漢字の成り立ち」(言語)</p> <p>(2) 1年「漢字を見抜く」 2年「語を見抜く」 3年「文字を見抜く」</p> <p>(3) 他教材との関連 1年「隠れた世界を知る」(書く) 2年「魅力を伝えよう」(話す・聞く) 3年「多様な意見の交差」(話す・聞く)</p>
4 上記以外の特徴点について		<p>・生徒が、自分で教科書に書き込み、交流する学習活動が設定されている。</p> <p>・全体的に色調が抑えられている。</p> <p>・「読むこと」の作品の内容を表現活動につなげるためのコラムが設定されている。</p> <p>第1学年 ・筆者の経歴に加筆してあり、より新しい情報に変更されている。</p> <p>第2学年 ・外国人作家が、フルネームに変更されている。 ・脚注が、最新の内容に変更されている。 ・友達が、読む活動が削除された箇所がある。 ・太字が、標準書体に変更された箇所がある。</p> <p>第3学年 ・字の色を変えて、より分かりやすくしている箇所がある。</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
国語 7 2 9 現代の国語 1	国語 8 2 9 現代の国語 2	国語 9 2 9 現代の国語 3	株式会社 三省堂	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  ① 表現力と理解力の育成  ② 伝え合う力の育成  ③ 思考力や想像力及び言語感覚を養うこと	(1)  ① 「読み方を学ぼう」では、思考力・表現力を伸ばすための方法が、図解などを取り入れて簡潔に示されている。さらに、「読むこと」が設けられている。  ② スピーチ・レポーター・質問など、言語活動の基となる学習で、活用できる工夫がなされている。  ③ 他者の関係や、生き方・社会をテーマにして、教材の想像が豊かであること、言語感覚が高められている。		(1)  ① 「読み方を学ぼう」の例 1年「説明文の基本構造」 2年「段落の大中小」 3年「隠された意味」  ② 1年「聞き上手、話し上手になるために」 2年「資料や機器を効果的に活用する」 3年「状況に応じて話す力を養う」  ③ 1年「オオカミの友だち」 2年「小さな手袋」 3年「握手」
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 各学年とも、学習指導要領の言語活動例に示された、活動の編成や注釈、資料の活用など、学習の支援に配慮されている。		(2) 1年「さまざまな思考方法を使う」「メモを活用する」[資料編] 2年「インタビューをする」、「アンケートをとる」、「図表を使う」[資料編] 3年「話し合いの方法を選ぶ」[資料編]
	(3) 各領域の能力を偏りなく養うことねらっているか。	(3) 資料編の「読書の広場」では、多様な分野の図書が紹介されている。また、読書の楽しみや興味・関心を高める工夫が、読書の幅を広げ、読む楽しさを伝える工夫がなされている。		(3) 1年・2年・3年 「小さな図書館」、「情報探しのヒント」、「情報活用のヒント」
	(4) 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 本編の「読むこと」や「書くこと」や「読むこと」や「書くこと」など、多くの古典作品の紹介や、読み聞かせの工夫がなされている。		(4) 1年「落語の世界」、「落語 桃太郎」「古事記」 2年「歌舞伎の世界」、「歌舞伎 外郎売」「枕草子」、「徒然草」 3年「能・狂言の世界」、「狂言 柿山伏」「近世の短詩 俳句・川柳・狂歌」「武器なき『出陣』 - 千本松原が語り継ぐ」

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習、発展的配慮がなされているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン配慮されているか。</p>	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習、発展的配慮がなされているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン配慮されているか。</p>	<p>(1) 生き方や命についての教材 1年「空中ブランコ乗りのキキ」 2年「小さな手袋」 3年「握手」</p> <p>(2) 環境についての教材 1年「この小さな地球の上で」 2年「人間は他の星に住むことができるか」 3年「フロン規制の物語」</p> <p>(3) 1年・2年・3年「学びの道しるべ」</p> <p>(4) 1年・2年・3年「学びの道しるべ」 1年・2年・3年「読み方を学ぼう」</p> <p>(5) 1年「図表と文章」、「食感の物語」 2年「枕草子」 3年「平家物語」</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 単元の教材構成は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連性について配慮されているか。</p> <p>(4) 漢字の提出が適切であるか。</p>	<p>(1) 単元の教材構成は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連性について配慮されているか。</p> <p>(4) 漢字の提出が適切であるか。</p>	<p>(1) 単元の教材構成の例 1年「分りやすい水」(読む)、「クジラの飲水」(読む)、「調りやすく」(書く)外1教材</p> <p>(2) 1年・2年・3年「つきたい力を確かめよう」 「読み方を学ぼう」</p> <p>(3) 生活や他教科等との関連性について配慮されているか。 1年「調べたこと」</p> <p>(4) 1年・2年・3年「漢字を身につけよう」</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更された主な点は何か。</p>	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更された主な点は何か。</p>	<p>学習できる「読み方を学ぼう」が取り入れられ、学習した「読み」を振りかざすことができるよう工夫されている。</p> <p>生徒の興味や関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>学習活動が各学年で設定されている。</p> <p>1年・脚注の展翅の説明に図が加えられている。</p> <p>2年・漢字間の訓が狭く、例が加えられている。</p> <p>3年・領域私漢字の「接」の漢字が加えられている。</p> <p>「読み方を学ぼう」が取り入れられ、学習した「読み」を振りかざすことができるよう工夫されている。</p> <p>生徒の興味や関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>学習活動が各学年で設定されている。</p> <p>1年・脚注の展翅の説明に図が加えられている。</p> <p>2年・漢字間の訓が狭く、例が加えられている。</p> <p>3年・領域私漢字の「接」の漢字が加えられている。</p>

令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年		
国語 7 3 0 伝え合う言葉 中学国語 1	国語 8 3 0 伝え合う言葉 中学国語 2	国語 9 3 0 伝え合う言葉 中学国語 3		教育出版株式会社
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 表現力と理解力の育成</p> <p>② 伝え合う力の育成</p> <p>③ 思考力や想像力及び言語感覚を養うこと</p> <p>(2) 言語活動が十分に行われるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 各領域の力を偏りなく育成しているか。</p> <p>(4) 伝統的な言語文化に親しめることができるか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 言葉の力育成の観点から、教科書の「伝え合う言葉」の構成要素を整理し、その学習の意義を明らかにする。</p> <p>② 「話し合い」の学習が、単に話すだけでなく、相手の話を聴くことや、相手の立場から考えることなど、多面的に行われるよう配慮されているか。</p> <p>③ 教科書の「伝え合う言葉」の構成要素を整理し、その学習の意義を明らかにする。</p> <p>(2) 各学年の学習目標や内容に、言語活動が適切に組み込まれているか。</p> <p>(3) 教科書の「伝え合う言葉」の構成要素を整理し、その学習の意義を明らかにする。</p> <p>(4) 季節ごとの行事や行事に合わせた学習活動などを通じて、伝統的な言語文化に親しめることができるように配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 1年・2年・3年「みちしるべ」</p> <p>② 対話への扉 1年「お気に入りの一品を紹介する」 2年「質問する力をつける」 3年「一言でまとめる」</p> <p>③ 1年「言葉が世界と結ぶ」を養うこと 2年「言葉が世界を表す」 3年「言葉が世界をつくる」</p> <p>(2)</p> <p>1年「言葉のゆれを考える」 2年「物語を読み解く」 3年「情報を編集するしかけ」</p> <p>(3)</p> <p>1年「蜘蛛の糸」 2年「坊っちゃん」 3年「最後の一句」</p> <p>(4) 折り込み 1年「古典作品へのいざない(古事記・伊勢物語)」 「伝統芸能へのいざない(落語)」 「自己を知り、自己を深める」 2年「古典作品へのいざない(方丈記・源氏物語)」 「伝統芸能へのいざない(歌舞伎)」 「他者を知り、ともに生きる」 3年「古典作品へのいざない(古今和歌集・土佐日記)」 「伝統芸能へのいざない(狂言)」 「社会・自然に向き合う」</p>	



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン配慮されているか。</p>	<p>(1) 説明的文章では、生徒の知的好奇心に配慮する。幅広い分野から集められた「こころが大事」が配置されるよう工夫されている。</p> <p>(2) 幅広い分野で現在活躍している人物の文章が掲載されている。</p> <p>(3) 巻末に「学べるチャレンジ」が設けられる。力を高めるための考え方や判断力、読み取り力、表現力、読み取り力、活用力を高める工夫がなされている。</p> <p>(4) 巻頭の「教材で役立つ」が、単元ごとにまとめられている。また、「言葉」のキーワードが各単元で活用されている。</p> <p>(5) 言葉や文法、漢字の練習が、単元ごとにまとめられている。</p>	<p>(1) 「こころが大事」が配置されている教材例 1年「笑顔という魔法」 2年「日本の花火の楽しみ」 3年「『新しい博物館』の時代」</p> <p>(2) 言葉と仕事をテーマとした教材例 1年「言葉の上達は競技を上達させる」 スイミングコーチ 平井伯昌</p> <p>(3) 1年・2年・3年 「学びのチャレンジ」</p> <p>(4) 1年・2年・3年「みちしるべ」</p> <p>(5) 1年・2年・3年 「言葉」、「文法」、「漢字」</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 単元の教材構成は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連性について配慮されているか。</p> <p>(4) 漢字の提出が適切であるか。</p>	<p>(1) 一つの単元は、概ね「読むこと」1～2の教材と「漢字」に関する「書くこと」の教材一つで構成されている。</p> <p>(2) 「言葉」をテーマにした巻頭の「言葉」と「書くこと」の教材が、単元ごとにまとまっている。</p> <p>(3) 教材の末学「学びの生かそう」で、生活や他教科の学習に活用されている。</p> <p>(4) 新漢字は、漢字の提出が適切であるか。</p>	<p>(1) 単元の教材構成の例 1年「表現に立ち止まる」 「河童と蛙」(読む) 「行事などの案内文を書く」(書く) 「画数と漢字の字体」(言語)</p> <p>(2) 巻頭言タイトル 1年「言葉とは何か」 2年「言葉の楽しみ」 3年「日本語の特徴」</p> <p>(3) 1年「フリップを用いて説明する」 2年「話を聞いて自分の考えを表現する」 3年「図表を比べる」</p> <p>(4) 1年・2年・3年「練習問題」</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・「話すこと」教材では、学びの重点や活動の流れが、巻末に「言葉」一覧や「学習に必要な用語(索引)」が載せられている。 ・2020年には、オリンピック・パラリンピック招致など、比較的新しい話題の文章が掲載されている。 ・「『ふるさと』を巡る～文学にゆかりのある風景～」が写真で紹介されている。 ・「話すこと」教材では、モデル(話例や作品例)がポイントで示されている。</p> <p>第1学年 ・本文の下部の重要な語句や表現として示される語句が加えられている。 ・著者の近影、書籍の表紙の写真が最新のものに差し替えられている。 ・故事成語の単元の脚注で、「起承転結」について前出のページを表記している。</p> <p>第2学年 ・本文の下部の重要な語句や表現として示される語句が加えられている。 ・書籍の表紙の写真が最新のものに差し替えられている。</p> <p>第3学年 ・書籍の表紙の写真が最新のものに差し替えられている。 ・紹介された書籍が別のタイトルのものになっている。</p>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	国 語
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
国語731 国語1	国語831 国語2	国語931 国語3	光村図書出版株式会社	
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)		
	① 表現力と理解力の育成	① ① 言語の領域の教材、その習得の教育が各領域の教材と連携し、各領域の学習の場を相互に活用し、各領域の力を伸ばす。また、各領域の学習の場を相互に活用し、各領域の力を伸ばす。		
	② 伝え合う力の育成	② 「話の構成」や「話し方」の指導を通して、話し合いの場を設け、話し合いの力を高める。また、話し合いの場を設け、話し合いの力を高める。		
	③ 思考力や想像力及び言語感覚を養うこと	③ 日本の伝統的な言葉に触れる機会を設け、言葉の力を高める。また、言葉の力を高める。		
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 各学年とも学習指導要領の言語活動例に基づき、各学年の学習活動に配慮されている。			
(3) 各領域の能力を偏りなく養成しているか。	(3) 各学年とも「読書活動」、「読書コラム」などを通して、各領域の能力を養成している。			
(4) 伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されているか。	(4) 各学年とも、季節ごとに四季にちなんだ古典の名歌や季語を取り上げ、伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されている。			
		① ① 他領域と関連した学習活動例 1年「今を生きる言葉」(物語文)「今を生きる言葉」(物語文) 2年「扇の物語」(人物の特徴を捉える)「扇の物語」(人物の特徴を捉える) 3年「君引」(古典の言葉を贈る)「君引」(古典の言葉を贈る)		
		② 本教材と練習教材の例 1年「話題や方向を捉えて話し合おう」(話し合い)「話し合い」(話し合い) 2年「話し合って考えを広げよう」(話し合い)「話し合い」(話し合い) 3年「話し合って提案をまとめよう」(話し合い)「話し合い」(話し合い)		
		③ 1年「言葉を集めよう」 2年「言葉を比べよう」 3年「言葉を選びよう」(各学年4回)		
		(2) 1年「話題や方向を捉えて話し合おう」 2年「話し合って考えを広げよう」 3年「話し合って提案をまとめよう」		
		(3) 読書活動 1年「読書紹介をしよう」 2年「読書案内を作ろう」 3年「読書生活をデザインしよう」		
		(4) 1年・2年・3年 「季節のしおり 春・夏・秋・冬」 「色いろの言葉 緑・赤・青の仲間」		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 発達段階を考慮し、幅広い内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(1) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 生徒の興味・関心に適応している。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(2) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(3) 補充的な学習、発展的学習がなされているか。	(3) 「話し言葉」の学習がなされている。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(3) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(4) 生徒が主体的に学習しているか。	(4) 生徒が主体的に学習している。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(4) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(5) ユニバーサルデザイン配慮がなされているか。	(5) ユニバーサルデザイン配慮がなされている。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(5) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成は適切か。	(1) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(1) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(2) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(3) 生活、他教科等との関連性があるか。	(3) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(3) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(4) 漢字の提出が適切であるか。	(4) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(4) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	(1) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(1) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」
	(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。	(2) 単元の教材構成が適切である。多岐にわたる内容を扱っている。多岐にわたる内容を扱っている。	(2) 1年生「アリスの手紙」、2年生「アリスの手紙」、3年生「握手」、「高瀬舟」

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

書 写

那須塩原市・那須町採択地区協議会

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		東京書籍株式会社	
書写731 新編 新しい書写 一・二・三年			
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  〔1年〕 「楷書の字形」、 「楷書の文字の大きさ」、 「楷書の配列」、 「行書の基礎的な書き方」  〔2年〕 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方」  〔3年〕 「身の回りの多様な文字」	(1)  〔1年〕 楷書の点画、字形の整え方が例を比較しながら理解できるよう工夫されている。 行書の基本パターンを組み合わせ、色々な文字の行書が理解できるよう配慮されている。  〔2年〕 行書の形や方向の変化、行書に調和した仮名の書き方を毛筆で学習した後、硬筆で広く理解できるよう工夫されている。 様々な言語活動の場面で、楷書と行書が効果的に使われている例を挙げ、使い分けについて学べるよう配慮されている。  〔3年〕 身近にあるさまざまな文字について関心や理解を深め、手書きの文字のもつ効果について学べるように工夫されている。	(1)  〔1年〕 楷書の点画と字形「大志」「新風」 楷書に調和する仮名「五十音」 楷書の配列・・・俳句、文章、横書き 行書の基本「大洋」点画の連続と省略「和音」 言語活動「目標を書く」、「年賀状」、「職場訪問しよう」  〔2年〕 行書の形や方向の変化「詩集」 点画の連続と筆順の変化「国際社会」 行書に調和する仮名「五十音」 行書と仮名の調和「流れ雲」「豊かな自然」、配列「枕草子」 楷書と行書、配列「走れメロス」 掲示板 言語活動「好きな言葉」「防災訓練に参加しよう」  〔3年〕 多様な文字、効果的に書こう 「ノート」「絵はがき、電子メール」「ポスター」 生活に生かす文字 文化祭や卒業に向けて『栄光の架け橋』
	(2) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものがあるか。	(2) 挿絵や写真を適切に使い、学習内容がわかりやすく示されている。毛筆の筆使いは2色の淡墨や図や向きが写真で明示されている。また、「トン・ピタッ・グッ」などの擬態語が添えられ、筆圧や筆運びなどを具体的にイメージできるよう工夫されている。	(2) 1年「学習の始めに」 姿勢・筆記具の持ち方 1年「大洋」 2年「詩集」

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 発達段階に基く、広幅な学習の機会を確保し、基礎的な学習の定着を図る。また、学習の意欲を高めるための工夫を凝らす。	(1) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 学習の意欲を高めるための工夫を凝らす。また、学習の成果を評価し、励みを与える。	(2) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。	(3) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(4) 生徒が主体的に学習できるか。	(4) 「幅広い学習の機会を確保し、学習の意欲を高めるための工夫を凝らす。	(4) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(5) ユニバーサルデザイン化されているか。	(5) 全体的に配慮されている。	(5) 全体的に配慮されている。
3 組織・配列等について	(1) 全体の教材構成、配列は適切か。	(1) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。	(1) 1年 「楷書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「行書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「草書」の書き方を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 「練習」の発展的な学習の機会を確保し、学習の意欲を高めるための工夫を凝らす。	(2) 「練習」の発展的な学習の機会を確保し、学習の意欲を高めるための工夫を凝らす。
	(3) 生活、他教科等との関連性について配慮されているか。	(3) 国文学の授業と連携し、漢字の構造や意味を理解する。	(3) 1年 「竹取物語」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・教科書の横幅をB5版の規格より27ミリ広げ、より見やすくなっている。 ・毛筆教材の横帯の「書くときのポイント」が掲載され、どの要素を活用して書くのかを指導している。 ・巻末資料として、常用漢字2136字と人名用漢字862字の楷書体と行書体の五十音順一覧表が示されている。	(1) 1年 「竹取物語」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。
	(2) 平成28年度採択見本は何か。	・硬筆手元の漢字の書き方を指導している。 ・各筆名の漢字の書き方を指導している。 ・人名用漢字の漢字の書き方を指導している。	(2) 1年 「竹取物語」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 2年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。 3年 「枕草子」の漢字を学び、漢字の構造や意味を理解する。

		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		学校図書株式会社	
書写732 中学校 書写			
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  〔1年〕 「楷書の字形」、 「楷書の文字の大きさ」、 「楷書の配列」、 「行書の基礎的な書き方」  〔2年〕 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方」  〔3年〕 「身の回りの多様な文字」	(1)  〔1年〕 ・まず毛筆で、楷書・行書の特徴を理解させるとともに、学習したことを硬筆に生かし、書写の基礎的・基本的な学習内容が習得できるよう工夫されている。  〔2年〕 ・楷書の字形、仮名との調和を復習した後、行書の点画や筆順の変化、行書に調和する仮名について習得できるよう工夫されている。  〔3年〕 ・楷書と行書を使い分け、身の回りの様々な場面で学習したことが使えるよう配慮されている。	(1)  〔1年〕 ・楷書の点画と字形「天地」 「登頂成功」楷書に調和する仮名「五十音」、「ぶなの森」、「鳥啼歌」、「ことわざ」 ・行書の基本、点画の連続と省略「栄光」、「草原」、「竹取物語」  〔2年〕 ・楷書の復習「山紫水明」、「理想は高く」 ・行書を深める「雲海」、「紅葉林道」 ・行書に調和する仮名「親しい友」、「五十音」、「枕草子」、横書文 ・言語活動「メモ」、「依頼状」、「ポスター」  〔3年〕 ・楷書・行書の総復習「心のふれ合い」、「全力を尽くす」 ・いろいろな筆記具の活用 ・生活に生かす書写
	(2) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。	(2) ・挿絵や写真を使い、学習内容が分かりやすく示されている。  ・環境や自然愛護、自主・自律などの提示、各単元の関わり、興味、相頭を	(2) 1年「学習の前に確認しよう」 2年「確かめよう」 3年「書写を生活に生かそう」 「作品を作ろう」 2年「山紫水明」

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1)・発達の段階を考慮した教材が提示されている。 ・1年の初めに基本的な筆使いを図解によって詳細に示すことにより、必要な書き技能を確実に習得できるよう配慮されている。	<p>(2) 2年「硬筆で書いてみよう」 メモ、依頼状、ポスター 3年「書写を生活に生かそう」 壁新聞、寄せ書き コラム「書写の窓」</p> <p>(3) 1年・2年「確かめよう」</p> <p>(4) 1年「書いてみよう」 「振り返り」(p.35) 「学習の振り返り」(p.70)</p>
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2)・学校生活の中で活用できる場面を考へて書かせたり、壁新聞や寄せ書きを取り上げたりして、生徒が興味をもつよう配慮されている。  ・文字の歴史や書写に関連する資料を取り上げ、興味・関心を引くよう配慮されている。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 毛筆学習の豊富な内容を、1年生の学習意欲を高め、2年生の学習意欲を高め、3年生の学習意欲を高めるよう配慮されている。	
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) 単元ごとに課題を提示し、学習意欲を高め、学習内容を理解し、学習成果を評価できるように配慮されている。	
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 文字やイラスト、図など、全色4色印刷されている。	
3 組織・配列等について	(1) 全体の教材構成、配列は適切か。	(1)・1年3単元、2年3単元、3年1単元で構成され、1冊にまとめることにより、3年間の書写学習の見通しを確保されている。 ・3年の学習事項は“書写を生活に生かす”というテーマに絞られ、発展的な内容が中心となるよう構成されている。	<p>(3) 1年「竹取物語」 2年「枕草子」</p> <p>文化祭、修学旅行の新聞、職業体験の礼状</p>
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 1～3年とも、各単元毎に毛筆と硬筆を効果的に配列されており、系統的に学習できるよう配慮されている。	
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3)・国語教科書に取り上げられている古典文学などを硬筆教材にし、伝統的な言語文化に親しめるよう配慮されている。 ・学校行事に対応する項目も載せ、普段の生活に役立つよう配慮されている。	
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習のめあてがはっきりわかる。また、めあての強調箇所がわかるように、色で区別されている。</li> <li>・開いてすぐ「目次」があり、学習項目を見つけやすくなっている。</li> <li>・各学年のみならず、各単元毎にカラーを設定し、インデックスで明確に示されている。</li> <li>・各ページのポイントなどを案内してくれるキャラクターが、師匠と弟子という設定であり、師匠の吹き出しはアドバイスのようなもの、弟子の吹き出しは気を付けたいことや共感したくなるような内容に役割分担されているため、理解が進むよう工夫されている。</li> <li>・実物大資料が8枚と多く、学習しやすいよう工夫されている。</li> <li>・巻末資料は10ページと少ない分、各資料は「書写の窓」として、各単元に振り分けられている。</li> <li>・巻末資料として、常用漢字2136字の行書体の五十音順一覧表が示されている。</li> <li>・変更点は特に見当たらない。</li> </ul>	(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。



		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		株式会社 三省堂	
書写 7 3 3 現代の書写一・二・三			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>〔1年〕 「楷書の字形」、 「楷書の文字の大きさ」、 「楷書の配列」、 「行書の基礎的な書き方」</p> <p>〔2年〕 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方」</p> <p>〔3年〕 「身の回りの多様な文字」</p>	<p>(1)</p> <p>〔1年〕 生徒の気付きを重視しながら、楷書と行書の基本点画について効果的に学習できるように工夫されている。</p> <p>〔2年〕 楷書と行書を毛筆と硬筆の例で比較しながら、行書の特徴について習得できるよう工夫されている。</p> <p>〔3年〕 身の回りの文字について、生徒の気付きを重視しながら効果的に学習できるように工夫されている。</p>	<p>(1)</p> <p>〔1年〕 楷書の点画、組み立て「春光」「若枝」・楷書に調和する仮名「五十音」、「夏めく空」、「竹取物語」、横書文 行書の基本、点画の連続と省略「名作」、「永久」 言語活動「行事の目標」「本の紹介」</p> <p>〔2年〕 行書を使いこなす「再会」「雪花」 行書に調和する仮名「五十音」、「自然に親しむ」、横書文 言語活動、「手紙」、「メモ」、「座右の銘」</p> <p>〔3年〕 効果的に書く「ちらし」、「本の表紙」、「掲示物」など 「卒業記念冊子を作ろう」</p>
	<p>(2) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。</p>	<p>(2) 身近な文字が写真を用いて具体的に提示されるなど、挿絵や写真により、学習内容が分かりやすく示されている。</p> <p>行書の筆使いが、写真やイラストを用いて理解できるよう工夫されている。</p>	<p>(2)</p> <p>1年 「望ましい姿勢と筆記用具の持ち方」 3年 「効果的に書こう」 2年 「行書の筆使い」 ( p . 46 - 47 )</p>



		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		教育出版株式会社	
書写734 中学書写			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>[1年] 「楷書の字形」、 「楷書の文字の大きさ」、 「楷書の配列」、 「行書の基礎的な書き方」</p> <p>[2年] 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方」</p> <p>[3年] 「身の回りの多様な文字」</p> <p>(2) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。</p>	<p>(1)</p> <p>[1年] 基本点画について、細かな段階を経て学習を進め、楷書と行書の基本的な書き方が丁寧に学習できるよう工夫されている。</p> <p>[2年] ・楷書の試し書きで字形を確認した後、行書の特徴を理解できるよう工夫されている。 ・多くの硬筆題材で行書の習得ができるよう配慮されている。</p> <p>[3年] 行書学習を深め、それを身の回りの様々な場面で生かせるよう工夫されている。</p> <p>(2) 効果的に挿絵や写真が使われ、学習内容が分かりやすく示されている。  基本的筆使いが、朱の薄墨の連続写真で分かりやすく提示されている。</p>	<p>[1年] 楷書の点画と字形『大地』 楷書に調和する仮名「いろは歌」、「五十音」、「竹取物語」 行書の基本、点画の連続と省略「大木」、「栄光」、「平和」 言語活動「メッセージカード」、「原稿用紙」、「レポート」 「手紙」、「掲示物」、「新聞」、「年賀状」</p> <p>[2年] 行書の特徴「初志」、「雲海」、「開花」 行書に調和する仮名「喜びの声」、「五十音」、「論語」、詩、短歌、「走れメロス」、「枕草子」、「平家物語」 言語活動「看板」、「応援旗」 「新聞」、「ポスター」、「案内状」</p> <p>[3年] 行書を深める「創造」、 「旅立ちの朝」、「おくのほそ道」 身の回りの文字 卒業カレンダー、メッセージカード、手紙など</p> <p>(2) 1年「姿勢と用具の使い方」 1年「大木」、「栄光」、 「平和」 2年「初志」、「雲海」、 「開花」 3年「創造」、「旅立ちの朝」 「おくのほそ道」</p>



		種 目	書 写
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年 ・ 2 年 ・ 3 年		光村図書出版株式会社	
書写735 中学書写 一・二・三年			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>[1年] 「楷書の字形」、 「楷書の文字の大きさ」、 「楷書の配列」、 「行書の基礎的な書き方」</p> <p>[2年] 「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方」</p> <p>[3年] 「身の回りの多様な文字」</p> <p>(2) 挿絵や写真等は、内容に対応した適切なものであるか。</p>	<p>(1)</p> <p>[1年] 楷書の書き方を簡潔に示し、ポイントとなる語句を意識させて理解できるよう工夫されている。読みやすい字形や配列の視点から学習できるよう配慮されている。行書の特徴について、楷書と字形を比較しながら理解できるよう工夫されている。</p> <p>[2年] 行書の点画、筆順について楷書と比較しながら理解できるように工夫されている。</p> <p>[3年] 身の回りで使われる文字の書体を考えさせ、生活の中の文字への関心を高められるよう配慮されている。</p> <p>(2) 多数の挿絵と写真を用い、学習内容が分かりやすく示されている。</p> <p>基本的な筆使いが、朱の薄墨の連続写真で分かりやすく提示され、また、「行書」の特徴がイラストでまとめられている。</p>	<p>(1)</p> <p>[1年] 楷書の点画「地球」 平仮名の筆使いと字形「五十音」、俳句、小説、レポート・行書の基本、点画の連続と省略、「緑」、「木立」、「月光」、「季節のしおり」</p> <p>[2年] 行書の書き方「調和」、「紅花」 行書に調和する仮名「夕映えの空」、「五十音」、いろは歌、平家物語、「季節のしおり」 言語活動「メモ」、「依頼状」、「ポスター」</p> <p>[3年] 文字を効果的に使うために未来に向かって「輝ける未来へ」</p> <p>(2) 1年「点画の種類と筆使い」 「地球」、「緑」、 「木立」、「月光」 3年「文字を効果的に使うために」、「未来に向かって」 2年「調和」、「紅花」、 「夕映えの空」</p>



令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

社 会  
(地理的分野)

那須塩原市・那須町採択地区協議会







		種 目	社 会 ( 地 理 的 分 野 )
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
地理 7 2 6 中学社会 地理 地域にまなぶ		教育出版株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内 容 について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	<p>① 「世界の諸地域」では、他国との比較ができる統計資料が多く掲載れ、世界的視野に立って学習できるよう配慮されている。主題が異なる地図資料も、同じ縮尺で並べて掲載されているページが多いため、複数の資料を活用して、多面的・多角的な考察がしやすいよう工夫されている。</p> <p>② 1時間ごとに本時の学習内容を表す主題と学習事項を表す副題が明示され、生徒が学習のねらいをとらえやすいよう配慮されている。また、「世界の諸地域」「日本は、の諸地域」では、その州ごとの特色を核とした地理的事象を追うよう配慮されている。</p> <p>③ 「世界のさまざまな地域の調査」では、南アジアを例に、「身近な地域の調査」では、名古屋を例に、地域調査の視点や方法が示されている。特に、「地域調査の手引き」に、コナエの調査のポイントが明示されている。また、地域にむかへて発信の方法や、まとめの例が示されており、生徒が地域調査の方法、まとめ方や発表の方法の基礎が身に付けられるよう配慮されている。</p>	
	(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 写真、地図、グラフなどの資料が豊富に掲載されている。本文中には資料番号が挿入されており、本文と資料の関係は適切である。地域的な特色を示す写真や統計資料も多く掲載され、本文との関連が図られている。	
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 1時間ごとに学習してきたことを活用して表現する「ふりかえる」が設けられている。ステップ1では、学習内容を確認し、ステップ2では、学習内容を活用して表現し、ステップ3では、各州や地方の主題に関連して文章で説明するよう配慮されている。	
	(4) 社会参画、伝習や文化実を学ぶ機会を確保しているか。	(4) 「身近な地域の調査」の発表会に地域の方々を招いて意見を提案する学習文化について、地域の社会へ参画する機会を確保している。また、地域の文化を学ぶ機会を確保している。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点が考慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の趣旨を踏まえ、必要に応じて訂正しているか。</p>	<p>(1) 「地理にアプローチ」では、冒頭に小中学校で学習した地図やグラフに関する基礎的な知識を正確に活用できる位置づけられており、中学校の学習への準備が図られている。また、第2編の第1章・第2章の「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(2) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(3) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(4) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(5) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(6) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p> <p>(7) 「日本地理」の日常の生活や身近な話題や内容が多く紹介されている。また、写真や図表などの資料が豊富に掲載されており、興味・関心を喚起し、学習の意欲を高める工夫が図られている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成、配列は適切である。「世界の諸地域」と「日本の諸地域」では、それぞれの地域の特徴となる事象に焦点を当てて取り上げられている。「日本の諸地域」の学習では、日本を大きく「西南部」、「中央部」、「東北部」の三つの地域に分け、より学習が深まるように工夫されている。</p> <p>(2) 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、自然環境や文化、歴史など概観し、主題やテーマに沿って学習を展開し、地域的特色についてまとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。また、巻頭の「地理にアプローチ」では、小中学校で学習した地図や図表の使い方、グラフの種類などを振り返る活動が位置づけられている。</p> <p>(3) 地域特色の歴史的背景や、自然環境や文化、歴史など概観し、主題やテーマに沿って学習を展開し、地域的特色についてまとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。また、巻頭の「地理にアプローチ」では、小中学校で学習した地図や図表の使い方、グラフの種類などを振り返る活動が位置づけられている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・地理学習の導入で点字のしくみが記述され、実際に触れることで興味が湧くよう工夫されている。</p> <p>・統計資料(グラフ等の数値)、国内外の情勢についての記述(日本の世界遺産登録状況やにしん漁の現状等)が、最新のものに更新されている。</p>

教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会（地理的分野）
地理727 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土			株式会社 帝国書院
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 我が国の国土及び世界の諸地域の視座を多面的に考察しているか。</p> <p>② 地理的見方を考える際の基礎となるか。</p> <p>③ 地点や領域を適切に視覚的に表しているか。</p> <p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(4) 社会や宗教に関する内容を適切に扱っているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 「世界の諸地域」では、地図や写真資料、統計資料やその地域で生活する人々の声を紹介したコラムなど、多様な資料を豊富に掲載することにより、多面的・多角的に地域を捉え、地域の特色や文化を深く掘り下している。また、世界的視野から地域的な特色や文化の背景までを考察している。</p> <p>② 「世界の諸地域」と「日本の諸地域」では、節頭でその地域についての特色ある写真を多く配し、その地域をより深く理解するための解説や写真の活用がなされている。</p> <p>③ 「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の対比や、身近な地域や身近な人の生活の様子を、身近な事例や身近な人物を通じて紹介している。また、身近な事例や身近な人物を通じて、地域的な特色や文化の背景までを考察している。</p> <p>(2) 掲載されている資料については、本文中に資料番号が挿入されており、本文と資料の関係は適切である。また、写真や資料には、適宜解説が入り、理解しやすいよう工夫されている。</p> <p>(3) 1時間ごとに、自分の言葉で説明する「説明しよう」が設けられている。また、各地域学習の最後に設定されている「学習をふりかえろう」では、「説明しよう」や「探究しよう」が設けられ、言語活動が十分に行われるよう配慮されている。</p> <p>(4) 「世界の諸地域」では、文化や生活の様子を、身近な事例や身近な人物を通じて紹介している。また、身近な事例や身近な人物を通じて、地域的な特色や文化の背景までを考察している。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習に配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、きかせることができるか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点を配慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じる配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の趣旨を踏まえ、学習を進めることができるか。</p>	<p>(1) 「やってみよう」では、小学校で学習した内容や地図帳の利用に関する内容を、振り返り、活用していく学習ができるよう配慮されている。内容を、初めに「世界の生活」を学習し、その後「世界の気候」や「世界の文化」を学習し、その後の「世界の諸地域」の学習を進められるよう工夫されている。また、「地形図の使い方」を「世界と比べた日本の地域的特色」で学習するよう工夫されている。</p> <p>(2) 写真資料を多く掲載し、生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。特に導入となる見開きページでは、その地域の特色を表す自然や産業、文化等の多くの写真が大きく掲載されており、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、1時間ごとや章末の「確認しよう」「説明しよう」に配慮されている。「確認しよう」では、確認事項を定着させることにより補充的な学習ができるよう配慮されている。「説明しよう」では、地震が多い日本における「地震と津波」を取り上げ、発展的な学習内容ができるよう配慮されている。</p> <p>(4) 1時間ごとや章末の「確認しよう」「説明しよう」に配慮されている。また、教科書や地図帳などを活用する際、「確認しよう」「説明しよう」が設けられ、生徒が主体的に学習できるように工夫されている。また、「確認しよう」が設けられ、生徒が主体的に学習できるように工夫されている。</p> <p>(5) 色覚特性を持つ生徒が同じように見えてしまう色を隣同士に配置しないように配慮されている。また、グラフや資料を読み取りやすくするために、ユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>(6) 「地域を深める」の特設ページが設けられ、中核とした地理的事象の考察と、地域の特色をめぐり、多面的・多角的に考察できるように配慮されている。</p> <p>(7) 日本固有の領土であることが明記され、領土に関する課題を深めるよう配慮されている。また、北方領土・尖閣諸島に関する課題を深めるよう配慮されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成、配列は適切である。特に、「日本の諸地域」の学習では、それぞれの地方で注目する視点を「学習課題」に示し、その視点から見た地域的特色について自分の言葉で表現させる作業を「説明しよう」で行えるようになっている。</p> <p>(2) 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、地域的特色を概観し、テーマを通して、その地域的特色を考察し、地図や図表を用いてまとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。</p> <p>(3) 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習において、各地域の文化や産業についての歴史的経緯が記載され、歴史的な分野との関連が図られている。また、「過疎化」や「少子高齢化」、「防災」、「環境」、「共生」といった、現在及び将来の社会が直面する課題が取り上げられており、公民的分野への接続が配慮されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・各ページには、大きな写真が掲載され、自然環境や生活・文化などを実感できるように工夫されている。それによって生徒の興味・関心を高めたり、思考を深めることができる。</p> <p>・統計資料(グラフ等の数値)や地形図、国内外の情勢についての記述(一人っ子政策や琵琶湖の環境保全活動等)が、最新のものに更新されている。</p>

		種 目	社会（地理的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
地理728 中学社会 地理的分野		日本文教出版株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1	<p>内容について</p> <p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 我が国の地理的特徴及び国際的視野を踏まえ、世界の多様な文化や産業の発展や資源の乏しさを踏まえて、地球環境と持続可能な社会のありかを見極めることのできるよう、地理的視座の確立を図り、地域の特色を踏まえた学習活動が行えるよう配慮しているか。</p> <p>② 地理的視座の確立を図り、地域の特色を踏まえた学習活動が行えるよう配慮しているか。</p> <p>③ 地域調査の方法や資料の活用など、学習活動における実践的な活動の促進や学習意欲の向上を図るための工夫や配慮が、内容に適切に盛り込まれているか。</p> <p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(4) 社会や文化に関する学習が、教科書を通じて行われるよう配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 統計資料や写真資料、図表やグラフなど、多様な資料を効果的に取り入れ、学習者の興味・関心を喚起し、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。また、学習者の生活や関心を踏まえた事例や身近な事例を取り上げ、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。</p> <p>② 1時間あたりに、地域の特色を踏まえた学習活動が行えるよう配慮している。また、学習者の生活や関心を踏まえた事例や身近な事例を取り上げ、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。</p> <p>③ 「世界のさまざまな地域の調査」では、ロシアやブラジルなどの事例を取り上げ、学習者の興味・関心を喚起し、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。</p> <p>(2) 本文中には資料番号が挿入されており、本文と資料の関係は適切である。また、見開き2ページの中に、本文に関わる適切な資料が掲載されており、生徒が学習しやすいよう配慮されている。</p> <p>(3) 「学習の確認」として、「世界と活動」をテーマとし、地域の特色を踏まえた学習活動が行えるよう配慮している。また、学習者の生活や関心を踏まえた事例や身近な事例を取り上げ、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。</p> <p>(4) 「世界の様々な地域の調査」では、生活・文化について、調べる例が示されている。また、地域や国・地域に関する学習が、教科書を通じて行われるよう配慮されている。また、学習者の生活や関心を踏まえた事例や身近な事例を取り上げ、理解を深め、表現力や思考力などを伸ばすことができるよう、内容に工夫が凝らされている。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、きょうの学習を進めるか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点が考慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の趣旨を踏まえて、訂正をい</p>	<p>(1) 「現立」の表振す、振す、習+は、図ら、赤クに、</p> <p>(2) 「世界」の学、</p> <p>(3) 「世界」の学、</p> <p>(4) 「世界」の学、</p> <p>(5) 「世界」の学、</p> <p>(6) 「世界」の学、</p> <p>(7) 「世界」の学、</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の構成、配列は適切である。「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、各地方について、テーマや視点に沿ってその地域的特色を考察し、学習内容を活用して、まとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。</p> <p>(2) 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習では、世界の各州・日本の各地方について、テーマや視点に沿ってその地域的特色を考察し、学習内容を活用して、まとめるという3つの段階で構造化しており、系統性が配慮されている。</p> <p>(3) 「世界の諸地域」や「日本の諸地域」の学習において、各節末に「自由研究」や「環境問題」に関する記述が、資料写真とともに紹介されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・ページの下段には、「○○○も見てみよう」があり、見開きの学習内容の理解を深めるための、関連する特設ページなどが示されている。</p> <p>・見開きページの学習課題の下には、本時の学習内容のキーワードとなる言葉が示されている。</p> <p>・見開きの学習内容を深めるため、随所に「トライ」が設けられ、作業的な学習を進めよう工夫されている。</p> <p>・「世界の諸地域」に掲載されている「自由研究」の中で、北極地方と南極地方についての記述が、資料写真とともに紹介されている。</p> <p>・国内外の情勢についての記述(日本の世界遺産登録状況やイギリスのEU離脱可否かの国民投票の動向等)が、最新のものに更新されている。</p>

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

社 会  
(歴史的分野)

那須塩原市・那須町採択地区協議会



種 目		社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名
歴史729 新編新しい社会歴史		東京書籍株式会社
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
1	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に適合しているか。</p> <p>① 我流背景をよめるか。</p> <p>② 我流背景をよめるか。</p> <p>③ 我流背景をよめるか。</p> <p>④ 我流背景をよめるか。</p> <p>⑤ 我流背景をよめるか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。また、各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>② 「深めよ」の観点から、各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>③ 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>④ 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>⑤ 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p>
	<p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語が活用されているか。</p> <p>(4) 伝承や文芸的要素が適切に扱われているか。</p>	<p>(2) 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>(3) 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p> <p>(4) 各章の導入が、歴史的な流れを捉え、その背景をよめることにより、読者の理解を深め、歴史の面白さを伝えることに成功している。</p>



		種 目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
歴史 7 3 0 中学社会歴史未来をひらく		教育出版株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に適合している。</p> <p>① 流れをよめるか。</p> <p>② 国をまわって色をよめるか。</p> <p>③ 愛国心をよめるか。</p> <p>④ 発展をよめるか。</p> <p>⑤ 歴史をよめるか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 各章で、日本の歴史を、中国の歴史を、朝鮮の歴史を、東洋の歴史を、世界の歴史を、現代の歴史を、未来の歴史を、それぞれ紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。</p> <p>② 特設の「歴史の窓」や「世界の窓」など、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。</p> <p>③ 前掲の「歴史の窓」や「世界の窓」など、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。</p> <p>④ 発展をよめるか。</p> <p>⑤ 「歴史の窓」や「世界の窓」など、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。</p>	
	<p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分に活用されているか。</p> <p>(4) 伝承や文芸的要素が適切か。</p>	<p>(2) 写真や図解、資料の活用が適切か。</p> <p>(3) 見聞を広げ、言語活動を充実させているか。</p> <p>(4) 仏教や儒教などの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。また、それぞれの歴史を、それぞれの文化の発展と結びつけて紹介している。</p>	



		種 目	社 会 ( 歴 史 的 分 野 )
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
歴史 7 3 1 中学 歴史 日本 の 歴史 と 世界		株式会社 清水 書院	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内 容 について	(1) 内容及び範囲は、学習 指 導 要 領 に 適 合 し て 目 的 が 示 され ている こと が 確認 でき た。	(1)	
	① 我 国 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	① 各 時 代 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	
	② 我 国 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	② 各 時 代 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	
	③ 我 国 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	③ 「も っ と 知 り た い 歴 史 」 と し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	
	④ 我 国 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	④ 各 時 代 の 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	
(2) 本 文 と 資 料 の 関 係 は 適 切 か。	(2) 写 真 、 地 図 、 グ ラ フ 、 図 解 、 文 書 資 料 な ど が 適 切 に 掲 載 さ れ て お り 、 本 文 と 資 料 の 関 係 は 適 切 で あ る 。		
(3) 言 語 活 動 が 十 分 行 わ れ ている か。	(3) 巻 頭 見 開 きの 歴 史 的 な 特 徴 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。		
(4) 伝 統 的 な 文 化 を 踏 襲 し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。	(4) 仏 教 ・ キ リ ス ト 教 ・ イ ス ラ ム 教 の 三 大 宗 教 に つ い て 、 起 こ っ た 時 期 や 地 域 と し て 記 述 し て いる こと が 確認 でき た。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説を踏まえて改訂されているか。</p>	<p>(1) 序章では、小中学校で学んだことを振り返り、その歴史をあらわす。各章の導入部では、現代生活の特徴を挙げて、その背景や意義を説明している。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p> <p>(2) 特集「ま吹き」では、各章の解説をまとめた上で、その章の学習のポイントを整理している。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p> <p>(3) 「内容」が取り上げられている。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p> <p>(4) 見開き表や「課題」の配置など、生徒の主体的な学習を促している。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p> <p>(5) 固有名詞を中心にふりがなが付けられている。行間をやや広くして読みやすくしている。</p> <p>(6) 「歴史」として、身近な地域の歴史を調べる学習が取り上げられている。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p> <p>(7) 本文中に竹島・尖閣諸島が日本領として編入された時期について記述されている。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 歴史学習の導入部としての序章を配し、原始・古代から現代まで6章で構成されており、全体の教材構成、配列は適切である。</p> <p>(2) 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習できるように構成している。各章の扉の下に学習する時代の範囲が年表で明示されている。</p> <p>(3) 巻末の「史跡」や「図」など、本邦だけでなく、国際的な視野から見た史跡や図を掲載している。また、各章の終りに「まとめ」を設け、その章の学習のポイントを整理している。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本からは変更のあったものは何か。</p>	<p>・ 本文と資料を掲載する欄が明確に区分され、見やすいレイアウトになっている。また、資料は側注として掲載されており、本文との関連が図られるよう工夫されている。</p> <p>・ 特に大きな変更点は確認できなかった。</p>



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習、配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に配慮しているか。</p> <p>(7) 学習指導要領を踏まえて、解説をい</p>	<p>(1) 第1部に「歴史」の導入があり、小史の配列が適切である。また、学習の目的や内容を明確にし、興味・関心を喚起している。</p> <p>(2) 各時代の特色を、大まかに整理し、学習のしやすさを考慮している。</p> <p>(3) 「歴史」の探求を、具体的な事例を通して、学習してきたことを更に深め</p> <p>(4) 第2部～第7部の「主眼」を、各時代の特色と結びつけて、学習のしやすさを確保している。</p> <p>(5) 全体的な構成や、線画の活用、図表の活用など、学習のしやすさを考慮している。</p> <p>(6) 「歴史」の探求を、地域の実態と結びつけて、学習のしやすさを確保している。</p> <p>(7) 特設された「歴史」の探求を、具体的な事例を通して、学習してきたことを更に深め</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関係性について配慮されているか。</p>	<p>(1) 第1部～第7部の構成は、歴史の発展の過程を、時代ごとの特色を踏まえて、系統的に学習できるように配慮されている。</p> <p>(2) 古代から現代までの歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習できるように配慮されている。</p> <p>(3) 巻末の「歴史」の探求を、具体的な事例を通して、学習してきたことを更に深め</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採見本からの変更点は何か。</p>	<p>・「トウライ」の歴史を、資材を基に、なぞにせまりながら演繹的な思考力を養う。</p> <p>・大規模な変更に「歴史」の探求を、具体的な事例を通して、学習してきたことを更に深め</p>



種 目		社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名
歴史733 中学社会 歴史分野		日本文教出版株式会社
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
1	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指要に適合しているか。</p> <p>① 我が国の歴史の大きな特徴を、世界史の観点から理解し、その歴史的背景を踏まえ、我が国の歴史を多面的に捉え、その意義を考察しているか。</p> <p>② 我が国の歴史を、世界的視野から捉え、その意義を考察しているか。</p> <p>③ 我が国の歴史を、その背景を踏まえ、その意義を考察しているか。</p> <p>④ 我が国の歴史を、その背景を踏まえ、その意義を考察しているか。</p> <p>⑤ 我が国の歴史を、その背景を踏まえ、その意義を考察しているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 各編の冒頭で時代の特色を示す「地図」で見られる世界史の歴史を、2ページにわたって大きく取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。</p> <p>② 前見返しでは、有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。</p> <p>③ 前見返しの「歴史」といふ言葉の由来や、その重要性を、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。</p> <p>④ 「出かける」といふ言葉の由来や、その重要性を、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。</p> <p>⑤ 「地図」といふ言葉の由来や、その重要性を、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。有形・無形の文化遺産を取り上げ、我が国の文化や芸術への関心を高める。</p>
	<p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分に活発に行われているか。</p> <p>(4) 伝習や文化の継承が図られているか。</p>	<p>(2) 写真、地図、グラフ、図解、本文、資料などが効果的に取り上げられている。本文と資料の関係が適切で、本文と資料が効果的に取り上げられている。</p> <p>(3) 見開きや挿入図、図解、本文、資料などが効果的に取り上げられている。本文と資料の関係が適切で、本文と資料が効果的に取り上げられている。</p> <p>(4) 巻末の特集で文化財の種類や見方について詳しく紹介されている。また、「先人に学ぶ」が、現代に残る文化遺産や伝統を、文化財の観点から捉え、その意義を考察している。また、「先人に学ぶ」が、現代に残る文化遺産や伝統を、文化財の観点から捉え、その意義を考察している。</p>

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、きかすか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に配慮されているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の進めるか。</p>	<p>(1) 各編導入の年表において、小学校で学んだ人物・内容などを再確認させ、中学校の歴史学習にスムーズに移行できるよう工夫されている。</p> <p>(2) 「図版特集」において、各時代の生活の様子や衣食住の観点を、現生没年配の生に追加して、よ「+α」として補足的な解説欄が設けられており、補充的な学習に配慮されている。</p> <p>(3) 「図版特集」について「歴史を掘り下げる」、「先人に学ぶ」を設けて補充的・発展的な学習に配慮されている。</p> <p>(4) 各編の中盤に「とらえよう！時代の転換」編末に「とらえよう〇〇日本工夫」が配られている。</p> <p>(5) 全体的な彩りや読みやすさを重視し、工夫を凝らして、読みやすいようにしている。</p> <p>(6) 「活動調べる」が、地域の歴史を調べるための学習教材として活用されている。</p> <p>(7) 「+α」の記述が、竹島・尖閣諸島を取り上げ、領土状況、歴史的背景、地理的関係などについて詳しく解説されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連性について配慮されているか。</p>	<p>(1) 第1編に「歴史のついで」を配し、原始・古代から現代まで6編で構成されており、全体の構成、配列は適切である。</p> <p>(2) 古代から現代までの我が国の歴史を、毎時間の課題を基に系統的に学習できるように構成している。</p> <p>(3) 巻末の「ついで」に、図や写真、資料などを用いた「ついで」の学習を促している。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>巻頭と巻末の表紙に「歴史学習の基礎資料」が各説き及ぶように、歴史を学ぶ上で必要な知識や技能を、図や写真、資料などを用いて解説している。</li> <li>大きな変更に伴って、採択年度は平成28年度である。</li> <li>巻末の「ついで」に、図や写真、資料などを用いた「ついで」の学習を促している。</li> <li>巻末の「ついで」に、図や写真、資料などを用いた「ついで」の学習を促している。</li> </ul>



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促すための問いかけが適切かどうか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点が適切かどうか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説改訂の進捗が適切かどうか。</p>	<p>(1) 序章では、小中学校で学んだ人物の力を「一や伝記ま」とめ、時を代をうとえさだるれ知識を更に深める。に「歴史豆辞典」では、15の歴史用語を取り上げて100字以内で解説しており、基礎的・基本的な事項の確認が図られている。</p> <p>(2) 各章の扉生、それの時代の特色をとらえ手がかりとなる写真や絵を配置し、生徒の学習への関心を高めるよう配慮されている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、各章末の「歴史豆辞典」では、15の歴史用語を取り上げて100字以内で解説しており、基礎的・基本的な事項の確認が図られている。</p> <p>(4) 序章の「歴史の問と題、取組む」では、歴史的な問いかけが、歴史の調べる方法を学ぶ上で、歴史の調べ方を例示している。生徒が主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>(5) 固有名詞を中心にふりがなが付く用語が、全体として、付いている箇所も精選されており、読みやすくなるよう配慮されている。</p> <p>(6) 序章におおむね、地域の生活文化を調べる学習を取り上げ、事例を通して、郷土の歴史を学ぶよう配慮されている。</p> <p>(7) 本文の中に、竹島・尖閣諸島・北方領土について、現状及び日本固有の領土であることを、竹島・尖閣諸島の歴史等に注釈を付けている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成、配列は適切である。序章に「歴史のとらえ方」を配し、原始・古代から現代まで6章で構成されている。</p> <p>(2) 古代から現代までの大きな流れを、1時間ごとの学習が振られる。1章から10章まで、1時間ごとの学習が振られる。1章から10章まで、1時間ごとの学習が振られる。</p> <p>(3) 多様な地図資料が掲載されており、環境問題などの分野に関する資料が豊富に掲載されている。また、各章の序章に、各章の学習のねらいが示されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・各章末尾に「歴史豆辞典・100字用語解説」を配置し、文章でまとめる力が養われるよう配慮されている。</p> <p>・特に大きな変更点は確認できなかった。</p>

		種 目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
歴史735 [新編] 新しい日本の歴史		株式会社 育鵬社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示されているか。 ・内容に適合しているか。	(1)	
	① 我が国の歴史の大きな特徴として、世界史的な視点から、我が国の歴史を捉え、その背景や特色を明らかにする。	① 序章で説明されている「歴史のモノサシ」を各章の扉に掲げるとともに、続く見開きで「歴史の巻」が、次々開き、大規模な動きが展開される。各章の扉に掲げられた「歴史のモノサシ」が、各章の中心テーマを示し、その背景や特色を明らかにする。	
	② 我が国の歴史を捉え、その背景や特色を明らかにする。	② 各時代の文化遺産の写真が豊富に掲載されており、「歴史のモノサシ」が、各章の中心テーマを示し、その背景や特色を明らかにする。	
	③ 我が国の歴史を捉え、その背景や特色を明らかにする。	③ 前見返しの「日本の歩み」や「このころ世界は」において、同時期の世界の流れを捉え、我が国の歴史を捉え、その背景や特色を明らかにする。	
(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 写真、地図、グラフ、図解、文書資料など、豊富な資料が取り入れられており、本文と資料の関係が適切である。		
(3) 言語活動が十分に行われるか。	(3) 見開きごとに設けられた「学習のまとめ」では、学習課題に対する答えを、語句を用いて説明する。また、各章の特色を捉え、その背景や特色を明らかにする。		
(4) 伝統や文化、宗教に関する学習が、実質的に進められているか。	(4) 課題学習で、奈良・京都の文化遺産や松本城を紹介するなど、我が国の文化や歴史を捉え、その背景や特色を明らかにする。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、課題の解決や主体的な学習を促しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説改訂の趣旨を踏まえ、配慮されているか。</p>	<p>(1) 序章では、小学校で学んだ人物をカードにまとめ、時代をとらえる学習活動を通して、中学校での歴史学習への接続が図られるよう配慮されている。</p> <p>(2) 各章の冒頭には、イラストで描かれた「歴史絵巻」が設けられているとともに、学習する時代のよさを表している資料が設けられ、生徒の興味・関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、各章の「学習のまとめ」では、年表の空欄に、その時代の代表となる人物の物語を語群や図表を用いて深く読みこまねるための「基礎的理解」や「人物の物語」など、読者の理解を深めるための工夫が図られている。</p> <p>(4) キャラクターの吹き出しを手がかりに、生徒が親しみながら主体的に学習できるように配慮されている。</p> <p>(5) ふりがなは、固有名詞を中心にゴシック体で付けたおりの読みやすさを図っている。</p> <p>(6) 序章で「地域調査に出かけてみよう！」を取り上げ、生徒が地域の歴史を学ぶ際の「地域」が歴史の「現場」であることを示している。</p> <p>(7) 「歴史の現場」コーナーを設け、現代の生活文化や歴史の現場とのつながりを図っている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 序章に「年代や時代の区分の仕方」を配し、原始・古代から現代までを6章で構成し、その後「日本の歴史を大観する」というコーナーが設けられており、全体の構成、配列は適切である。</p> <p>(2) 第1章から終章まで、見開きの1単位時間毎に通し番号が振られており、古くから現代までの見開きの1単位時間毎に100年を1cmとする年表を掲載し、学習する時代の範囲が一目で分かるよう工夫されている。</p> <p>(3) 巻末の「世界と日本の関係」や「各地方の歴史」など、各章の学習内容と関連する図表や資料を掲載し、学習者の理解を深めるための工夫が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更があった主な点は何か。</p>	<p>・ 1章～5章の章末に、「なでしこ日本史」を掲載し、章毎に活躍した3名の女性を取り上げられている。</p> <p>・ 日本の世界文化遺産について、「ル・コンピュエの建築作品（国立西洋美術館 東京都台東区）」と「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の追加。及びそれにとともなうレイアウトの変更。</p>

		種 目	社会（歴史的分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
歴史 738 とともに学ぶ人間の歴史		株式会社学び舎	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 我が国の歴史の大規模な流れを踏まえて色をよか。</p> <p>② 我が国の世界的な歴史的特徴を踏まえて色をよか。</p> <p>③ 我が国の歴史の対比を踏まえて色をよか。</p> <p>④ 我が国の歴史の発展を踏まえて色をよか。</p> <p>⑤ 我が国の歴史の国際的なつながりを踏まえて色をよか。</p> <p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分に行われているか。</p> <p>(4) 伝統や文化、宗教に関する配慮がなされているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 章扉を見開き 2 ページとし、中央に世界地図を、周囲に関連する史跡の写真が掲載され、学習する時代の背景となる世界の歴史が大観できる工夫がなされている。章末では、文章によるまとめのコーナーに用語を穴埋めさせたり、歴史白地図への作業させたりするなど、多様なまとめ方に取り組みされている。</p> <p>② 各時代の文化の記述では、当時の時代背景と関連させる文章構成となっている。また、東アジアや世界の情勢を、本文中で多く取り上げることで、世界的視野に立って日本の文化の特色を考えさせるよう配慮されている。</p> <p>③ 各章の扉ページでは、日本の各時代における特色ある歴史的事象の図版・写真が取り上げられており、グローバルな観点からそれらを敬愛する態度が育まれている。また、「歴史を体験する」では、人々の営みを追うこと、文化を尊重すること、実態を追究することなどが行われている。</p> <p>④ 国内外を問わず、民衆の立場から社会文化の発展に寄与した人物が多く取り上げられ、その時代や地域との関連を理解させ、歴史上の人物や文化遺産を尊重する態度が育てられるよう配慮されている。</p> <p>⑤ 章扉において、「宗教の広がり」、「世界を結ぶ交通手段」、「海でつながる世界」などが配置され、諸外国との関わりについて意識できるような配慮がなされている。また、世界の様々な民族の生活文化や、民衆の立場が多く取り上げられており、国際協調の精神が養われるよう工夫されている。</p> <p>(2) 写真、地図、グラフ、図解、文書資料などが効果的に掲載されており、本文と資料の関係は適切である。また、独自の視点で掲載された資料が多く見られる。</p> <p>(3) 各部における「学習のまとめ」では、時代の特色や転換について、自分の言葉で表現し、更に話し合い活動で、学習が深められるよう配慮されている。</p> <p>(4) 各時代における文化の特色や転換について、民衆の生活文化や、民衆の立場を重視し、国際協調の精神が養われるよう工夫されている。また、歴史的事象の図版・写真が取り上げられており、グローバルな観点からそれらを敬愛する態度が育まれている。また、「歴史を体験する」では、人々の営みを追うこと、文化を尊重すること、実態を追究することなどが行われている。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、きくか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じる配慮がされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説改訂の趣旨を踏まえ、配慮されているか。</p>	<p>(1) 巻頭の「歴史への案内」では、小学校で学んだ人物をカードにまとめたり、年表に書き込んだりする活動を通して、中学校での歴史学習への接続が図られるよう配慮されている。</p> <p>(2) 見開きの1単位時間毎に、興味・関心が高まるようなタイトルが付けられ、意欲的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(3) 「章をふりかえる」では、補充的な学習として、地図と年表の空欄にその時代の代表的な出来事や人物を書き込む活動が設定されており、基礎・基本の定着が図られるように配慮されている。</p> <p>(4) 巻末年表では、日本や世界の動きを関連付けるとともに、政治や文化の特色を示す写真や資料を豊富に掲載し、主体的に学習が深められるよう配慮されている。</p> <p>(5) ふりがなは、固有名詞や難読の漢語を中心に、やや多めにゴシック体で付けられ、視覚的効果が高まるよう配慮されている。絵画資料の一部は、明度を上げ、視覚的効果が高まるよう配慮されている。</p> <p>(6) 「歴史への案内」において「地域の博物館で調べる」を設けて、地域の郷土の歴史や文化を江戸時代に継承する態度が養えるよう配慮されている。</p> <p>(7) 竹島・尖閣諸島について、それぞれ閣議決定により日本の領土に編入されたことが、側注に記載されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科、他領域との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 原始・古代から現代までが、6部で構成されており、全体の教材構成、配列は適切である。</p> <p>(2) 第1部から第6部までを10章に分け、古代から現代までの我が国の歴史を、部ごとの課題を基に系統的に学習できる構成になっている。</p> <p>(3) 前見返し（日分的取公ト能）の分野上の利用が、のちの歴史の学習に役立つよう配慮されている。また、後見返し（世界的視野）の分野上の利用が、のちの歴史の学習に役立つよう配慮されている。また、後見返し（世界的視野）の分野上の利用が、のちの歴史の学習に役立つよう配慮されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A4版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。</li> <li>・ 大きな変更点はない。</li> <li>・ 写真や図の明るさが調整されている。</li> <li>・ 巻末の年表に写真が追加されている。</li> </ul>



令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

社 会  
(公民的分野)

那須塩原市・那須町採択地区協議会

教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会（公民的分野）
公民929 新編 新しい社会 公民			東京書籍株式会社
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	
	① 個人の尊厳、意思の自由、権利の保障、平和の維持、国際協調の観点から、深い理解を促す。	① 第一章「現代社会の課題と公民の役割」の導入部分で、現代社会の課題として、少子高齢化、格差の拡大、環境問題などを挙げ、これらに対処するために、市民一人ひとりが主体的に関与する必要があることを示している。また、第二章「権利と責任」で、権利と責任の両面を論じている。第三章「平和と国際協調」で、平和の維持と国際協調の重要性を説いている。第四章「社会参加と市民活動」で、市民が社会に参加し、問題を解決するための役割を担っていることを示している。第五章「未来を創る」で、未来を創るために、市民が主体的に関与する必要があることを示している。	
	② 現代社会の課題を深く理解し、市民としての責任を自覚させる。	② 「現代社会の課題と公民の役割」の導入部分で、現代社会の課題として、少子高齢化、格差の拡大、環境問題などを挙げ、これらに対処するために、市民一人ひとりが主体的に関与する必要があることを示している。また、第二章「権利と責任」で、権利と責任の両面を論じている。第三章「平和と国際協調」で、平和の維持と国際協調の重要性を説いている。第四章「社会参加と市民活動」で、市民が社会に参加し、問題を解決するための役割を担っていることを示している。第五章「未来を創る」で、未来を創るために、市民が主体的に関与する必要があることを示している。	
	③ 世界の多文化・多民族社会を理解し、国際協調の重要性を認識させる。	③ 第一章「現代社会の課題と公民の役割」の導入部分で、現代社会の課題として、少子高齢化、格差の拡大、環境問題などを挙げ、これらに対処するために、市民一人ひとりが主体的に関与する必要があることを示している。また、第二章「権利と責任」で、権利と責任の両面を論じている。第三章「平和と国際協調」で、平和の維持と国際協調の重要性を説いている。第四章「社会参加と市民活動」で、市民が社会に参加し、問題を解決するための役割を担っていることを示している。第五章「未来を創る」で、未来を創るために、市民が主体的に関与する必要があることを示している。	
(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 本文と資料の関係は適切である。本文で述べられている内容は、資料によって裏付けられている。また、資料の扱いも適切である。		
(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されている。本文には、問いかけやグループワークなどの言語活動が盛り込まれている。		
(4) 社会教育に活用できるか。	(4) 社会教育に活用できる。本文の内容は、社会教育の現場でも活用できる。また、本文には、社会参加や市民活動に関する情報が盛り込まれている。		

大観点	小観点	調査の結果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点が考慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮があるか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の趣旨を踏まえて、訂正をい</p>	<p>(1) 目次の後に教科書に使用されているマテリアルや「クワイア」の記号の説明が、地理や歴史、物理や化学の分野に関する資料を豊富に活用している。また、「クワイア」の記号の説明が、地理や歴史、物理や化学の分野に関する資料を豊富に活用している。</p> <p>(2) 各章の導入部では、「やっしど心」の視点を高く掲げ、その課題をまとめる。また、「やっしど心」の視点を高く掲げ、その課題をまとめる。</p> <p>(3) 補充的な学習として、「公民権」をテーマとし、知識と学習のつながりを重視している。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促している。また、「クワイア」の記号の説明が、地理や歴史、物理や化学の分野に関する資料を豊富に活用している。</p> <p>(5) 地図やグラフを用いて、地域の状況を視覚的に示している。</p> <p>(6) 身近な地域活動や「地財」をテーマとし、地域の現状や課題について学習している。</p> <p>(7) 日本各地の領土や領海に関する問題を扱っており、国際社会の状況や課題について学習している。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は5章構成となっており、政治、経済、国際社会の順に配列されている。</p> <p>(2) 第1章において現代社会の課題や効率と公正、きまりの意義等について学び、以降の各単元や章の振り返りなどにおいても「効率と公正」マークが設けられ、学習できる工夫が示されている。</p> <p>(3) 国内外の文化の違いや国家の主権を取り上げる際など、随所に「分野関連マーク」が設けられ、他分野との関連を意識しながら学習できるように工夫されている。また、人権問題や環境問題等において他教科との関連が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更のあった点は何か。</p>	<p>・見開きページごとに扱う目安となる時間が「・」「・・」で示されている。</p> <p>・「公民にチャレンジ」、「調査の達人」、「公民にアクセス」などのコーナーが充実しており、多面的・多角的に現代社会をとらえられるよう工夫されている。</p> <p>・東日本大震災を取り上げ、防災の重要性を強調するとともに、地域ぐるみによる取組の大切さを知ることができるよう配慮されている。</p> <p>・少子化問題を扱った写真資料では同じ学校の教室の写真が掲載されているが、見本では前回の見本よりも生徒数が減少した写真を使用し、少子化の加速に合った掲載がされている。</p> <p>・前見本では係争中であつた問題も、解決が図られた問題についてはその事実を記載し、社会の現状を伝える配慮がされている。</p> <p>・各種法令改正に合わせた資料の更新、統計資料の更新がなされている。</p>

教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会（公民的分野）
公民930 中学社会 公民 ともに生きる			教育出版株式会社
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された内容に適合しているか。	(1)	
	① 個人の尊厳を尊重し、個人の権利を保障することの重要性を認識させること。	① 「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、序文の「我々国民は、この憲法を以て、政治の根本とす」という表現で示している。また、第1条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、第3条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という表現で示している。	
	② 現代社会の課題を深く理解し、社会の発展に貢献することの重要性を認識させること。	② 「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、序文の「我々国民は、この憲法を以て、政治の根本とす」という表現で示している。また、第1条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、第3条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という表現で示している。	
	③ 世界の平和と国際協調の重要性を認識させること。	③ 「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、序文の「我々国民は、この憲法を以て、政治の根本とす」という表現で示している。また、第1条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という趣意を、第3条の「この憲法は、国民主権の原則を基本とし、個人の権利を保障し、平和の道を歩むことを旨とする」という表現で示している。	
(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 本文と資料の関係は適切である。		
(3) 言語活動が十分に行われているか。	(3) 言語活動が十分に行われている。		
(4) 社会に資する内容か。	(4) 社会に資する内容である。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、きかすための配慮がなされているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の観点から配慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じた配慮がなされているか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説改訂の趣旨を踏まえ、配慮がなされているか。</p>	<p>(1) 目次の後に教科書全体の構成と学習の流れ、資料の見方や使い方が明示されている。資料が読み取りやすくなるよう、「読み解こう」が各所に示されている。</p> <p>(2) 授業の導入部の写真資料には「見よう」という説明の文章が記載され、生徒の学習に対する興味・関心が高まるよう配慮されている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、授業時間ごとの「ステップ1」では、学習内容の理解を確かめるところがあり、重要な語句を深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>(4) 各単元の最初に「はじめに」として、生徒の主体的な学習を促すための配慮がなされている。</p> <p>(5) 全体的な観点から、読みやすさや見やすさを重視し、判読しやすいカラーや表示の仕方、文字の形状を採用している。</p> <p>(6) 学習の最後、「持続可能な未来」という問いかけをきっかけに、各単元の学習で学んだことを振り返り、未来につなげるための課題設定がなされている。</p> <p>(7) 日本領土の現状を示し、領土問題の重要性を認識させるための配慮がなされている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は、現代社会、政治、経済、国際社会という配列であり、政治、経済を各2つに分けた6章構成になっている。</p> <p>(2) ルールが持つ意味や「対立と合意」「効率と公正」が第1章において扱われ、以後の学習に活用できるような系統性について配慮されている。また、終章における「未来への約束」のレポート作成につながる学習構成となっている。</p> <p>(3) 学習内容に応じて地図や年表等の資料が効果的に用いられている。また、国際社会や憲法との関連が図や表などでわかりやすく示されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・「公民にアプローチ」では新聞の特色がまとめられていて、その後の学習において新聞記事を活用できるような配慮がなされている。</p> <p>・横幅の広いA判を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。</p> <p>・「点字のしくみ」では、実際に触って体感できる点字の加工を施している。</p> <p>・東日本大震災や阪神淡路大震災を事例として取り上げ、防災や減災などに取り組む大切さが認識できるよう配慮されている。</p> <p>・写真等の説明書きのフォントが若干太くなり、見やすくなっている。</p> <p>・法令の改正に合わせて変更がなされている。選挙権の年齢や国会の議員定数など、現行の制度に合わせた表記がなされている。</p> <p>・各種統計資料の数値の変更がある。特に国政調査の結果などが新しいデータが使用されている。</p> <p>・地図の色が明るくなり見やすくなっている。</p>



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、問題解決の意図があるか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じる配慮があるか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説改訂の趣旨を踏まえ、配慮されているか。</p>	<p>(1) 目次の後に教科書に使われているマークや記号の説明があり、学習の進め方やまとめ方、資料の活用の仕方が分かりやすくなるよう配慮されている。</p> <p>(2) 序章・政治編・経済編・国際編それぞれの扉ページには、学習内容と深く関係する人物の活動や著書などを取り上げ、本編の生徒の興味を引くような工夫がなされている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、各編のまとめでは、重要語句の説明や空所補充で学習内容を確認することができるよう配慮されている。また、「深める公民」や「もっと知りたい公民」で思考を深められるよう配慮されている。</p> <p>(4) 学習の最後に「卒業論を書いてみよう」という課題を設定し、その問題解決の意図を促している。</p> <p>(5) 図版、地図は、判別しやすい配色で、文字はユニバーサルデザインフォントを使用し、読み取りやすいよう配慮されている。</p> <p>(6) 生徒に身近な事例を取り上げたり、身近な生活や興味を調査する学習活動を設けたり、地域の活性化を促すなどの意図が盛り込まれている。</p> <p>(7) 日本の領土や領域について、北方領土・竹島・尖閣諸島が日本の固有の領土であることを踏まえ、領土問題の解決を促すよう配慮されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会を序章とし、政治、経済、国際社会の3編構成の配列となっている。</p> <p>(2) 現代社会の諸課題を取り上げる部分を序章とし、生徒の積極的な社会参画への意欲を高め、以後の学習に生かされるよう系統性について配慮されている。</p> <p>(3) 地理的分野・歴史的分野の既習事項を地図や年表等の資料を取り上げ、各分野と歴史的な関連を明らかにする。また、地理的分野・歴史的分野の既習事項を地図や年表等の資料を取り上げ、各分野と歴史的な関連を明らかにする。また、地理的分野・歴史的分野の既習事項を地図や年表等の資料を取り上げ、各分野と歴史的な関連を明らかにする。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭の「世界の中学生」では、いろいろな国の学校制度や教育環境が分かるような資料が掲載されており、日本との比較ができるよう配慮されている。</li> <li>・「深める公民」というページを設け、学習内容に関連する資料が精選して掲載されている。</li> <li>・東日本大震災を事例として取り上げ、津波による被害や救助、防災並びに福島第一原発事故にも関連付けて自然災害に対する認識を高めることができるよう配慮されている。</li> </ul> <p>・大きな変更点はない。誤字脱字などの修正は適宜行われ、図版や統計資料も適宜更新しているとの情報が出版社から提出されている。</p>

種 目		社 会 ( 公 民 的 分 野 )
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名
公民 9 3 2 社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして		株式会社 帝国書院
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  ① 個人の尊厳の意義を深く理解し、人権の大切さを認識し、自己の権利を認め、他人の権利を尊重し、社会の発展に貢献する態度を養う。  ② 現代社会の課題を認識し、個人と社会の関係を理解し、自己の役割を認識し、社会の発展に貢献する態度を養う。  ③ 世界の多文化共生の重要性を認識し、自己の文化を尊重し、他文化を理解し、共生の態度を養う。	(1)  ① 児童の権利の尊重、人権の大切さを認識し、自己の権利を認め、他人の権利を尊重し、社会の発展に貢献する態度を養う。  ② 現代社会の課題を認識し、個人と社会の関係を理解し、自己の役割を認識し、社会の発展に貢献する態度を養う。  ③ 世界の多文化共生の重要性を認識し、自己の文化を尊重し、他文化を理解し、共生の態度を養う。
	(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 本文と資料の関係は適切で、内容を深く理解し、自己の役割を認識し、社会の発展に貢献する態度を養う。
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 言語活動が十分行われ、自己の意見を述べ、他者の意見を尊重し、共生の態度を養う。
	(4) 社会参画による教育がなされているか。	(4) 社会参画による教育がなされ、自己の役割を認識し、社会の発展に貢献する態度を養う。









教科用図書の記号・番号・名称		種目	社会（公民的分野）
公民927 新しい公民教科書			株式会社 自由社
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 個人の尊厳を尊重し、個人の権利を保障し、民主的・政治的・経済的・社会的・文化的に、人々の生活を豊かにし、平和と繁栄を達成することを目指す。</p> <p>② 現代社会の課題を深く理解し、個人の権利を尊重し、個人の生活を豊かにし、平和と繁栄を達成することを目指す。</p> <p>③ 世界の平和と繁栄を達成するために、個人が果たすべき役割を理解し、平和と繁栄を達成することを目指す。</p>	<p>(1)</p> <p>① 第二章「立憲国家の発展」と第三章「民主主義の発展」の2章が、本書の中心をなしている。この2章は、憲法の基本原則と民主主義の発展の歴史を、平易な言葉で説明している。また、憲法の基本原則と民主主義の発展の歴史を、平易な言葉で説明している。</p> <p>② 第一章「現代社会の課題」と第二章「立憲国家の発展」と第三章「民主主義の発展」の3章が、本書の中心をなしている。この3章は、現代社会の課題と立憲国家の発展と民主主義の発展の歴史を、平易な言葉で説明している。また、現代社会の課題と立憲国家の発展と民主主義の発展の歴史を、平易な言葉で説明している。</p> <p>③ 第四章「国際社会の発展」と第五章「世界の平和と繁栄」の2章が、本書の中心をなしている。この2章は、国際社会の発展と世界の平和と繁栄の歴史を、平易な言葉で説明している。また、国際社会の発展と世界の平和と繁栄の歴史を、平易な言葉で説明している。</p>	
	<p>(2) 本文と資料の関係は適切か。</p> <p>(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(4) 社会参画、伝統や文化、実生活に関する内容を、適切に紹介しているか。</p>	<p>(2) 本文と資料の関係は適切である。本文と資料の関係は適切である。</p> <p>(3) 各章の言語活動が十分行われるよう配慮されている。各章の言語活動が十分行われるよう配慮されている。</p> <p>(4) 「もまら」として、個人の権利を尊重し、個人の生活を豊かにし、平和と繁栄を達成することを目指す。個人の権利を尊重し、個人の生活を豊かにし、平和と繁栄を達成することを目指す。</p>	



教科用図書の記号・番号・名称		種 目	社会（公民的分野）
公民934 [新編] 新しいみんなの公民			株式会社 育鵬社
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 個人の尊厳を尊重し、個人の権利を保障し、社会の発展に寄与するよう努めること。また、個人の権利を保障し、社会の発展に寄与するよう努めること。</p> <p>② 現代社会の課題を深く理解し、社会の発展に寄与するよう努めること。</p> <p>③ 世界の平和と発展に寄与するよう努めること。</p>	<p>(1)</p> <p>① 第2章「法の支配」は、納税や選挙の権利など、市民生活に深く関与する権利を保障し、社会の発展に寄与するよう努めること。また、個人の権利を保障し、社会の発展に寄与するよう努めること。</p> <p>② 第1章「現代社会の課題」は、現代社会の課題を深く理解し、社会の発展に寄与するよう努めること。</p> <p>③ 第5章「国際社会」は、世界の平和と発展に寄与するよう努めること。</p>	
	(2) 本文と資料の関係は適切か。	(2) 本文の記述と資料の関連性をよく理解し、資料の活用が適切に行われている。	
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 「やど」などの活動を通して、生徒の主体的な学習が行われている。	
	(4) 社会教育に活用できるか。	(4) 「やど」などの活動を通して、生徒の主体的な学習が行われている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒の主体的な学習を促し、課題を解決できるように配慮しているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点を考慮しているか。</p> <p>(6) 地域の実態に応じる配慮があるか。</p> <p>(7) 学習指導要領解説の進め方について配慮されているか。</p>	<p>(1) 目次の後に教科書に使われているマークや記号の説明があり、生徒から見て学習の進め方やまとめ方、資料の活用の仕方が分かりやすくなるよう配慮されている。</p> <p>(2) 各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。また、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。また、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。</p> <p>(3) 補充的な学習として、授業時間ごと学習内容の理解を確かめられるよう配慮されている。また、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。</p> <p>(4) 新聞記事の多岐にわたる内容を、生徒の興味・関心に応じて取り入れるよう配慮されている。また、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。</p> <p>(5) 図版は、判別しやすい色やレイアウトが使用されている。ふりがなは、ゴシック体を用いている。</p> <p>(6) 「地方自治と市民生活」の地域を、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。</p> <p>(7) 日本史の領土の変遷について、特に関心のある地域について、詳しく取り上げられている。また、各章の初めに「〇〇の入り口」が設定され、その章の基礎となる考え方を学ばせるよう配慮されている。</p>
3 配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 全体の教材構成は適切であり、それぞれに配分されている分量や区分も適切である。単元は現代社会、政治、経済、国際社会の順に配列され、政治を二つに分けた5章構成になっている。</p> <p>(2) 第1章において「対立と合意」、「効率と公正」を取り上げ、その見方・考え方が後の学習に活用されるよう、系統性について配慮されている。また、地理・歴史・公民の概念が意識できるように配慮されている。</p> <p>(3) 地理的分野・歴史的分野の既習事項が地図や年表等の資料として取り上げられ、効果的に活用されている。また、図表や文化や家庭生活、環境問題を取り上げる際、他教科と関連が図られている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・公民学習の初めに「時間軸（縦軸）」と「空間軸（横軸）」が示され、これまで学習してきた地理的分野、歴史的分野などの学習内容と、これからの学習していく公民的分野の学習内容を整理しやすいよう工夫されている。また、「自分の過去・現在・未来シート」があり、隣のページの「人生イメージ」を参考にしながら、自分と社会の関わりについてより具体的にイメージできるように工夫されている。</p> <p>・皇室の取組が（写真資料として）、天皇皇后両陛下が東日本大震災で黙とうを捧げる姿、福祉施設を訪問する姿、オバマ大統領を迎える姿などで取り上げられている。</p> <p>・横幅の広いA B版を採用しており、写真や資料が大きく掲載されている。</p> <p>・「理解を深めよう」で東日本大震災を取り上げ、震災の被害や救助について強調し、自然災害に対する防災への備えをしておく重要性を認識できるよう配慮されている。</p> <p>・誤字脱字などの訂正は見られるが、大きな変更点はない。</p> <p>・見出しや元々の訂正は確認するが、大きな変更点はない。</p> <p>・更新されているなどの報告は、確認するが、大きな変更点はない。</p> <p>・統計資料などは適宜</p>

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

地 図

那須塩原市・那須町採択地区協議会



		種 目	地 図
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
地図723 新編 新しい社会 地図		東京書籍株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 広い視野に立って我が国及び世界の地理的特徴を考察し、理解されているか。</p> <p>② 地理的見方や考え方を育むための基礎を築き、地域の特色を考慮しているか。</p> <p>③ 地域調査や現地視察などを行い、実際の生活や活動に活用できるように工夫しているか。</p> <p>(2) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に応じた適切なものであるか。</p> <p>(3) 郷土との関連が図りやすいか。</p> <p>(4) 社会の変化に対応できるよう配慮されているか。</p>	<p>① 「注目したい記号」が地図内に示されており、他地域と比較して地域的特色を考えるための視点が絞り込めるよう工夫されている。「ジャンプ」では、他地域や他内容との関連が図れるよう工夫されている。</p> <p>② 各主題図にイラストやグラフなどが併せて配置されており、地図・資料を関連付けて社会的事象をとらえることができるよう工夫されている。</p> <p>③ 「基本資料」のページでは、自然・人口・産業などの内容について、いさよがら地域的な特色を深めるための工夫が凝らされている。また、「都道府県の産業と名所・お国自慢」で栃木県が紹介されている。</p> <p>(2) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に即して適切に配置されている。統計資料などのデータが多く充実している。</p> <p>(3) 郷土料理の写真や、世界遺産を取り上げた地図を掲載し、我が国の伝統や世界に誇れる文化財に触れられるようにするとともに、ご当地キャラクターを取り上げるなどの工夫がなされている。栃木県について、主な農産物や特産品、工業・農業の出荷額などが関東地方の地図や「基本資料」の中で取り上げられている。また、「都道府県の産業と名所・お国自慢」で栃木県が紹介されている。</p> <p>(4) 「世界と日本の資源・エネルギー①」においては、現在、需要が高まっているレアメタルや日本のメタンハイドレートの推定埋蔵地について取り上げ、環境問題や資源・エネルギーに関する資料を充実し、今日的課題の考察を深め、解決のためにできることを考えられるよう配慮がなされている。</p>	

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選 択・取扱 について	<p>(1) 生徒が地図に親しめるよう配慮されているか。</p> <p>(2) 生徒の発達の段階、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習指導要領解説改訂の進め方を踏まえ配慮されているか。</p>	<p>(1) 生徒にとって実際に触れる機会の少ない世界を中心に、写真を豊富に掲載し、地域のイメージをもちやすくする工夫をすることによって地図に親しめる配慮がなされている。</p> <p>(2) 日本との結び付きの強いアジア、ヨーロッパ、北アメリカの各州には、見開きの鳥瞰図を掲載し、生徒が自然地形のイメージを捉えやすくし、興味・関心を高める工夫がなされている。</p> <p>(3) 「基本資料」「テーマ資料」の二部構成となっており、「テーマ資料」では、主題図や統計資料が豊富に掲載され、発展的な学習にも対応できるよう工夫されている。 一つの事象を、異なる視点からとらえた資料や異なる表現方法で示した資料を掲載し、多面的・多角的な考察ができるよう工夫されている。</p> <p>(4) 「テーマ資料」では資料を活用して考察できるよう工夫されている。また、テーマごとに資料を検索できる「資料さくいん」を設け、教科書の学習内容に適した資料を探しやすい工夫がなされており、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(5) 一般図の市街地を黄色で示すなど主題図やグラフでは、カラーバリエーションに配慮するとともに、国名・都道府県名の赤文字を白く縁取りしたりするなど読み取りやすい字體を使用することにより色覚特性がある生徒や、小さな文字が読み取りにくい生徒など、様々な生徒が無理なく学習できるような配慮がなされている。</p> <p>(6) 自然災害についての資料を豊富に掲載することで、東日本大震災での被害や日本における公害問題も併せて取り上げ、被害についても大きな被害を取り上げらる例を記載することで、防災について身近に感じられるよう配慮している。また、日本と周辺諸島の併せて尖閣諸島を領土として明記するだけでなく、現在の状況が理解できるような工夫がなされている。</p>
3 組織・配 列等につ いて	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 全体図と部分図の構成、配列は適切か。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 世界全図、世界全体のテーマ資料、世界の諸地域、日本の諸地域、日本全体のテーマ資料、統計、索引、日本全図と、学習指導要領の配列に即して構成されており、学習効果が高まるような工夫され、構成、配列は適切である。</p> <p>(2) ・世界、日本ともそれぞれ「一般図」と「全体の資料」と「各州・地方の資料」から成り、学習効果が高まるように構成されている。</p> <p>(3) 歴史的なつながりの深いヨーロッパ・アフリカの一般図など、地域的なつながりを重視した様々な図取りの一般図を用いることで歴史や公民の学習にも活用できるような配慮がなされている。 修学旅行で訪れる機会の多い都市の拡大図が、多く取り上げられている。</p>
4 上記以外 の特徴点 について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>目次において、災害の写真を扱っているページに印がつけられており、授業を行う際の生徒指導上の配慮について記載されている。</p> <p>・グラフや図版、統計資料等は適宜更新されている。 ・東京オリンピックの写真が「スタジアム完成予想図」から「おもてなしユニフォーム」に変更されボランティア活動をよりアピールする掲載になっている。</p>

		種 目	地 区
教科 用 図書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
地図 7 2 4 中学校 社会 科 地図		株式会社 帝国 書院	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内 容 に つ い て	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 広い視野に立って我が国及び世界の地理的特徴を理解しているか。</p> <p>② 地理的な見方や考え方の基礎を身に付けているか。</p> <p>③ 地域調査を行う際の資力や方法を適切に選択しているか。</p> <p>(2) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に応じた適切なものであるか。</p> <p>(3) 郷土との関連が図りやすいか。</p> <p>(4) 社会の変化に対応できるよう配慮されているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 主題図「ながめよう」が各地域の全体図と部分図の間に配置されている。この「通し図」が「大鳥瞰図」のように工夫されている。生徒が地域を概観し、おもしろく感じるよう工夫されている。</p> <p>② 「地図を見る目」のコーナーで、全体図、部分図、主題図の読図のポイントが示されており、読図を通して地理的な見方や考え方の基礎を身に付けていくことができる。尺をできるだけ統一し、異なる内容を並列に配置している。</p> <p>③ 「資料図」では、自然・産業・くらしをまとめた資料図を示した後に各テーマごとの資料が配置されている。</p> <p>(2) 挿絵、写真、図表、グラフ等は、内容に即して適切に配置されている。各地域の人々の生活の様子を表した写真や挿絵が充実し、生徒がイメージしやすいよう配慮されている。</p> <p>(3) 日本の伝統的工芸品や地場産業、世界遺産などを地図中に絵記号で表現したり、日本の伝統・文化に関する特設ページを配置したりするなどの工夫がなされている。栃木県については、主な農産物や特産品、観光地などが関東地方の地図中や「資料図」内で取り上げられている。産業では、北関東工業地域の変化や関東地方の農業が主題図として取り上げられている。</p> <p>(4) アメリカ合衆国のページでシェールガス田の分布図が取り上げられており、世界の探掘可能なシェールガス割合もグラフで示されている。世界の環境問題が、地図と写真資料によって取り上げられている。関東地方の「資料図」では、東京オリンピック・パラリンピック開催にあたる会場予定地などについて取り上げられている。</p>	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 生徒が地図に親しめるよう配慮されているか。</p> <p>(2) 生徒の発達の段階、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習指導要領解説改訂の趣旨を進める上で配慮されているか。</p>	<p>(1) 「大鳥瞰図」や「ながめてみよう」では、生徒の興味・関心を視覚的に引きつけ、生徒が地図に親しめるよう工夫がなされている。</p> <p>(2) 巻頭に「地図帳の使い方」が設けられており、地図帳や資料の見方や使い方が定着できるように配慮されている。「大鳥瞰図」や「衛星資料」を多用することによって生徒が興味・関心をもてるように大観学習が重視されている。</p> <p>(3) 各地域、地方の多様な姿を捉えられるよう、地図および資料が充実しており発展的な学習にも対応できるよう工夫されている。</p> <p>(4) 「地図を見る目」が設けられ、地図活用のスキル獲得や地図への着眼点が理解できるよう主体的に学習できる配慮がなされている。「やってみよう」が設けられており、地図から読みとる学習活動や言語活動ができるように工夫されている。</p> <p>(5) 色覚に特性をもつ生徒でも、色を判別して地図が読めるように色彩表現に工夫がなされている。特に、赤文字で記された都道府県名・国名については、黒色で縁取りして読みやすくする配慮がなされている。また、小さかったり、下地の色と区別がつきにくく一部の国名に関しては、さらに白で縁取りするなどの配慮がなされている。</p> <p>(6) 「日本の災害と防災」では、東日本大震災の被害や近年日本で見られる災害について取り上げられている。日本の領土については、日本地図の最初のページで、竹島と尖閣諸島が写真と解説で紹介されており、ともに日本固有の領土であることが明記されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 全体図と部分図の構成、配列は適切か。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 世界、日本の順に配列されている。そして、世界は州ごと、日本は地方ごとに構成され、それぞれに全図、部分図、テーマ資料が配置されている。巻末には産業等の資料図や統計資料が配置され、配列は適切である。</p> <p>(2) 世界、日本それぞれで、全体図と部分図が関連付けられ、適切に配列されている。また、部分図と主題図や統計資料が関連付けやすいようページ構成が工夫されており、構成、配列は適切である。</p> <p>(3) 「重要な歴史地名・事項」や「おもな歴史地名・事項」を地図中に掲載したり、江戸時代の東京や大阪の地図を設けるなど歴史的分野との関連の配慮がなされている。E U や A P E C など国際機関への参加国を地図に示したほか、環境問題や宗教に関する資料図や、中央省庁が集積する霞ヶ関の拡大図などが設けられ公的的分野との関連の配慮がなされている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「シリコンバレーのようす」では、具体的な企業名実名で記載されており、身近に感じられるように配慮されている。</li> <li>・ グラフや図版、統計数値等は適宜更新されている。特に工業発展が著しい中国やアフリカ州に関する貿易関係の資料は大きく変更されている。</li> <li>・ より見やすいように資料の色合いを変更している。</li> </ul>

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

数 学

那須塩原市・那須町採択地区協議会

教科用図書の記号・番号・名称			種目	数	学	
1年			2年		3年	
1年			2年		3年	
新編 数学728 新編 新しい数学1			新編 数学828 新編 新しい数学2		新編 数学928 新編 新しい数学3	
大観点			小観点		調査の結果	
小観点			小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
	① 基礎的・基本的な知識・技能の習得	① 「例示的・基本的な知識・技能の習得」順に、学習の項目を返す。	① 「例示的・基本的な知識・技能の習得」順に、学習の項目を返す。	① 「例示的・基本的な知識・技能の習得」順に、学習の項目を返す。	① 「例示的・基本的な知識・技能の習得」順に、学習の項目を返す。	① 「例示的・基本的な知識・技能の習得」順に、学習の項目を返す。
	② 事象を数理的に考察し表現する能力の育成	② 「事象を数理的に考察し表現する能力の育成」に、日常生活や身近な事象を題材として、数理的に考察し表現する能力を育成する。	② 「事象を数理的に考察し表現する能力の育成」に、日常生活や身近な事象を題材として、数理的に考察し表現する能力を育成する。	② 「事象を数理的に考察し表現する能力の育成」に、日常生活や身近な事象を題材として、数理的に考察し表現する能力を育成する。	② 「事象を数理的に考察し表現する能力の育成」に、日常生活や身近な事象を題材として、数理的に考察し表現する能力を育成する。	② 「事象を数理的に考察し表現する能力の育成」に、日常生活や身近な事象を題材として、数理的に考察し表現する能力を育成する。
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3) 図表、グラフ、挿絵などは、適切に用いられているか。	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)	(3)

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 生徒の発達段階が考慮されているかを「な	(1) 1年「平行線の作図」(p.144)では、書く方法が返りな
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 導入が「多」で「見」る。	(2) 2年「1次関数」(p.55)では、湯かきと比べる。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 「よれを夫	(3) 3年「直径補助線」(p.165)では、問題を「連続的
	(4) 生徒が主体的に学習できよう配慮されているか。	(4) 「を深ま	(4) 3年「基礎的個
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点が配慮されているか。	(5) 全ラ	(5) 1年「例題」(p.97)では、文す3文字
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 「単元」で	(1) 3年「因数分解」(p.144)では、素数の
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 『学習』は	(2) 3年「学ばな
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 「も」が	(3) 各学年「数学
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書のページが1単位で進められている。</li> <li>・3年(p.35)に日光いろは坂が取り上げられ、郷土愛が高まるよう配慮されている。</li> <li>・巻末「もっと数学しよう」には、問題編や課題編として、多彩な学習内容が取り上げられている。</li> </ul>	
	(2) 平成28年度採用見本本から変更のあった主な点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更点は確認できなかった。</li> </ul>	

教科用図書の記号・番号・名称			種目	数 学
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
数学729 新版 数学の世界1	数学829 新版 数学の世界2	数学929 新版 数学の世界3	大日本図書株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)	
	① 基礎的・基本的な知識・技能の習得	① 重要な問題の解法は、板書形式で見例を参考に、式や問題の配列が適切である。また、問題の難易度が段階的に高められており、学習意欲を高める工夫がなされている。	① 1年「まとめの問題1年」(p.285-291)2年「まとめの問題2年」(p.220-227)3年「中学校数学のまとめ」(p.264-277)では、既習事項がまとめられており、学習効率的に学び直しができる。	
	② 事象を数理的に考察し表現する能力の育成	② 「心」のついでに「しるし」を用いた「しるし」の活用が、単に「しるし」を覚えるだけでなく、その意味や活用方法を理解し、表現する能力を育成している。	② 1年(p.61)、2年(p.117)、3年(p.95)「深めよう」で、事象を数理的に考察し表現する能力を育成している。	
③ 数学的活動の楽しさや数学配	③ 随所随所で「Mathful」の活用が、単に「しるし」を覚えるだけでなく、その意味や活用方法を理解し、表現する能力を育成している。	③ 2年「Mathful」(p.202)では、誕生日などの活動を通して、数学の楽しさや面白さを体験している。		
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 「伝言ゲーム」や「伝言カード」などの言語活動が、単に「しるし」を覚えるだけでなく、その意味や活用方法を理解し、表現する能力を育成している。	(2) 1年「レポート」(p.94)では、内容を工夫して表現する能力を育成している。		
(3) 図表、グラフ、挿絵などは、適切か。	(3) 各単元の学習の成果を、図表やグラフなどで表現し、その意味や活用方法を理解し、表現する能力を育成している。	(3) 1年「2つの量」(p.124)では、数量の関係性を図表やグラフで表現し、その意味や活用方法を理解し、表現する能力を育成している。		







大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 「ふりかえり～算数から数学へ～」では、小学校で学習した用語や計算のやり方などが掲載され、振り返りが配慮されている。	(1) 1年 (p.10-11) では、四則を使っているいろいろな計算問題を作りながら既習事項が復習できるようになっている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 各単元の導入のページは、親しみやすい絵や写真などを用いて、身近な問題を取り上げている。	(2) 3年「標本調査」(p.221) では、年間高視聴率番組ベスト10が記載されており、生徒が関心を持って学習できるようになっている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 「計算力を高めるための発展的な学習」をテーマとして、各単元で「計算力」を高めるための学習課題を配慮している。	(3) 2年 (p.25、p.51) では、各1ページを使って補充問題が扱われている。1年「カレンダーの数の秘密を考えよう」(P.89)や「立方体の切り口の形は？」(P.276)では、発展的な学習が扱われている。
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) 各単元の「確認めよう」と「計算力を高めるよう」で、各問題において、確認するべきポイントを明確に示している。	(4) 2年「1年の計算」(p.222)、「2年の復習」(p.223-228)では、基礎・基本となじみやすい問題が配慮されている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) カラーバリエーションの観点から、色覚特性に配慮されている。マーク類の配置や文字の大きさなど工夫されている。	(5) 1年「目標」(p.14)、2年「重要」(p.124)のマーク類が配色とあわせてある。
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 学習に取り組むやすいような単元の構成や配列がなされている。単元の深めたり広げたりなど工夫されている。	(1) 1年 (p.92-95) では、等式と不等式の違いを明確にさせるために、2章「文字式」ではなく、3章「1次方程式」の導入問題として扱われている。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 「目次」に記された単元名が、各単元で「ふりかえり」の展開がなされている。	(2) 3年巻末「さらなる数学へ」では、高校へのかげ橋として、さらに進んだ内容を紹介して興味を持たせ、意欲的に取り組めるようになっている。
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 巻末「さらなる数学へ」では、福祉や健康、環境問題などを取り上げるなど工夫されている。	(3) 3年 (p.245) では、歴史的事例と、平方根との関連が示されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科用図書の全てのページの右側に色を付けて各単元の番号を示し、速やかにページが開けるよう工夫されている。</li> <li>・巻頭の「数学で使われる考え方」では、「類推的な考え方」「帰納的な考え方」「演繹的な考え方」の3つの考え方が、具体例を示しながら取り上げられている。</li> <li>・巻末の「さらなる数学へ」では、課題研究や自由研究の内容を充実させたり、表現力を高めるための例なども取り上げたりと、工夫されている。</li> <li>・2年4章で扱われている単元が、「図形の性質の調べ方」として工夫されている。</li> </ul>	
	(2) 平成28年度採択見本本からの変更のあった主な点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変更点は確認できなかった。</li> </ul>	



大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 生徒の発達段階を考慮し、算数・図形・幾何の単元を、前学年の学習内容と関連付けて学習させる。	(1) 1年「文字と式」(p.58)では、学習する単位の異なる式を、数式で表すことができるようにしている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 各単元の導入が興味・関心を高めるように工夫されている。	(2) 3年「Let's Try」(p.131)では、ネットのイラストを引用し、生徒の興味・関心を高めるようにしている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 巻末の「補充問題」や「発展問題」を、授業の進度に合わせて取り入れる。	(3) 1年「確率」(p.270-284)では、2つの異なる文脈で、確率の考え方を展開している。
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。	(4) 2年「4角形」(p.137)では、日常生活の身近な事例を引用し、学習の意欲を高めるようにしている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。	(5) 1年「円の面積」(p.100-101)では、円形の図形を、日常生活の身近な事例を引用し、学習の意欲を高めるようにしている。
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。	(1) 2年「数の広場」(p.174)では、数の概念を、日常生活の身近な事例を引用し、学習の意欲を高めるようにしている。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。	(2) 1年巻末「小学校算数のまとめ」(p.174)では、算数の学習内容を、体系的に整理し、学習の意欲を高めるようにしている。
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。	(3) 3年「自由研究」(p.210-211)では、自由研究のテーマを、日常生活の身近な事例を引用し、学習の意欲を高めるようにしている。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・ 学年ごとの学習内容が、色分けされたり、配色が見やすい構成になっていたりと工夫されている。 ・ 各単元の導入が、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習できるように工夫されている。 ・ 数学と英語の関連性を、巻末の「英語表現」で示されている。 ・ 巻末の「補充問題」や「学力アップ問題」が数多く取り上げられている。 ・ 1年(p.155)では、栃木県の面積を求める問題が設定されたり、3年表紙には、県内のテーマパークの写真が掲載されていたりと郷土愛が高まるよう配慮されている。	
	(2) 平成28年度採択見本本からの変更のあった主な点は何か。	・ 1年3章「方程式の章」の問題10で、「それぞれいくらか値上がりしましたか」という問題を、「値上げ額をそれぞれ求めなさい」と変更し、求めるものが明確にされた。 ・ 2年1章「角」の問題13で、「三角形の合同条件の仮定を、二つの角」に変更され、思考の幅を深める問題へと変更された。	



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 各単元に、おいて小学習で学習したり内容が や中學校に数内既習事項が「円滑な り」としてのされ、おりの、	(1) 3年「ふりかえり1年」(p.78)では、二次方程式の利用において、一次方程式の利 用の解決手順に順になっている ことができるようになっている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 各単元の導入では、学習への興味・関心 心高まるよ「数学の発展への仕方が、工 さにまわらるる「興味深い」の「身 わりへは、身のまわりの材が、の 場」でできる題材が取り上げら	(2) 1年(p.135)では、視力 検査に使うランドルト環を題 材として、日常生活で数学を 利用する活動が扱われている。
	(3) 補充的な学習、発展的 な学習に配慮されているか。	(3) 右寄の「形記分でさかま べよいか、巻末の「確認」の まは、上「単元」の「確認」の 取り上げらるる、	(3) 3年「変化の割合」(p.23 6)の公式の導出や、3年 「グラフ」(p.237)が 発展的に取り上げら れている。
	(4) 生徒が主体的に学習で きるよう配慮されているか。	(4) 巻末の「単元」の「確認」の 問題は、自主的に取り組む 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の	(4) 1年「力をつけよう」(p.2 23-231)の「くり返し練習」 では、自主的に取り組む 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の
	(5) ユニバーサルデザイン の視点について配慮さ れているか。	(5) 全体的に、落着いて、色 個人が、伝わる、減らす、 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の	(5) 3年「二次方程式の導入課 題」(p.64-65)では、文字の 大さきやフオントを変えな り、識別しやすい配色にな っている。
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列 は適切か。	(1) 各学年の「単元」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の	(1) 3年「図形と相似」(p.15 0)の「5章の基本図形」の 「1」で相似な図形の 性質や相似比について理解し ているかどうかを(p.116-11 9)で確認することができる ようになっている。
	(2) 系統性について配慮さ れているか。	(2) 4領域の系統性に配慮した 「Math Navi」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の	(2) 2年「Math Naviブック」 (p.10)では、トーナメン トの仕組みを知り、連立方程 式を使って1回戦が何試合必 要かを考えさせるなど、これ までの学習を活用した内容や 場面が扱われている。
	(3) 生活、他教科等との関 連について配慮されているか。	(3) 別冊の「Math Navi」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の 「学習」の「確認」の	(3) 2年「Math naviブック」 の表紙裏(p.0-1)では、数 学とデザインのつながりがイ ンタビュー形式で取り上げら れている。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。  (2) 平成28年度採択見本 本からの変更のあった主 な点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭では「この本で学ぶみなさんへ」「保護者の方へ」として、数学の学習に対するメッセージが書かれており、生徒だけでなく保護者にも配慮されている。</li> <li>・巻頭の「学習の進め方」では、数学を学ぶ上での心構えが詳しく書かれるなど工夫されている。</li> <li>・別冊の「Math Naviブック」を充実させ、数学の学習の幅が広がるよう工夫されている。</li> <li>・巻末の「数学広場」では、「ひろがる数学」「数学を通して考えよう」の2部構成にし、発展的内容も積極的に取り上げるなど工夫されている。</li> <li>・1年(p.270)には、教科書で使われるアルファベット表記と筆記体が取り上げられている。</li> <li>・1年生の「比と比例式」のふりかえりの問題において、生徒が実生活でよりイメージしやすい具体例に変更されていた。</li> <li>・別冊の「Math Naviブック」において、「ストローでつくる正多面体とヒンメリ」のイラストが、段によって、より区別しやすい色分けに変更されていた。</li> </ul>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	数 学
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
数学 7 3 4 中学校数学 1	数学 8 3 4 中学校数学 2	数学 9 3 4 中学校数学 3	数研出版株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)	
	① 基礎的・基本的な知識・技能の習得	① 例題の解法が、詳細に記述されている。また、図表やグラフを用いて、内容を説明している。	① 3 年の単元末問題 (p.153-155) で知識を定着させる。問題 A が、高レベルな問題となっている。	
	② 事象を数理的に考察し表現する能力の育成	② 「□」で囲った問いは、図表やグラフを用いて、内容を説明している。	② 1 年 第 4 章「比例と反比例」(p.110, 111) の導入に、数値を用いて、具体的な場面を設定している。	
	③ 数学的活動の楽しさや数学配慮	③ 数学的活動の楽しさや数学配慮	③ 2 年「数学探検」(p.175-186) の導入に、数値を用いて、具体的な場面を設定している。	
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 巻頭語や、各章の導入文に、言語活動の場を設けている。	(2) 1 年 (p.49) の「数学探検」の導入に、数値を用いて、具体的な場面を設定している。	
	(3) 図表、グラフ、挿絵などは、適切に用いられているか。	(3) 3 種類の問題を、図表やグラフを用いて、内容を説明している。	(3) 1 年 第 1 章「数の性質」(p.104) の導入に、数値を用いて、具体的な場面を設定している。	



大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達段階について考慮されているか。	(1) 前学年までの学習内容の重要事項が「出発前のクイックチャージ」として巻頭にまとめられていることで、既習内容の確認ができ、発達段階について考慮されている。	(1) 1年「ふりかえり」(P.194)では、「出発前のクイックチャージ」(P.9)の体積を振り返らせるよう記載されている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 各単元の導入では、身の回りの生活と関わりが深い題材が取り上げられ、楽しみながら学べるよう工夫されている。	(2) 1年「資料の整理とその活用」(p.202-203)では、「鹿せんべい飛ばし大会の記録」が取り上げられ、興味を持って取り組めるようになっている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 「確認問題B」の深演習が第1章の基礎的な内容で構成されている。「問題A」の内容が「問題B」の内容と関連している。「確認問題A」の内容が「問題B」の内容と関連している。「確認問題B」の内容が「問題A」の内容と関連している。	(3) 発展的な学習として、3年「第4章」の問題を取り上げられている。
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) 巻末の「チャレンジ編」が、基本となる内容を扱っており、発展的な内容が扱われている。	(4) 3年「チャレンジ編」(巻末)が、発展的な学習に活用されている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 基礎的・重要な事項を多用し、重要な事項が多用されている。	(5) 各単元の導入部分では、課題を多用し、発展的な学習に活用されている。
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) すべての単元の導入は見開きになっている。また、各単元の学習内容の配列が考慮されている。	(1) 3年「式の計算」(p.34)では、素因数分解の発展問題を取り上げることで、前時の学習内容をスムーズに活用できるような配慮されている。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 4領域の系統性を考慮した単元の配列がなされている。また、発展的な内容を扱う工夫がなされている。	(2) 1年(p.108)では、等式の性質から不等式の性質について発展させることで、高校数学の内容が感じ取れるようになっている。
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 各単元の導入は日常生活に身近な題材を用いており、英語科などとの関連も考慮されている。	(3) 1年第6章「空間図形」の導入(p.172,173)では、身のまわりにある立体を題材に「積み重ねることか」などの実生活に即した課題を提起している。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・巻頭の「中学校の数学を学ぶみなさんへ」では、発達段階に応じて学習の進め方が示されている。 ・巻末の「チャレンジ編」では、単元ごとに基本のまとめとドリルが掲載されており、内容も工夫されている。	
(2) 平成28年度採用見本本から変更のあった主な点は何か。	・すべての学年において、図の色合いや表し方工夫され、より見やすく変更されていた。 ・1年生の「平面図形」の単元で、章の導入の地図記号をその図形的な特徴をもとにグループ分けをする課題で、例が1つずつ示されるように変更された活動がしやすいように工夫された。		

教科用図書の記号・番号・名称			種目	数	学
1年	2年	3年	発行者名		
数学735 中学数学1	数学835 中学数学2	数学935 中学数学3	日本文教出版株式会社		
大観点	小観点	調査の結果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)		
	① 基礎的・基本的な知識・技能の習得	① 学習内容に基き、頻りに学ばせ、家庭での練習を促す。内容が豊富で、活用しやすい。印刷のよさが、工夫が凝らされている。★印の「く」が、基礎的な問題の繰り返し練習に効果的である。	① 1年「1章のくり返し練習」(p.52-53)で、計算の基礎的な問題が豊富である。		
	② 事象を数理的に考察し表現する能力の育成	② 「見よ動け」や「見よ動け」の活用が、数理的考察の能力を育成する上で有効である。	② 2年「2章の発展問題」(p.24-25)で、数論的な問題が豊富である。		
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2)	(2)			
	③ 数学的活動の楽しさや数学配慮	③ 数学的活動の楽しさや数学配慮が、学習意欲を高める上で有効である。	③ 2年「生活と数学」(p.96)で、生活と数学の関わりが詳しく説明されている。		
(3) 図表、グラフ、挿絵などは、ねらい達成のために適切か。	(3)	(3)			
			④ 1年「深めると数学」(p.90)で、数論的な問題が豊富である。		
			④ 2年「連立方程式」(p.36-37)は、キー屋で買えるという場面が、学習意欲を高める上で有効である。		

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・ 選択・ 取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 生徒の発達の段階が考慮されている。学習の振り返り。	(1) 3年「1章式の展開と因数分解を学ぶ前に」（p.9）では、既習の計算ができるようになって振り返りしている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 「生活への利用」に「生活への利用」の数学を、また学習が取り上げられる。話や親しむ。返らぬ。めり。深。	(2) 1年「生活への利用」（p.246）では、借りた本の冊数の比較について取り上げたり、学んだことを生かせる場面が設定されている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習、発展的配慮されているか。	(3) 「くぐる。めり。深。	(3) 2年（p.31）は、1ページ「練習」展開ついで、返らぬ。めり。深。
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) 各単元の観点から、領域別に「明題末の章記の間のさ取」を、よそげらる。	(4) 3年「力をのばそう」（p.210-227）では、「A問題」「B問題」に分けて課題提示されている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 文や字の大きさや色、読みやすさを考慮している。	(5) 1年（p.40-41）では、文の配列や行間の背の面、色、大きさ、読みやすさを考慮している。
3 組織・ 配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 各単元の構成が適切である。	(1) 3年「相似な図形」（p.159-161）では、「くり返し練習」で平行線と線分の比の計算問題、「章のたしかめ」で基本の証明問題、「とりくんでみよう」で証明や説明を必要とする問題が扱われている。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 4領域の系統性を考慮している。	(2) 1年巻末の折り込みを切り取り、組み立てたり、「裏見返し」に基本の図や見取り図・展開図についてまとめられている。
	(3) 生活、他教科等との関連性について配慮されているか。	(3) 「教例」で生活や他教科との関連性を示している。	(3) 3年「数学研究室」（p.222-237）では、「風の強さ」「巻数」「正方形」など、他教科と関連する内容を取り上げられている。
4 上記以外の 特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・教科用図書の全ページの右側に色を付けて章の番号を示し、ページが速やかに開けるよう工夫されている。 ・単元ごとに「～を学ぶ前に」という準備学習が用意されるなど配慮されている。 ・巻末の「数学マイトライ」では、多彩な内容が取り上げられている。具体的には、「数学研究で日常生活と数学のつながりや歴史などを詳しく触れられたい」という趣旨で、3年「ステップアップ」では、応用問題を取り上げることによって、より力をつけるよう配慮されている。 ・3年裏表紙では、数学の歴史年表が、人物とともに取り上げられている。	
(2) 平成28年度採択見本本からの変更のあった主な点は何か。	・1年において、イラストや強調したい文字の網掛けなどで色合いを工夫し、区別しやすくなるよう変更されていた。		

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

理 科

那須塩原市・那須町採択地区協議会



大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 計算を伴う学習内容に対して、求める式が「ここがポイント」で提示され、解き方が「例題」「練習」「確認」の順で丁寧に説明されている。	(1) 1年「物質の密度」「質量パーセント濃度」「オールの法則」の計算や、2年「湿度」「ムシの生活史」の計算や、3年「植物の生長」の計算など、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。
	(2) 生活、興味・関心に適応しているか。	(2) 教科書の全般的にわたって、資料性の高い写真や図表を用いて、興味を喚起している。	(2) 1年「しりゆ曲と断層」「ゆつと層のミナト」「地球の誕生」の図表や、2年「地層の断層」「生物の進化」の図表など、興味を喚起し、理解を深めるよう配慮されている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 基礎と基本の習得のために、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。	(3) 1年「物質の密度」「質量パーセント濃度」「オールの法則」の計算や、2年「湿度」「ムシの生活史」の計算や、3年「植物の生長」の計算など、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) 「レズン」や「サイコロ」などのゲームや、実験や観察など、主体的に学習できるような配慮されている。	(4) 3年「無セキツイ動物の徴」の学習で、生徒が主体的に学習できるように配慮されている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されている。	(5) 1年「物質の密度」「質量パーセント濃度」「オールの法則」の計算や、2年「湿度」「ムシの生活史」の計算や、3年「植物の生長」の計算など、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。
	(6) 学習を安全に行う上で配慮がされているか。	(6) 「安全の実験」など、学習を安全に行う上で配慮がされている。	(6) 「安全の実験」など、学習を安全に行う上で配慮がされている。
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	(1) 全体の構成、配列は適切か。	(1) 教材の観・実験に適切な時期に学習ができるように配慮されている。	(1) 1年「物質の密度」「質量パーセント濃度」「オールの法則」の計算や、2年「湿度」「ムシの生活史」の計算や、3年「植物の生長」の計算など、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。
	(2) 系統性について考慮されているか。	(2) 目次に「学習内容のつながり」、各章の導入に「これまでの学習事項」として、既習事項を振り返り、単元ごとに学習の見通しを図示している。	(2) 1年「物質の密度」「質量パーセント濃度」「オールの法則」の計算や、2年「湿度」「ムシの生活史」の計算や、3年「植物の生長」の計算など、単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 算数・数学科、技術・家庭科、英語科、総合的な学習の時間など、関連する学習内容と連携を図っている。	(3) 2年「消化管と消化」の学習で、生物と化学の関連性を図示している。
	(4) 地域の自然や季節の特性及び学校の実情に応じた配慮がされているか。	(4) 実験に使用する器具や材料は、地域や季節に応じて配慮がされている。	(4) 2年「無セキツイ動物の徴」の学習で、地域の自然や季節の特性を考慮している。
4 上 記 外 の 特 徴	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> </ul>
	(2) 平成28年度採択見本本かから変更のあった主な特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> <li>・「レポート作成のたのみのノート」の活用が、各単元ごとに「発展」として「発展」の学習を設けるよう配慮されている。</li> </ul>

令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種目	理 科
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
理科728 新版理科の世界1	理科828 新版理科の世界2	理科928 新版理科の世界3	大日本図書株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。			
	<p>① 目的意識をもって観察・実験などを行うこと</p> <p>② 科学的に探究する能力の基礎を育てること</p> <p>③ 自然の事物・事象についての理解を深めること</p> <p>④ 科学的な見方や考え方を養うこと</p>	<p>① 観察・実験のタイトルと目的、更に着目点が表示され、目的意識が高まるように工夫されている。また、キャラクターの吹き出しが、課題解決のヒントとなるよう配慮されている。</p> <p>② 生徒が自ら探究に取り組めるように、「各単元の終章」「課題研究・自由研究にチャレンジしよう」でその方法や結果例を具体的に紹介している。</p> <p>③ 学習課題ごとに「問い」で基礎・基本を確認し、「章末問題」で知識・理解の総まとめができるように工夫している。</p> <p>④ 各単元の最後の終章では、その単元で学んだことを活かして、課題を解決していくように工夫されている。学習した内容を総合的に活用することで、科学的な考え方が養えるように計画されている。</p>		<p>① 1年「物質のすがた」では、学習の課題やキャラクターの言葉から、目的意識をもって実験に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>② 3年「地球と宇宙」では、「太陽の位置から方角を知る」という課題を設定し、探究する学習活動ができるように工夫している。</p> <p>③ 2年「化学変化と原子・分子」では、「問い」で水を電気分解したときにできる物質について確認している。</p> <p>④ 2年「電流とその利用」では終章「学んだことを活かそう」において、既存の知識を活用し、家庭の配線にはどれだけの電流が流れていたかを考えさせる場面が設定されている。</p>
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	<p>(2) 「結果から分かること」の代わりに「話し合ってみよう」が示され、話し合い活動を促すように配慮されている。</p>		<p>(2) 3年「生命のつながり」では、親から子、孫への形質の伝わり方について、キャラクターの言葉をヒントに話し合う活動が取り上げられている。</p>





令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種目	理 科
1 年	2 年	3 年	発 行 者 名	
理科728 中学校科学1	理科828 中学校科学2	理科928 中学校科学3	学校図書株式会社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。			
	<p>① 目的意識をもって観察・実験などを行うこと</p> <p>② 科学的に探究する能力の基礎を育てること</p> <p>③ 自然の事物・事象についての理解を深めること</p> <p>④ 科学的な見方や考え方を養うこと</p>	<p>① 本文中の観察・実験の課題は、?マークで示し、目的をはっきり意識できるように工夫されている。また、「話し合ってみよう」で課題について予想をするなど、観察・実験を行う目的を明確にしている。</p> <p>② 「Let's try」では、条件を変えて観察・実験ができるようになっており、生徒が課題をさらに探究できるよう工夫されている。</p> <p>③ 単元の最初に「これまでに学んできたこと」を設定し、既習の知識を使って学習が進められるように工夫している。</p> <p>④ 「科学の窓」では写真やイラストを用いて、科学的な知識や概念が、日常生活の中で実感を伴った理解となるよう工夫されている。</p>		<p>① 3年「化学変化とイオン」では、実験の前に話し合う図が示されており、目的意識を持って観測に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>② 1年「身の回りの現象」では、音の出る現象について弦の張り方や強さを変えて探究できるよう工夫されている。</p> <p>③ 3年「仕事とエネルギー」では、電力量の求め方や誘導電流など既習の知識を振り返った上で学習に入るよう工夫されている。</p> <p>④ 2年「電流と磁界」では、家庭内で使われているモーターについて丁寧に紹介し、学習内容と生活について関連が図られている。</p>
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	<p>(2) 「話し合ってみよう」では、話し合う場面を図で示し、生徒が自らの考えを想起したり、活用したりしやすいよう工夫されている。</p>		<p>(2) 1年「天気とその変化」では、コップに水滴がつく場合とそうでない場合を図で示し、活発な話し合いができるよう工夫されている。</p>

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 実験器具の「基本操作」や「レポート・ノートのかき方」が丁寧に解説されている。	(1) 1年「物質の性質」では、ガスバーナーの使い方やレポートの書き方を、図を用いて分かりやすく解説している。
	(2) 生活、興味・関心に適応しているか。	(2) 生徒の学習への興味・関心を高めるため、「科学の窓」としてさまざまな話題が提供されている。「日常のつながり」マークも示されており、工夫されている。	(2) 1年の「植物のつくりとはたらき」では、光合成と食物との関係が紹介されている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 「これまでに学習してきたことをチェックしよう」、「単元末問題」、「活用しよう」などで、家庭でも自主的に学習が進められるよう工夫されている。	(3) 各学年の「単元末問題」で基礎・基本の確認、「活用しよう」で応用問題に取り組めるよう工夫されている。
	(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。	(4) 「Let's Try」、「発展」、「チャレンジ」では、生徒の興味関心に合わせて主体的に学習が進められている。	(4) 2年「天気とその変化」では、気象の継続観測が、「Let's Try」として取り上げられている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) グラフの線の区別は色だけでなく、線の種類の違いによっても工夫されている。	(5) 1年「身のまわりの物質」のグラフの種類による配慮されている。
	(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。	(6) 観察・実験において危険な操作を強調しないため「注意!!」マークが示されている。	(6) 3年「化学変化とイオン」などの実験では、一目で分かる理由が明確に記述されている。
3 組織・配列等について	(1) 全体の構成、配列は適切か。	(1) 学校の実態に応じて単元の学習順序を組み換えることを考慮して、各学年の前半に1分野、後半に2分野の単元が配列されている。	(1) 単元の配列を全学年共通で整えられている。
	(2) 系統性について考慮されているか。	(2) 各単元の始めに、小・中学校の既習事項を確認したり、単元の見通しを立てたりしやすいよう工夫されている。	(2) 本文の欄外の「思い出してみよう」で、既習事項との関連が簡潔に示されている。
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 理科の学習内容と具体的な職業との関連が記載されており、社会科との関連が図示されている。また、数学の学習時間と他教科との関係が図示されている。	(3) 2年「電流とそのつながり」では、「数学とのつながり」の欄で一次関数について解説がされている。
	(4) 地域の自然や季節の特性及び学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。	(4) 実験に使用する器具には、入手しやすいものが選ばれている。	(4) 1年「物質の状態変化」の融点の実験では、ガラス管で融点を測定する方法が紹介されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 巻末に「まとめの問題」があり、1年間の総復習ができるようになっていいる。</li> <li>・ 気象観測のような継続観察・観測がいくつか取り扱われている。</li> <li>・ 2年の巻末に「原子カード」が付録されている。</li> <li>・ 3年「天体観測ソフトを利用しよう」など、教科書の関連する箇所にコンピュータを利用できる場面が示されたり、巻末資料「タブレット端末の利用」が全学年に掲載されたりしている。</li> </ul>	
	(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3年「遺伝の規則性」で、人種や家庭環境に配慮し、導入の写真がヒトからペンギンに変更されている。(3年「生命のつながり」)</li> </ul>	





教科用図書の記号・番号・名称			種 目	理 科	発 行 者 名
1 年	2 年	3 年			株式会社 新興出版社啓林館
理科 7 3 2 未来へ広がるサイエンス 1 理科 7 3 3 未来へ広がるサイエンス 1 マイノート	理科 8 3 2 未来へ広がるサイエンス 1 理科 8 3 3 未来へ広がるサイエンス 1 マイノート	理科 9 3 2 未来へ広がるサイエンス 1 理科 9 3 3 未来へ広がるサイエンス 1 マイノート			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果			
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。				
	① 目的意識をもって観察・実験などを行うこと  ② 科学的に探究する能力の基礎を育てること  ③ 自然の事物・事象についての理解を深めること  ④ 科学的な見方や考え方を養うこと	<p>① 「探究の仕方」を提示し、実験の進め方が理解しやすいよう配慮している。また、観察・実験の「目的」を明示し、方法に段階を設けて取り組みやすいよう工夫されている。また、基本的な実験器具の操作を身につけられるよう、適所に「観察のスキル」、「実験のスキル」を取り上げている。</p> <p>② 観察・実験の方法を複数提示してあるものが多く、生徒の自主的な探究を促す配慮がされている。また、「考えてみよう」においても、生徒の活用する力を伸ばす題材を取り上げるなどの工夫がされている。</p> <p>③ 学習した科学的概念を深めるために、「先人の知恵袋」や「ぶれいくtime」が設定され、科学の楽しさや有用性が実感でき、知識が体系化されるよう工夫されている。</p> <p>④ 「活用してみよう」では、既習の内容を用いて発展的な課題に取り組むことができるよう配慮されている。各単元末に「ひろがる世界」が設けられており、日常生活に関連する内容や最新の科学技術について取り上げられている。</p>			
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	<p>① 1年「いろいろな物質とその性質」では、「探究の仕方p124」によって探究の進め方を理解し、「謎の物体X」を自ら考えた方法で正体を調べることで、実験の目的意識が高められるよう工夫されている。</p> <p>② 2年「電流の性質」では、「考えてみようp206」で既習事項をもとに、複合回路の電圧や電流を考察させ、活用する力が身につくよう工夫されている。</p> <p>③ 3年「自然界のつり合い」では菌類・細菌類について学習した後、「先人の知恵袋p214」の中で、伝統的な発酵食品が取り上げられている。</p> <p>④ 3年「酸・アルカリと塩」では、中和反応において、「考えてみよう」「予想してみよう」「ためしてみよう」「活用してみよう」「発展」と続けて配置し、科学的な思考が深まるよう工夫されている。p130・131</p>			
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	<p>(2) 話し合い活動を伴う「観察」や「話し合ってみよう」が適所に配置され、言語活動を行う機会が確保されるよう配慮している。また、巻末に記述欄の多い「マイノート」が付属されており、生徒が考えをまとめられるよう工夫されている。</p>			
	(2) 生活、興味・関心に適応しているか。	<p>(1) 巻末資料で「算数・数学との関連」が取り上げられ、計算の仕方や有効数字の考え方など、学年の発達の段階に応じて丁寧に説明されている。</p> <p>(2) 単元や章の始めでは、ダイナミックな写真やインパクトのある写真を掲載し、生徒の興味・関心が高められるよう工夫されている。</p> <p>(3) 別冊の「マイノート」によって、学習内容の確認や問題演習などの補充的な学習ができるよう工夫されている。</p>			
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	<p>(1) 1年「物質のすがたとその変化」の学習では、誤差を含んだ数値をグラフで示す方法について丁寧に説明している。 p164 また、巻末資料では計算式の意味や計算の仕方の理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 2年「動物のなかま」では、透明標本p40・41のように生徒の興味・関心が高まるような写真を取り上げている。</p> <p>(3) 「マイノート」の「サイエンスアプローチ」では科学的思考や言語活動を、「ステップアップ」では基本の確認から応用までを取り上げられている。 3年「ためしてみようp130」や「発展p131」では、高等学校での学習との関連を生徒に分かりやすく取り上げている。</p>			

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
	<p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(4) 自分たちで実験計画を立て、探求したり考察したりできるよう工夫されている。</p> <p>青色シートを使うことで、自ら進んで家庭学習に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(5) カラーユニバーサルデザインを用いて、教科書のデザインや配色が施されている。また、青色シートによって、色覚特性への対応がなされている。</p> <p>(6) 観察・実験を進める上で、必要な技能や器具の操作方法を記載するとともに、注意を喚起する文や安全のためのマークを内容に応じて設定し、視覚的に分かりやすく伝えるよう配慮されている。</p>	<p>(4) 1年「音による現象p.201」では、音の大きさや高さはどのように決まるのかを自分たちで予想し、それをもとに実験・考察ができるよう工夫されている。各学年で、青色シートを「学習のまとめ」、「用語の確認」で用いることで、学習内容の確認がしやすいよう工夫されている。</p> <p>(5) 各学年とも、単元の「学習のまとめ」では、カラーユニバーサルフィルターに合わせた配色が施されている。</p> <p>(6) 「観察のスキル」や「実験のスキル」によって、器具を正しく使用できるよう配慮している。また、各学年の「サイエンス資料」に、観察・実験の安全な進め方が詳しく示されている。</p>
3	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について考慮されているか。</p> <p>(3) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(4) 地域の自然や季節の特性及び学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 1分野の内容が「物質・エネルギー編」に、2分野の内容が「生命・地球編」にまとめられている。</p> <p>(2) 各章の始めや本文中、欄外に「ふり返り」が示され、文章や図解で既習事項が確認しやすいよう工夫されている。また、巻末の「きみも科学者」には、各学年の学習内容を広げるような記述がある。</p> <p>(3) 他教科や高等学校理科と関連する内容が示されている。巻末見開きに日常生活や社会との関連が、発達の段階に応じて記載されている。また、理科の学習内容と私たちの生活についての記述が多く取り上げられている。</p> <p>(4) 各学年の巻末に、地域・環境資料「サイエンストラベラー」が掲載され、日本の各地域の地形や環境、特色ある生物などについてまとめてあり、各地域の自然の特徴が理解できるよう配慮されている。</p>	<p>(1) 全学年とも、生命・地球・物質・エネルギーの順に単元が配列されている。</p> <p>(2) 2年「電流と磁界」では、「ふり返りp.222」で既習事項を学年毎に質問と答えの形式で書かれており、振り返りやすいよう配慮されている。</p> <p>(3) 3年「はたらく人に聞いてみようp.26」では、食の安全との関連が示されている。また、「日本の技」では、社会科や技術に関連する事例が取り上げられている。</p> <p>(4) 各学年の「サイエンストラベラー」では、日本を六つのブロックに分け、学習内容に関連する各地域の自然や科学技術について取り上げられている。</p>
4	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・図や表に工夫がある。 例) いろいろな小さな生物(同じ縮尺にした合成写真で大きさが明瞭)</p> <p>・継続観察・観測が、各内容に応じていくつか取り扱われている。 例) 硫酸銅が水に溶けていく様子の観察</p> <p>・科学の話題や興味深い活動を扱った「部活ラボ」、「科学偉人伝」、「先人の知恵袋」などがある。</p> <p>・「巻頭・巻末資料」、「サイエンス資料」、「器具の使い方」、「発展」などの詳細な目次がある。</p> <p>・単元や巻末資料ごとにインデックスがあり、章ごとのタイトルが併記されている。</p> <p>・観察・実験の場面において、今まで以上に安全面に配慮されている。具体的には、安全眼鏡の着用、要換気、やけどやけがの注意、強い光の注意などのマークが加えられている。</p>	

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

音 楽  
( 一 般 )

那須塩原市・那須町採択地区協議会







教科用図書の記号・番号・名称			種 目	音 楽 ( 一 般 )
1 年	2・3年 上	2・3年 下	発 行 者 名	
音楽727 中学生の音楽 1	中学827 中学生の音楽 2・3上	中学828 中学生の音楽 2・3下	株式会社 教育芸術社	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)	
	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して学習を行うこと	① 表現及び鑑賞教材がバランスよく取り入れられ、多様な音楽活動に取り組めるよう工夫されている	① 「音楽学習MAP」により、各領域の教材がどのように配置されているかが一目で分かるようになっているところが明確にされている。	
	② 音楽を愛好する心情を育てること	② 音楽活動の楽しさを実感し、生涯にわたっている。	② 1～3年ともに、「指揮をしてみよう」での指揮体験による音楽活動の楽しさを実感している。	
	③ 音楽に対する感性を豊かにすること	③ 音楽の良さや美しさを感知取り、よき豊かな表現活動につながるよう工夫されている。	③ 1～3年ともに、「心通う合唱」では、多くの合唱曲と表現のポイント等が掲載され、よき豊かな表現活動につながるよう工夫されている。	
④ 音楽活動の基礎的な能力を伸ばすこと	④ 題材による指導事項や学習目標が明確に示され、基礎的な知識・技能の習得を図るための工夫がなされている。	④ 1～3年ともに、学習目標が明確に示され、「こごが分かればGrade up!」「確認しよう」「発声」や、巻末にある「音楽の学習」が、基礎的な学習ができるよう工夫されている。		
⑤ 音楽文化についての理解を深めること	⑤ 我が国の音楽のよさや諸外国の音楽との違いや文化の歴史を深く理解できるように工夫されている。	⑤ 1～3年ともに、我が国、諸外国の伝統的な音楽のよさや諸外国の音楽との違いや文化の歴史を深く理解できるように工夫されている。		
(2) A表現、B鑑賞の各領域及び〔共通事項〕の内容や各事項の指導が相互に関連付けられているか。	(2) 歌唱や鑑賞の活動に結び付けながら、〔共通事項〕の学習を支援している。	(2) 1～3年ともに、「音楽学習MAP」では、題材ごとに〔共通事項〕との関連が明示されている。		
(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 自分自身の思いや考えを伝えることができるよう、思いや考えを伝えるための活動が設定されている。	(3) 1～3年ともに、「こごが分かればGradeup!」や「吹き出し」などのワークシートや「吹き出し」などのワークシートが、音に実感を伴って行われるよう工夫されている。		
(4) 学校や生徒の実態に応じた配慮がされているか。	(4) 様々な演奏形態を学校や生徒の実態に応じて選択できるように工夫されている。	(4) ① 「ふさ」と3年生以上で3部合唱や2・3年下では4部合唱や2年生以上で3部合唱や2年生以上で2部合唱や1年生以上で1部合唱など、学年や学校規模に応じて行われている。 ② 「Michael, Row The Boat Ashore」(1年)では、様々な活動が示されており、授業展開が可能なようになっている。		



令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

音 楽  
( 器楽合奏 )

那須塩原市・那須町採択地区協議会

		種 目	音 楽 (器 楽 合 奏)
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1・2・3年		教育出版株式会社	
器楽773 中学器楽音楽のおくりもの			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)
	① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して学習を行うこと	① 様々な楽器や楽曲が取り入れられ、多様な音楽活動に主体的に取り組めるよう工夫されている。	① 鑑賞教材「春」など、器楽表現と鑑賞の領域を横断した教材が「さくら変奏曲」では、器楽の創作分野を結び付けている。
	② 音楽を愛好する心情を育てること	② 音楽活動の楽しさを実感し、生涯にわたって音楽に親しめるよう工夫されている。	② 「Let's Try」は、様々なアンサンブル曲が掲載されている。
	③ 音楽に対する感性を豊かにすること	③ 音や音楽のよさや美しさを感じ取り、より豊かな表現活動につながるよう工夫されている。	③ 「Let's Try」「Let's Play」の楽曲には、表現の工夫のポイントが掲載されている。
	④ 音楽活動の基礎的な能力を伸ばすこと	④ 基礎的な知識・技能の習得や定着が図れるよう、運指や奏法の掲載の仕方が工夫されている。	④ リコーダーの学習では、運指図が生徒が容易に理解できるよう工夫されている。
	⑤ 音楽文化についての理解を深めること	⑤ 背景となる文化や歴史に触れることができるよう配慮されている。	⑤ 分かりやすい解説文や写真を使うなどの楽器に関する文化や歴史の理解を深められるよう工夫されている。
	(2) A表現、B鑑賞の各領域及び「共通事項」の内容や各事項の指導が相互に関連付けられているか。	(2) 「共通事項」と関連させながら、音楽活動が示されている。	(2) 「演奏のポイント」において、「共通事項」が示されている。
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 鑑賞曲では、自分の思いや考えを伝えることができるよう配慮されている。	(3) 「さくら変奏曲」では、曲紹介文を書いて伝える内容が掲載されている。
	(4) 学校や生徒の実態に応じる配慮がされているか。	(4) 合奏曲が豊富に掲載されており、様々な活動例を取り上げること、実態に応じて活動が選択できるよう配慮されている。	(4) 実態に応じて楽器を選択できるような楽器編成上の表記が工夫されている。

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p>	<p>(1) 発達の段階に応じて、楽曲を選択できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 生徒にとって親しみやすく、魅力ある教材が取り上げられ、興味・関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>(3) 既習曲をいろいろな楽器や演奏形態で表現できるよう配慮されている。</p> <p>(4) 学習内容や目標が示されており、生徒が主体的に学習している。</p> <p>(5) 写真が多く掲載されており、楽器の構えや奏法について分かりやすく示されている。</p>	<p>(1) 様々な難易度の曲が多数掲載され、発達の段階に応じて、適宜選択されている。</p> <p>(2) ジブリ映画音楽など、生徒が親しみやすい楽曲を取り上げられている。</p> <p>(3) 一般編で取り上げられている歌を鑑賞③④の教材をさしはなして、①の口絵と②の絵とを掲載している。</p> <p>(4) 演奏の注目のポイントや姿勢の紹介など、楽譜の読みかたや演奏のポイントを詳しく解説している。</p> <p>(5) 楽器の構造や演奏の仕方など、写真やイラストを用いて分かりやすく説明している。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) 学習内容が分かりやすく掲載されている。</p> <p>(2) 系統的に取り組めるよう、各学年の学習内容がバランスよく構成されている。</p> <p>(3) 学習した内容が、生活や他教科等の中で活用できるよう配慮されている。</p>	<p>(1) 目次では、楽器（リコーダー）の歴史や演奏の仕方など、生活や学習に役立つ情報が盛り込まれている。</p> <p>(2) 小中学校から高校まで、学年ごとの学習内容を考慮し、積み重ねられるようになっている。例えば、「独奏のアルタン」「右シンガー」「サミン」というように、楽器の演奏の仕方など、生活や学習に役立つ情報が盛り込まれている。</p> <p>(3) 「With My Heart」では、音楽のメッセーが、生徒の豊かな情操を養うよう工夫されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・「日本の楽器と音楽」では、和楽器の歴史が一目で分かるよう、年代ごとに分りやすく記述されている。「故郷」や「春」などの曲は、郷土の文化や歴史を伝えるのに役立つ。また、「荒城の月」や「吉田さくら」などの曲は、日本の文化や歴史を伝えるのに役立つ。</p> <p>・「一般編」では、楽器の構造や演奏の仕方など、写真やイラストを用いて分かりやすく説明している。</p> <p>・「生活」では、生活や学習に役立つ情報が盛り込まれている。</p> <p>・「他教科」では、他教科との関連性を強調している。</p> <p>・「採択見本本」では、平成28年度採択見本本から変更のあった主な点について、太鼓のかまえ方について、悪い例を削除し、良いかまえ方のみを示すように訂正した。</p>	

		種 目	音 楽 ( 器 楽 合 奏 )
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
1 ・ 2 ・ 3 年		株 式 会 社 教 育 芸 術 社	
器 楽 7 7 4 中 学 生 の 器 楽			
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の	各 学 年 の 特 記 事 項
1 内 容 に つ い て	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>① 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して学習を行うこと</p> <p>② 音楽を愛好する心情を育てること</p> <p>③ 音楽に対する感性を豊かにすること</p> <p>④ 音楽活動の基礎的な能力を伸ばすこと</p> <p>⑤ 音楽文化についての理解を深めること</p> <p>(2) A 表現、B 鑑賞の各領域及び〔共通事項〕の内容や各事項の指導が相互に関連付けられているか。</p> <p>(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(4) 学校や生徒の実態に応じる配慮がされているか。</p>	<p>(1)</p> <p>① 様々な楽器や楽曲が取り入れられ、多様な音楽活動が主体的に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>② 音楽活動の楽しさを実感し、生涯にわたって音楽に親しめるよう工夫されている。</p> <p>③ 音や音楽の良さ、美しさを感知取り、豊かに表現活動につなげるよう工夫されている。</p> <p>④ 簡易な楽曲が数多く取り入れられ、習得し易い楽曲を次の楽曲で活用できるよう工夫されている。</p> <p>⑤ 我が国や諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>(2) 〔共通事項〕と関連させながら、豊かな表現活動が行えるよう工夫されている。</p> <p>(3) アンサンブルや合奏が数多く取り入れられ、生徒が考え、表現活動が深められている。</p> <p>(4) 様々な形態の楽曲が数多く取り上げられ、学校や生徒の状況に応じて学習活動が選択できる。</p>	<p>(1)</p> <p>① 「打楽器を演奏しよう」や「アンサンブル」の様々な楽器の組み合わせが掲載されている。多様な音楽活動に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>② どのおのどの楽器の色を、どの曲も「楽器の音色を聞き取り、楽器の音の響きを味わう」ように工夫されている。</p> <p>③ 「アンサンブル」の楽曲には、表裏の工夫がポイントで表れている。</p> <p>④ 「練習のあとの、簡単な楽曲の練習から、基礎的な楽理の知識や技能の習得を促す工夫がされている。</p> <p>⑤ 「楽器の仕組みや歴史」に関する解説が、図や写真、動画などを用いてわかりやすく行われている。</p> <p>(2) 「音楽学習MAP」では、「共通事項」と関連付けて「学習の窓口」が示されている。</p> <p>(3) 「アンサンブルセミナー」では、感じ取りの大切さや、表現活動の楽しさを伝える工夫がされている。</p> <p>(4) 実態に応じて楽器の選択や編成の工夫がされている。</p>

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 容易なものから難易度の高いものまで、バランス良く取り入れられ、発達の段階に応じた楽曲が洗濯できるよう工夫されている。	(1) 各楽器において、容易な曲から学習が始まり、徐々に達成感が感じられる難易度の高い曲へと進められている。
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 生徒にとって親しみやすく、魅力ある教材が取り上げられ、興味・関心を持てるよう工夫されている。	(2) 既習曲や映画音楽など、興味・関心を高める楽曲が多数掲載されている。
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 既習曲を生かした補充曲・発展的な音楽活動ができるよう配慮されている。	(3) 「アンサンブルセミナー」では、既習曲をさらに豊かな工夫・表現に発展させるための工夫がされている。
	(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。	(4) 学習の内容が明記されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。	(4) リコーダーでは、「Q&A」や「おこ」を聴いて演奏するよう工夫されている。
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 写真やイラストが多数掲載されており、楽器の解説や奏法が分かりやすく示されている。	(5) 「打楽器を演奏しよう」では、奏法やリズムの解説が分かりやすく示されている。
3 組織・配列等について	(1) 全体の構成、配列は適切か。	(1) 学習が分かりやすく掲載されている。	(1) 「音楽学習MAP」では、各教科と学習指導要領の「内容」との関連が明確に示され、バランス良くよく学習が行われている。
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 系統的に取り組めるよう、各学年の学習内容がバランス良く構成されている。	(2) 「さくらさくら」では、箏の独奏から二重奏、三味線など、発達の段階に応じた演奏ができるよう工夫されている。 アルトリコーダーでは、「Lesson1[左手]」、「Lesson2[右手・サミング]」、「Lesson3[高い音、＃や♭の付く音]」と系統的に学習できるように配慮されている。へに、積み重ねるような工夫がされている。
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 学習した内容が、生活や他教科等の中で活用できるように配慮されている。	(3) 絵・メッセーでは、演奏家からのおり、生徒の豊かな徳性を養うよう工夫されている。
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・「名曲スケッチ」では、楽譜と作曲家の肖像画、曲の解説が掲載されており、興味・関心を持てるようレイアウトの工夫がされている。 ・口絵8では、我が国の伝統音楽にどのような楽器が使われているかが分かりやすく掲載されている。 ・「ここが分かればGrede up!」「My melody」「さくらさくら」「Yesterday」「勸進帳」など、一般編で取り上げられている教材と関連する教材が掲載されている。 ・クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など、様々なジャンルから合奏教材を選曲し、幅広い学習活動が行えるよう配慮されている。	
	(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。	・リコーダーの構造では、本体の名称を漢字表記のみに変更された。	



令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

美 術

那須塩原市・那須町採択地区協議会

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年	2・3年		開隆堂出版株式会社
美術726 美術1	美術826 美術2・3		
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	(1)
	① 表現及び鑑賞の幅広い活動	① 伝統的な作品に比べ、現代の表現方法も多岐にわたる。また、鑑賞の観点も多岐にわたる。	① 1年「原寸ギャラリー」「比べてみよう」 2・3年「原寸ギャラリー」「ゴッホと日本」「ゲルニカ」
	② 美術の創造活動、美術の楽しみ、美術の愛を大切にする	② 制作の過程や鑑賞の過程を重視し、制作の楽しさや鑑賞の楽しさを伝える。	② 1年「彫刻動物園」「動きのおもしろさ」 2・3年「版画の世界」「デザインで伝える」
	③ 感性を豊かにし、美を伸ばす	③ 身近な題材や身近な素材を用いて、表現の幅を広げ、感性を豊かにする。	③ 1年「心ひかれる風景」「わたしの「みち」」 2・3年「わたしの「みち」」
④ 美術文化についての理解を深める	④ 国内の美術史や海外の美術史について、理解を深める。	④ 1年「心ひかれる風景」「原寸ギャラリー」 2・3年「伝説の美学生活」「美術の歴史」「暮らしの芸術」	
⑤ 豊かな情操を養うための配慮	⑤ 制作の過程や鑑賞の過程を重視し、制作の楽しさや鑑賞の楽しさを伝える。	⑤ 1年「人の形のおもしろさ」「表現の広がり」 2・3年「わたしの「みち」」「絵巻物の世界」	
(2) A表現及びB鑑賞の各事項と関連付けられているか。	(2) 観察や想像を大切にし、表現の幅を広げ、感性を豊かにする。	(2) 観察や想像を大切にし、表現の幅を広げ、感性を豊かにする。	
(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 章の導入部や鑑賞時に、作品を見て感じたことや考えを、文章や言葉で表現できるように配慮されている。	(3) 全学年に、丸型の「問いかけ」として示されている。	
(4) 学校や地域の実態に応じた配慮がされているか。	(4) 学校や地域に関わる題材も設定されており、その環境に応じた表現の多様性を紹介する工夫がされている。	(4) 1年「心ひかれる風景」「生活を豊かに」 2・3年「わたしの「みち」」「環境と響き合う形」「環境をデザインする」	

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 1年には、自然や風景、人の形を観察する題材や、色の特性を学ぶ基礎的な題材などが紹介されている。2・3年では、多様な表現があることが紹介されており、より創造的な作品制作に結びつけられるよう工夫されている。また、国内外の文化遺産も幅広く紹介されており、学習指導要領の各学年目標に即している。	(1) 1年「彫刻動物園」 「昆虫図鑑」 2・3年 「折りの造形」 「環境をデザインする」
	(2) 興味・関心に適応し、補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(2) 身近なものを使用する制作や、漫画、誰でも知っているような有名な作品など、生徒の興味・関心を高められるよう配慮されている。	(3) 丸型の「問いかげ」と「ふりかえり」
	(3) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。	(3) 導入や制作後の振り返りとして、必要所にポイントとなる言葉が記されており、主体的かつ円滑な制作ができるよう配慮されている。	(5) 1年「道具箱」 2・3年 「わたしの「みち」」
	(4) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(4) できるだけ多くの生徒に見やすいよう配慮されたカラー印刷である。また、明暗対比がはっきりしており、見やすい仕上がりになっている。	
	(5) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。	(5) 安全や注意に関する内容には、特定のマークがついている。また、彫刻刀やカッターなどの刃物類を安全に扱えるよう写真で分かりやすく掲載されている。	
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	(1) 全体の構成・配列は適切か。	(1) 「絵や彫刻」「デザインや工芸」「鑑賞」がバランス良く扱われており、題材によっては、「鑑賞・導入」「制作」「鑑賞・振り返り」という効率のよい学習展開を意識した配列と構成になっている。	(1) 1年「心ひかれる風景」 2・3年 「わたしの「みち」」
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 学年目標に即しており、おいて、1年時の題材を2・3年時でさらに深める題材も用意されており、学年を通じた関連性も配慮されている。	(2) 1年「表現の広がり」 2・3年 「空想からの表現」 「形や色彩からのメッセージ」
	(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 普段の生活の中にも美術を織り交ぜられたり、歴史・社会・科学の発展にも美術が関係している。また、鑑賞を通じて、美術の歴史や文化の背景なども学べる。	(3) 1年「生活を豊かに」 2・3年 「モノトーンの美しさ」 「折りの造形」
	(4) 学校の施設・設備等の実情に応じる幅があるか。	(4) プレス機や真鍮機など、幅の広い制作環境が整っている。また、暗い空間から、明るい空間へと変えられるような工夫がされている。	
4 上 記 以 外 の 特 徴 点 に つ い て	(1) その他の特徴点は何か。	・教科書がバリアフリー法に基づき、弱視のための拡大教科書の発行も可。 ・左から右に見ていく形式であるが、題材（「絵巻物の世界」）によって右から左に見ていくものや、教科書を90度回転させて比較する教材があり、工夫された紙面構成がされている。 ・制作者の言葉が記載されており、作品に親しみをもちやすくする工夫がされている。	
	(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。	・文字配色の変化があった。 ・著作権を表す印と材料の追加があった。 ・いくつかの写真の画質に違いがあり、より本物の色に近くなっていた。	

		種 目	美 術
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 年	2・3 年		光村図書出版株式会社
美術727 美術1	美術827 美術2・3		
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)	各学年の特記事項
	<p>① 表現及び鑑賞の幅広い活動</p> <p>② 美術の創造活動の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育てるための配慮</p> <p>③ 感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばすための配慮</p> <p>④ 美術文化についての理解を深めるための配慮</p> <p>⑤ 豊かな情操を養うための配慮</p> <p>(2) A表現及びB鑑賞の各事項と〔共通事項〕が相互に関連付けられているか。</p> <p>(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(4) 学校や地域の実態に応じる配慮がされているか。</p>	<p>① 時代は縄文時代から現代まで、地域はアジアのみならず、世界各国に広がり、幅広い時間と地域の中で参考作品を取り上げ鑑賞したり、表現方法を取り入れて制作に生かしてみたりと、生徒の創造力を広げる工夫がされている。</p> <p>②生活に関連する制作や、日本文化を取り扱った題材が豊富であるため、美術を身近に感じられる。また、一つの題材の中で多様な表現方法や材料が紹介されており、造形活動への関心がより深まるよう配慮が見られる。</p> <p>③見開きページを活用して、原寸大で作品を見せたり、歴史的価値の高いものから、現在活躍されている現代作家の作品まで幅広く扱うことで、より感性が刺激される。また、「学習を支える資料」では技能に関するアドバイスや、技法の紹介がされており、基礎的能力を伸ばすための配慮がされている。</p> <p>④西洋だけでなく、アジア、特に日本の作品が充実しており、自国の文化のよさを見直しながら、他国の文化や表現の違いなどと比較できるようレイアウトが工夫されている。</p> <p>⑤作家の言葉やスケッチを多く紹介したり、美術と人や社会とのつながりを意識した題材を取り扱ったりする工夫がされている。</p> <p>(2) 各題材の目標の下に「Q」のマークで、形、色、光、材料のことや、それらがもたらすイメージについて考えるための問いかけがされており、表現及び鑑賞の内容を問わず、常に意識できるよう配慮がされている。</p> <p>(3) 吹き出しの形の中に、見方を投げかけてくるコメントが書かれていたり、鑑賞の後、話し合うテーマが四角枠で囲まれて掲載されており、言語活動の場面が設定されている。</p> <p>(4) 作品の解説文が添えられていたり、生徒のワークシートの様子が掲載されていたり、制作の手順が写真と文章で説明されていたりと、美術専門の教師が配置されていない学校でも、授業がしやすい工夫がされている。また、参考資料として掲載されている美術館や寺社、地域の祭りやアートスペースなど、日本国内幅広く取り上げられ、その地名が明記されていることから、地域を生かした学習の手立てとなる。</p>	<p>②1年「自然とともにある日本の美」 1年「文様、飾りの小宇宙」 1年「木のぬくもりと暮らす」 2・3年「みんなのためのデザイン」 2・3年「季節感のある暮らしを楽しむ」</p> <p>③1年〔特別展示室〕 「風神雷神、自然と人と」 2・3年〔特別展示室〕 「ゲルニカ、明日への願い」</p> <p>④1年「北と南の風土から」 2・3年「アジアをつなぐ仮面の舞」</p> <p>⑤1年「彫刻家三沢厚彦」 2・3年「コスチュームアーティスト ひびのこづえ」 「みんなのためのデザイン」</p> <p>(2) 全学年全題材の目標下部</p> <p>(3) 全学年鑑賞題材</p> <p>(4) 1年「体験しよう美術館」 2・3年「暮らしやすい町づくり」</p>

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応し、補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(4) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(5) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 1年生では、特に絵画分野においては、道具の使い方や表現技法など、基礎内容についての題材や資料が取り扱われている。また、生徒の関心を高めるような、遊び心が感じられる楽しい題材が扱われている。2・3年生では、制作テーマが自己の内面にせまるものや、社会と美術の関連、わが国の伝統芸術が取り扱われており、より視野が広がるような題材を構成する配慮がされている。</p> <p>(2) 洗練された作家の作品から、身近な生徒作品まで幅広く作品を紹介されていたり、作家の制作風景や、作者の言葉が掲載されており、興味を引く工夫がされている。また、巻末資料で基礎的事項を確認したり、より発展的な技法を習得したりできるよう工夫されている。</p> <p>(3) 各題材の目標のほかに、生徒たちが考えるための問いかけの一文が載せてあり、作品を鑑賞する手がかりになる。また、制作手順に沿って写真つきで作業のポイントが下部に掲載されており、注意点の理解や先を見通した主体的な取り組みの配慮がされている。</p> <p>(4) 白い背景に、程よい面積で写真が掲載されており、色が鮮明で見やすく、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。</p> <p>(5) 作品を作る際の安全についての注意事項を示すマークが指定されており、作業に必要な安全面に配慮した技法についてのアドバイスだけでなく、道具の危険性や著作権問題など、実生活に役立つアドバイスまで丁寧に説明してある。</p>	<p>(2) 全学年「うつくしい！」 「学習を支える資料」</p> <p>(3) 1年「写してあらかず版画の魅力」 2・3年「浮世絵から学ぶ江戸の職人技」</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成・配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(4) 学校の施設・設備等の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」の三つに分類され、1年も2・3年も同じ配列で構成されており使いやすい。</p> <p>(2) 1年生では、対象を観察したり自分の思いを形にしたり、自分を主とした表現を習得し、2・3年生でわが国の伝統や、環境、社会との関わりなど、他者も視野に入れた表現を習得するように、発展させて構成されている。</p> <p>(3) ページの数字近くに、道徳との関連をねらい、作品作りや鑑賞を通して、道徳的思考を深めるためのアドバイスがコメントされている。</p> <p>(4) 一つの題材の中で、学校の施設や設備の実情に応じて制作ができるように、使用する材料や手段（コンピューターや手製など）の違う作品や制作風景を紹介し、授業者が検討できるよう配慮されている。</p>	
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の活用のために、下のページの数字付近に、関連ページが紹介されており、使いやすさが考えられている。</li> <li>・見開きのページをふんだんに使い、作品を大きく見せたり、横長の画面を有効に使って内容載せている。また、写真はページいっぱい印刷されており、色も鮮明で大変美しく、迫力も感じられる。</li> <li>・メジャーを横に示して、原寸を意識した作品の掲載が見られる。</li> <li>・掲載されている作品の写真の画質に違いがあり、色彩が鮮やかになっていた。</li> <li>・作品の制作年代や、作者名、作品名、サイズ、材料などの変更があった。</li> <li>・一部、作品名や作者名などの文字が太字に調整されていた。</li> <li>・説明の文章がより詳しく丁寧になっていた。（例 P.63 型紙を作る→刃物で切り抜き型紙を作る）</li> <li>・ルビが追加されているものがあった。</li> <li>・新しく世界遺産登録された情報が追加されていた。（例 平泉中尊寺など）</li> </ul>	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	美 術
1 年			2・3 年 上	2・3 年 下
美術 7 2 8 美術 1 出会いと広がり			美術 8 2 8 美術 2・3 上 学びの深まり	
美術 8 2 9 美術 2・3 下 美の探求			美術 8 2 9 美術 2・3 下 美の探求	
発 行 者 名 日本文教出版株式会社				
大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。			
	① 表現及び鑑賞の幅広い活動	① 中学校3年間を通り、社会環境など、視野が広がっている。		① 2・3下 「デザインで変える現在と未来」
	② 美術の創造活動の喜びを味わうための配慮	② 身近な素材、石、木、紙、土、幅広くも、愛する心を育むための配慮。		② 1年「身近な面を立体で表そう」2・3年上「表現の可能性を求めて」
	③ 感性を豊かにし、美術すための配慮	③ 一品ずつの提示、確認、活用、創作の機会を確保する。		③ 1年「身近な物を立体で表そう」素材の違い、「技法の資料」、違い「心に残ったできごと」技法の違い「2・3年上「心でとらえたイメージ」、2・3下「私との対話」
	④ 美術文化についての理解を深めるための配慮	④ 古くから、様々な文化の発展に貢献している。		④ 2・3年下 「受けつぎつくる人の姿」
⑤ 豊かな情操を養うための配慮	⑤ 個性豊かな環境で、様々な表現の機会を創出する。		⑤ 2・3年上「表現の可能性を求めて」「新鮮な視点でとらえよう」	
(2) A表現及び鑑賞の各事項と共通し、相互に関連しているか。	(2) 生徒が題材を自由に扱えるよう配慮する。			
(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) 作品の展示・発表の機会を設け、表現の意図を伝える活動を行う。			
(4) 学校や地域の実態に応じる配慮がされているか。	(4) 学校や地域の状況に応じた活動を展開する。			

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応し、補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(3) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(4) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(5) 学習を安全に行う上で配慮されているか。</p>	<p>(1) 成長段階と各題材が適合するように3冊に分けてつくられている。</p> <p>(2) 多種多様な作品を掲載し、意欲が喚起され高められるように、題材の構造化が図られ工夫されている。</p> <p>(3) 自分で考えて学習できるように、学習の手立てが丁寧にpointとしてののっている取り組みやすく配慮されている。</p> <p>(4) 文字や罫線の色、文字の大きさなど識別しやすいように配慮されている。</p> <p>(5) 用具の扱いなどの安全面での注意に関するマークがあり、注意を促すように工夫されている。</p>	<p>(1) 1年「出会いと深まり」、2・3年上「学びの深まり」、2・3年下「美の追究」としている。</p> <p>(2) 2・3年上「私との対話」 2・3年上「瞬間の美しさ形に」</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成・配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(4) 学校の施設・設備等の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 「絵や彫刻」「デザインや工芸」「資料」の分野に分け、表現活動を主とした内容、鑑賞を主とした内容に整理され、学年が上がるごとに体系的に学べるように配慮されている。</p> <p>(2) 図工から美術へ自然な流れがあり、各学年に高くなるごとに、少しずつ技術面が高度になっており、発達段階に応じた指導ができる配慮されている。</p> <p>(3) 社会の問題意識、美術と社会の関連されたものが掲載され、特別活動との関連も図りやすい工夫がされている。</p> <p>(4) さまざまな空間を生かした活動の様子、幅広い作品が掲載できるように工夫されている。</p>	<p>(1) 1年「身近なものを立体で表そう」 2・3年上「しぐさで語る動物たち」 2・3年下「私との対話」</p> <p>(3) 2・3年下「問題意識を形に」</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共同制作の場面があり。学び合う楽しさや大切さについて考えられるように配慮されている。</li> <li>・裏表紙に自分のマークが入れられるようになっている。</li> <li>・実物大の鑑賞作品が掲載され、興味を引くように工夫されている。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の制作年代や、作者名、サイズ、作品名、材料の変更が数点あった。</li> <li>・「美術1」のP36の写真に差し替えがあった。</li> <li>・幾つかの写真の画質に違いがあり、より鮮明になっている印象を受けた。</li> <li>・「美術1」のP59に焼き物の用具名の訂正が1カ所あった。</li> <li>・「美術2・3上」P47制作行程の変更があった。</li> <li>・「美術2・3下」P48において、日本の世界文化遺産の追加が3カ所あった。</li> <li>・一部文章のレイアウトの変更があった。</li> </ul>	

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

保健体育

那須塩原市・那須町採択地区協議会



		種 目	保 健 体 育
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
1 ・ 2 ・ 3 年		東京書籍株式会社	
保体 7 2 5 新編新しい保健体育			
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) ・ 各内 容 及 び 範 囲 は、 中 学 校 学 習 指 導 要 領 体 育 分 野 ・ 保 健 分 野 の 内 容 に 適 合 し て お 載 し 各 年 級 用 材 の 編 集 的 な 取 扱 い 等 について、	
	① 心身の機能の発達と心の健康	① 「心身の機能の発達と心の健康」に関する内容を、	
	② 健康と環境	② 「健康と環境」に関する内容を、	
	③ 傷害の防止	③ 「傷害の防止」に関する内容を、	
	④ 健康な生活と疾病の予防	④ 「健康な生活と疾病の予防」に関する内容を、	
(2) 現代の進歩に応じているか。	(2) ・ 心身の健康を維持するために、		
(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) ・ 各項目について、		



		種 目	保 健 体 育
教 科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称		発 行 者 名	
1 ・ 2 ・ 3 年		大日本図書株式会社	
保体 7 2 6 新版 中学校保健体育			
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) ・ 各内容及び範囲は、中学校学習指導要領体育分野・保健分野の内容に適合している。 ・ 体育理論の領域では、「運動やスポーツの多様性」、「運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全」、「文化としてのスポーツの意義」が取り扱われている。カラー写真やイラストが多く掲載され、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	
	① 心身の機能の発達と心の健康	① ・ 思春期の成熟に伴う心身の変化と個人差を理解し、適切な行動がとれるように、生徒を対象にしたアンケートを掲載するなど、問題をより身近に感じる、ことができるよう工夫されている。 ・ 欲求やストレスへの対処では、ストレスを感じることは自然なことであり、精神的に成長するためにも必要であることが示されている。そのストレスに対しての適切な対処法が掲載されており、心と体の調和を保つことにつなげている。	
	② 健康と環境	② ・ 環境への適応能力では、特に熱中症について、発生しやすい時期や予防法が取り上げられていて、発展のページでは、熱中症の対応と予防について、イラストを交えながら分かりやすく説明されている。 ・ 「生活にともなう廃棄物の処理」において、3Rの取組が示されている。個人の取組が自然環境の汚染を防ぐことにつながることを理解し、生活に取り入れられるよう工夫されている。	
	③ 傷害の防止	③ ・ 「自然災害による傷害の防止」について、地震が発生したときの行動や非常持出用品について、日頃から備えておくことの必要性が理解できるよう工夫されている。 ・ 「応急手当の基本」について、応急手当の手順がイラストや写真で示されており、生徒が理解しやすいよう工夫されている。	
	④ 健康な生活と疾病の予防	④ ・ 「食生活と健康」について、栄養素の不足・取りすぎによる障害の例が具体的に示されており、バランスの良い食事をとることの大切さが理解できるよう工夫されている。 ・ 医薬品に関する内容では、医薬品を正しく使用するよう「市販薬の取扱説明書」や「いろいろな薬と薬のゆくえ」の資料によって、具体的に説明されており、理解しやすい。	
	(2) 現代の進歩に応じているか。	(2) ・ 性感染症の予防では、「感染者の低年齢化」を身近な問題としてとらえ、性的接触の連鎖や症状、予防法について図やイラストを交えながら分かりやすく記載されている。 ・ 薬物乱用と健康では、覚醒剤や麻薬の他、最近問題になっている「脱法ドラッグ」について取り上げられている。	
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) ・ 各項目に「今日の学習課題」が示されており、グループの話し合いが行いやすいよう工夫されている。 ・ 「考えよう」では、生徒がじっくりと考え、話し合いながら学習に取り組めるよう配慮されている。 ・ 「学習を生かして」では、学習を深めるための話し合いが行いやすいよう工夫されている。 ・ 心肺蘇生法や止血法・包帯法などの実習が効率的に行えるよう、十分な説明と留意事項について記載されている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・「今日の学習」では、中学生の発達の段階に応じた問いかけがされている。 ・中学生の発達の段階に適したイラストや写真が使用されている。本文の文字も見やすく、学習しやすいよう配慮されている。</p> <p>(2) ・図やグラフ、カラーのイラストが充実しており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・各項目の「トピックス」や賞末資料の「トピックス+」には、学習に関連が深い話題や読み物が掲載され、生徒が身近に感じ、興味・関心を持てるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・単元末の「学習のまとめ」では、「重要な言葉」がすぐ分かるようになっており、「学習の要点」では学習した内容の確認ができるよう工夫されている。 ・各項目の最後の「学習を生かして」では、学習したことを整理したり、自分の生活に生かしたりするための活動が示され、実践力の育成が図られるよう工夫されている。</p> <p>(4) ・「考えよう」では、生徒が短時間でチェックしたり考えたりすることにより、課題をより身近なものとしてとらえ、主体的な課題解決学習が行えるよう工夫されている。</p> <p>(5) ・カラーが多く、グラフも色分けされているなど、全体的に見やすい紙面構成となっている。インデックスも色分けされており分かりやすい。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・全体の構成は適切であり、体育理論から始まり、その後に保健分野の順で構成されている。</p> <p>(2) ・「考えよう」では、小学校で学習したことや、日々の生活で学んだことを確認しながら本時の学習を進めたりできるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・世界エイズデーやレッドリボンについての説明があり、差別・偏見の解消の内容に触れるなど、人権との関連が図られている。 ・「リンク」の項目や「トピックス」の欄が設けられており、多領域との関連が分かりやすいよう示されている。 ・「食生活と健康」では、技術・家庭科の各分野で学習する食事バランスと関連させ、分かりやすく記載されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か</p>	<p>(1) ・各内容の最初に「今日の学習課題」が文章と図で示され、課題が明確になるよう工夫されている。 ・学習内容をより深く理解するため、各ページ下に「ミニ知識」が示されている。 ・教科書の紙面を大きく取り、資料が豊富に掲載されている。 ・小口にインデックスが付けられ、学習するページがすぐに開けるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・大きな変更点は確認できなかったが、統計資料の記載（グラフ、地図等の図版、本文中の数値等）については新しいものに更新があった。 ・101頁「応急手当の基本」では大きな変更点はないが、「呼吸をみる」が「呼吸を観察する」に表記が変わるなどの変更があった。 ・102頁も101頁同様「呼吸を観察する」、「10秒以上かけない」「1分間で100～120回のテンポで～」などの変更があった。</p>

		種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1・2・3年		株式会社 大修館書店	
保体727 保健体育			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) ・各内容及び範囲は、中学校学習指導要領体育分野・保健分野の内容に適合している。 ・体育理論の領域では、「運動やスポーツの魅力と学び方」、「運動やスポーツの効果と安全」、「文化としてのスポーツ」が取り扱われている。イラストやカラー写真、グラフが多く掲載され、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。	
	① 心身の機能の発達と心の健康	① ・生殖にかかわる働きや成熟において、健康相談コーナーが設けられている。Q&A形式で、思春期特有の悩みが取り上げられている。性に関する悩みをもっている生徒にとって安心感を与え、大人へ相談するきっかけ作りにもなる。 ・ストレス対処と心の健康では、「心も“かぜ”をひく」が設けられている。相談できる機関名や連絡先が掲載されており、生徒の悩み解決につながるよう配慮されている。	
	② 健康と環境	② ・環境の変化への体の適応について、熱中症の応急手当に関する資料が掲載されている。また、予防法についても取り上げられており、適切な対処について理解しやすいよう配慮されている。 ・私たちの生活と環境問題について、3Rの取組が紹介されている。循環型社会を目指す必要性が説かれており、個人で実践できるよう工夫されている。	
	③ 傷害の防止	③ ・災害時に自分の身を守る方法について、資料や写真が効果的に取り上げられている。特に、東日本大震災での中学生による率先避難の事例は、同じ中学生として関心を高める効果がある。また、「学びを広げよう」では、心が揺さぶられる資料が掲載されており、道徳的な観点からも災害に対する備えの必要性を理解することができる。 ・心肺蘇生法の「チャレンジ」では、グループによる学び合いがしやすいよう配慮されている。 ・犯罪被害の防止では、増え続けるネットワーク利用犯罪に触れ、生徒に危機管理の必要性を理解できるよう配慮されている。	
	④ 健康な生活と疾病の予防	④ ・食物アレルギー（エビペン）の知識・がんに関する中学生段階での知識理解・危険ドラッグに関する正しい知識の徹底・医薬品の正しい使用方法に触れ、現代の課題・内容が学習できるよう工夫されている。 ・食事と健康について、食品のエネルギー量が写真つきで分かりやすく掲載されており、具体的なイメージがもちやすいよう工夫されている。	
	(2) 現代の進歩に応じているか。	(2) ・中学生に身近な話題、今日的话题・問題が多く取り上げられており、生徒の興味・関心が高まるよう工夫されている。 ・体力の向上が重視されている。体力要素が色分けして説明されており、分かりやすい工夫がされている。また、新体力テストの結果から、運動計画の立案につながる記入式の課題が設けられており、体力向上も意識が高まるよう工夫されている。 ・性感染症の予防では、若者の間で増えている感染症を取り上げ、感染が広がっている理由や感染が繰り返される理由についてイラストを交えながら丁寧に説明されている。	
	(3) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(3) ・課題学習やディスカッションなどの学習方法の工夫が紹介されており、言語活動が十分行えるよう配慮されている。 ・Tryやチャレンジのページが設けられており、グループや学級全体で話し合い活動を行い、考えを広めたり深めたりすることができるよう工夫されている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・各項目の最初に発達の段階に応じた問いかけや学習内容のイメージ図が示されており、学習の見通しをもちやすいよう配慮されている。</p> <p>(2) ・資料や写真・イラストが多く設けられており、興味・関心を高める効果がある。 ・「コラム」には、興味・関心をひく内容が掲載されている。</p> <p>(3) ・チャレンジが設けられており、生活に結びつけることができるよう配慮されている。</p> <p>(4) ・各項目のQuestionに興味・関心をひく問いかけがあり、学習の見通しをもつことで生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。</p> <p>(5) ・本文部分に薄黄色の地色を敷いており、見やすい紙面構成となっている。 ・折れ線グラフのラインや棒グラフの棒が色分けされている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・全体の構成は適切である。学習指導要領の趣旨をふまえ、体育理論から始まり、その後に保健分野の順で構成されている。</p> <p>(2) ・学校種間の系統性を踏まえ、小学校の学習内容との関連が図られている。</p> <p>(3) ・「食事と健康」では、技術・家庭科の家庭分野で学習する食事の栄養バランスと関連させた内容で構成されている。 ・各章の「学習のまとめ」では、学習した内容が今後の生活に生かされるよう工夫されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更点のあった主な点は何か。</p>	<p>(1) ・ページの下部に、学習テーマに関連したインターネットのページが紹介されており、学習をより一層深めることができるよう工夫されている。</p> <p>(2) ・口絵には、「2020年オリンピック・パラリンピックが日本にやってくる」が掲載されている。有名なアスリートの写真が生徒の興味・関心を高める要素となっている。</p> <p>(2) ・口絵1左上日本代表選手の写真が「ロンドンオリンピック」出場選手から「リオデジャネイロオリンピック」に変更された。 ・71頁【熱中症の応急手当】が、症状から重傷度とそれに応じた応急手当を判断するよう促す表記から熱中症診療ガイドライン2015に基づき、諸症状や病態を一連スペクトラムとしてとらえること、症状程度の過小評価を防ぐことを念頭に、最適な応急手当ができるように導く表記に変更された。 ・105頁チャート部分の【倒れている人の発見から心肺蘇生法までの流れ】「気道を確保して」が「ようすを見ながら」、「やむを得ず倒れている人から離れるときには、左図のように」が「のどの奥の空気の通り道がせまくなったり、吐いたものでつまったりしないよう」に変更された。また、「呼吸がない場合は、」に、さらに「呼吸がない、わからない場合は」が追記された。 ・107頁胸骨圧迫の回数が「1分間に100回」から「1分間に100～120回」に変更された。 ・137頁「大きな被害がでているのです。」のあとに、「危険ドラッグ」についての内容が追記された。</p>

		種 目	保 健 体 育
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1・2・3年		株式会社学研教育みらい	
保体728新・中学保健体育			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) ・各内容及び範囲は、中学校学習指導要領体育分野、保健分野の内容に適合している。 ・体育理論の領域では、「スポーツの多様性」「スポーツの効果と安全」「文化としてのスポーツ」が取り扱われており、スポーツの必要性や意義、効果等についてわかりやすく解説している。	
	① 心身の機能の発達と心の健康	① ・思春期の成熟に伴う心身の変化に対応し、図や写真を使ってわかりやすく対処の解説やインタビューなど、対処の求むる意図が適切に示されている。	
	② 健康と環境	② ・「水の利用と環境」の役割について、イラストや写真を用いて、水資源の重要性や環境問題の解決策について、イラストや写真を用いて説明している。	
	③ 傷害の防止	③ ・自然災害発生時の行動について、写真やイラストを用いて、災害発生時の対応方法や避難経路の確保について、イラストや写真を用いて説明している。	
	④ 健康な生活と疾病の予防	④ ・「食生活と健康」の項目について、イラストや写真を用いて、食生活の改善や疾病の予防について、イラストや写真を用いて説明している。	
	(2) 現代の進歩に応じているか。	(2) ・「心身の健康と安全」の項目について、イラストや写真を用いて、現代の進歩に伴う心身の健康と安全について、イラストや写真を用いて説明している。	
	(3) 言語活動が十分行われているか	(3) ・各項目について、イラストや写真を用いて、言語活動の重要性や効果について、イラストや写真を用いて説明している。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・イラストが多く取り入れられ、中学生の興味・関心を引く内容になっている。また問いかけも適切であり、わかりやすい表現が多い。</p> <p>(2) ・教科書冒頭では保健に関する施設の紹介や図書の紹介があり、中学生の興味を引く内容になっている。また食事について写真やイラスト入りでわかりやすく説明されており、保健体育の授業に入りやすい工夫がされている。 ・全般に渡って「資料」が多く掲載され、理解を深めるための工夫が随所に見られる。 ・「コラム」が多く取り入れられ、中学生の興味を引く内容の話がたくさん掲載されている。</p> <p>(3) ・各単元の「活用しよう」では、思考を促す記述が多く取り入れられ、理解を深める工夫がされている。 ・各単元の最後に「章のまとめ」が設けられ、学習の振り返りができるよう工夫されている。</p> <p>(4) ・各ページに「ウォームアップ」、「エクササイズ」、「活用しよう」等、1時間の授業で考えたり、振り返ったり、調べたりできるように工夫されている。 ・最後に「探究しようよ！」が設けられ、参考になる課題や課題解決の方法が示されており、主体的に取り組みやすいよう工夫されている。また、自己評価できるように構成されている。</p> <p>(5) ・グラフや表の線の種類や色が視覚的にとらえやすいよう工夫されている。 ・イラストが多く取り入れられており、中学生にわかりやすい内容になっている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 全体の構成、配列は適切か。</p> <p>(2) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(3) 生活、他教科等との関連について配慮されているか。</p>	<p>(1) ・全体の構成配列は適切であり、保健編と体育編に分けて構成されている。 ・各単元の構成は、2ページで1単位時間が終了するよう構成されている。</p> <p>(2) ・各章の始めに「小学校で学習したこと」、「高校で学習すること」が紹介されており、見通しをもって学習できるように工夫されている。 ・「ウォームアップ」で小学校で学習した内容を振り返ることができ、これから学習する内容との関連がスムーズに想起できるよう工夫されている。</p> <p>(3) ・「活用しよう」「エクササイズ」など実生活に即した問いかけや活動が取り入れられている。 ・「関連」として他教科のどの分野との関連があるか示されている。 ・口絵4の「中学校生活と食事」では部活動の試合や試験前の食事について、写真や挿絵を取り入れて解説されており、生徒たちが実生活を振り返りながら有効に活用できるよう工夫されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>(1) ・口絵にある様々な資料や写真がわかりやすく、生徒の興味関心を高める上で非常に有効である。 ・各項目の「学習の目標」において、本時の学習課題を明確に示すよう工夫されている。 ・「キーワード」として単元の重要用語について取り上げられている。 ・各章の最後に「探求しようよ!」「章のまとめ」が取り入れられており、その章の学習を振り返り、深める工夫がなされている。特に「探求しようよ!」ではコミュニケーション、放射線と健康、インターネットと健康など現代に即した話題を多く取り入れ、これからの生きていく上で必要な知識や思考を身に付けやすい内容となっている。 ・各章の冒頭に偉人の言葉が掲載されており、学習を進める上での意識付けとなっている。</p> <p>(2) ・口絵2下段左の囲み内の「現在はバンコク」から「現在はカンボジア」に変更された。 ・統計資料の記載(グラフ、本文中の数値)については、適宜更新された。 ・38頁資料②気温「夏25～28℃ 冬18～20℃」は、「17～28℃」に変更された。 ・74～76頁「救急蘇生法の指針2010」から「救急蘇生法の指針2015」の出典として更新された。 ・52, 151, 159頁「日本体育協会」を「日本スポーツ協会」に変更された。 ・178頁中段写真「メインスタジアムとなる予定の新国立競技場のイメージ図」から「国立代々木競技場第一体育館」に変更された。</p>



令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

技術・家庭  
( 技術分野 )

那須塩原市・那須町採択地区協議会



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行うための配慮がされているか。</p>	<p>(1) 発達の段階を踏まえ、生徒の生活状況や興味・関心などを踏まえ、学習の進度や内容の難易度を調整している。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p> <p>(2) 「生活に活用できるような工夫」を重視し、生徒の興味・関心に応じた学習内容や教材を選んでいる。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p> <p>(3) ほとんどのペーパーに「ひ」と「ち」の区別がつけられている。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p> <p>(4) 目次が分かりやすく、学習のペースや内容を調整している。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されている。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p> <p>(6) 学習を安全に行うための配慮がされている。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 「リンク」、「小学校」マークを使用し、他の内容の題材名やページ番号を示すことで、学習の順序や内容を明確にし、学習の効率を向上させている。</p> <p>(2) 各内容が始めから最後まで一貫して記述されている。また、他教科等との関連性を明確にし、学習の効率を向上させている。</p> <p>(3) 様々な実習例を取り上げ、学校の施設・設備の実情に応じた対応がとれている。また、生徒の学習進度や理解度に応じて、学習のペースや内容を調整している。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・ A B 版を用いて、イラストや写真が見やすく分かりやすくなるよう工夫されている。</p> <p>・ 「技術分野の学習を将来に生かそう」(p.256)では、様々な職場で働く人の思いや工夫の事例が紹介されており、生徒に夢や希望を抱かせることができる。</p> <p>・ 巻末の「防災の手帳」は、切り取って使用することができ、災害への備え、防災への取り組みのヒントとなる。</p> <p>・ 「技術の匠」という欄が設けられており、社会で活躍している技術者の話が紹介されている。</p> <p>・ 実習の生徒の流れが、P.100の「技術の匠」という欄で詳しく説明されている。</p> <p>(2) 発電にかかるとコストが直近のデータに変更された。また、横軸が年を単位として表示されている。</p>

令和 2 年度 使用 中学校 用 教科 用 図書 調査 研究 資料

		種 目	技術・家庭（技術分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1 ・ 2 ・ 3 年		教育図書株式会社	
技術 7 2 5 新技術・家庭 技術分野			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	<p>(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。</p> <p>A 材料と加工に関する技術</p> <p>B エネルギー変換に関する技術</p> <p>C 生物育成に関する技術</p> <p>D 情報に関する技術</p> <p>(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。</p> <p>(3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。</p> <p>(4) 現代社会における諸課題について配慮されているか。</p>	<p>(1) 適合している。作業が分かりやすく、図解や写真を多く使っている。領域の内容や目標が章の見出しの下に記載されている。</p> <p>A 写真やイラストを使い、作業の手順が細かく分けて示しており、生徒の知識・理解に役立てられるよう工夫されている。製作品の例が 8 種類提示されている。</p> <p>B 身近な自転車を取り上げ、導入に使おうとしている。写真やイラストを使い身近な電気製品の仕組みを分かりやすく取り上げられている。</p> <p>C 写真入りで分かりやすく作業行程が書かれている。身近な野菜の教材からリサイクルを意識したペットボトルを加工した容器栽培方法まで幅広く取り上げられている。</p> <p>D インターネットの仕組みやプログラムとその手順が分かりやすくなるようフローチャートを数多く取り入れ、生徒の興味・関心が高い内容であるについて取り扱っている。</p> <p>(2) 話し合い活動が活発になるよう「話し合おう」、「調べよう」などが設けられている。設計図、回路図、フローチャートなど教科特有の言語も取り扱って、発言や話し合いが行われるよう配慮されている。</p> <p>(3) 実習例を多く取り上げ、地域や学校に合わせて学べるよう配慮されている。ペットボトルや袋、コンテナなどを利用した栽培など、簡単にできるようなものを入れている。</p> <p>(4) グラフやイラストを使用し、エネルギーの問題や環境問題を解決するための分かりやすくなるよう配慮されている。</p>	

大観 点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程 度 ・ 選 択 ・ 取 扱 に つ い て	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 生徒が手順よく作業ができるよう発達の段階を踏まえ、具体的な写真で示すなど配慮されている。</p> <p>(2) 歩行ロボットや東京スカイツリーなど写真やイラストを用いて取り上げ生徒が興味・関心を抱くよう意識することができる。「Think考えよう」では、家庭でも実践することができるよう工夫されている。ものづくりや栽培について、作業内容について細かく説明されている。</p> <p>(3) 「発展」マークや「資料」マークが設けられており、学習した内容が確認できるよう配慮されている。</p> <p>(4) 「Examine調べよう」や「実験」マークを設け、生徒が自ら積極的に作業に取り組めるよう工夫されている。</p> <p>(5) やさしい色合いのイラストや図解が利用されて、生徒が読みやすくなる工夫がなされている。</p> <p>(6) 「安全」マークや「注意」マークを設け、安全のために心掛ける工夫がなされている。イラストや図を詳細に示したりすることで安全に学習が行えるよう配慮されている。</p>
3 組 織 ・ 配 列 等 に つ い て	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 本文や説明文の内容が他の題材で扱われている場合は、そのページ番号が示され、確認できるよう配慮されている。ものづくりの過程にある道具の操作について「基礎技能」として詳しくまとめられており、それらを利用した実践例へと系統性を持たせるよう配慮されている。</p> <p>(2) 他教科等との関連については、理科の回路実験や社会科の代表的な世界の都市の気候などが記載されている。また、道徳の勤労の尊さや意義を理解できる題材が取り上げられている。</p> <p>(3) 様々な実習例を取り扱うことにより、各学校の実情に応じた活動が行われるよう配慮されている。</p>
4 上 記 以 外 の 特 徴 点 に つ い て	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・章末問題により定着の度合いがチェックできるよう工夫されている。</p> <p>・持続可能な社会について、伝統的な木工製品である樽や桶、神輿などの伝統工芸品にも関心を持たせるよう配慮されている。</p> <p>・各地に関わる技術が「世界に誇る日本の技術」に日本地図とともに示されており、技術について身近に感じられるよう配慮されている。</p> <p>(2) 「つくる」「つかう」「いかす」の製品ライフスタイルを示す図に用いられている円の形が楕円になった。</p> <p>さくいんに掲載されている単語の読み仮名に誤りがあったものを訂正していた。</p>



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の観点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 中学生が活動している様子や、取組みの場面が、分りやすいように写真や図表で示され、内容が分かりやすいように工夫されている。また、授業内容が、生徒の生活や興味・関心と結びつけられ、学習の意義が理解しやすくなっている。</p> <p>(2) 「？」で示された問いに、生徒が自ら考え、答えを出すように工夫されている。また、授業内容が、生徒の生活や興味・関心と結びつけられ、学習の意義が理解しやすくなっている。</p> <p>(3) ページ下部に「豆知識」を設け、興味・関心に関連する情報を掲載している。また、生徒が主体的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>(4) 各題材の始めに、「調べる」という目的を明確にし、生徒が主体的に学習できるような工夫がされている。</p> <p>(5) カラ配置やフォントの大きさや色、読みやすさを考慮している。</p> <p>(6) 作業中の事故防止、作業の安全を重視し、作業の順序や方法を明確にし、生徒が主体的に学習できるような工夫がされている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) ガイダンスで、技術分野の学習内容を、生徒の生活や興味・関心と結びつけ、学習の意義が理解しやすくなっている。</p> <p>(2) 随所に「リンク」マークを用いており、他の内容や家庭分野とも関連付けて学習できるように工夫されている。</p> <p>(3) 教員が、生徒の生活や興味・関心と結びつけた学習内容を提供している。また、授業内容が、生徒の生活や興味・関心と結びつけられ、学習の意義が理解しやすくなっている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>・各内容の始めに、その内容に関する技術の歴史が年表や写真で示されている。</p> <p>・「進んで技術を評価し生活をより良くする～技術分野の出口～」が設定されており、技術を評価する視点や、持続可能な社会について取り上げられている。</p> <p>・「環境」マークを使用し、技術と環境との関わりについて、説明したり、考えさせたりできるように工夫されている。</p> <p>・教科書右側には、その内容で使用される道具や工具等の写真と名称が記載されている。</p> <p>・巻末資料として、各ソフトウェアの操作のポイントが記載されており、パソコン操作が慣れない生徒にも、操作に戸惑うことなく作業ができるよう配慮されている。</p> <p>(2) 横軸が年を示すグラフについて直近のデータが入った物に変更された。</p>

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

技術・家庭  
( 家庭分野 )

那須塩原市・那須町採択地区協議会



		種 目	技術・家庭（家庭分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1・2・3年		東京書籍株式会社	
家庭724 新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) 学習指導要領に示された目標・内容に適合している。学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	A 家族・家庭と子どもの成長	A 家庭や家族の基となる生活のありか。家族の生活のありか。家族の生活のありか。	
	B 食生活と自立	B 食生活のありか。食生活のありか。食生活のありか。	
	C 衣生活・住生活と自立	C 衣生活のありか。衣生活のありか。衣生活のありか。	
	D 身近な消費生活と環境	D 身近な消費生活のありか。身近な消費生活のありか。身近な消費生活のありか。	
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 「話し合い」などの活動やロールプレイングなどの実践例が充実している。	
	(3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。	(3) 「日本各地の郷土料理」や「地域に伝わる衣の文化」などが紹介されている。	
	(4) 現代社会における諸課題について配慮されているか。	(4) 「環境教育や持続可能な社会の構築に向けた取り組み」、「食育」、「防災や安全教育」、「ネット時代に対応した消費者教育」など、今日的な課題に関する学習が進められている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 生徒の生活経験に配慮し、「基礎技能」、「実習例」、「食品の実物大写真」、「幼児の靴」など、生徒が具体的にイメージできるよう配慮されている。また、発達段階に応じた適切な用語を用い、中学校以降で学習する常用漢字には、ふりがなを付けている。</p> <p>(2) 随所に「いっしょに学習する仲間」が登場し、吹き出しの台詞は、生徒の興味・関心を高めるべく、「学びを深めたい」「Q&amp;A」では、学習内容と関連させた項目が示され、生徒の関心を高めるための工夫がされている。また、実習や布を用いた物の製作実習例は、幅広い難易度の題材をそろえている。</p> <p>(3) 「発展」マークで、学習指導要領に示されていない内容を紹介し、必要に応じて学習できるようになっている。</p> <p>(4) 編の導入には「この編で学ぶこと」、各節には「目標」という学習の到達目標を示し、生徒が見通しをもって主体的に学習できるようにしている。</p> <p>(5) 調理の手順は、見開きを使って流れが分かりやすくなっている。写真と材料と分量、作り方が分かりやすく、参考例は、使いやすいように工夫されている。</p> <p>(6) 巻頭に「実習を楽しく安全に進めよう」を設け、実習における注意を喚起し、安全への意識を高め、安全な工夫をしている。また、「安全」「衛生」マークで分りやすく示されている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 「家庭分野ガイダンス」P8～13を巻頭に設け、小学校家庭科の学習を振り返るとともに、中学校技術・家庭科家庭分野の3年間の学習の見通しをもたせ、小学校の既習内容には「小学校」のマークが示され、小中学校の系統性を意識できるようになっている。</p> <p>(2) 他の題材と関連する内容には「リンク」マークを用い、横断的に学習内容が理解されるよう配慮されている。また、他教科と関連がある学習内容には、「他教科」マークが示されている。</p> <p>(3) ロックミシンやコンピュータミシン、デジタルばかりを掲載し、学校の実情に応じられるよう配慮している。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>(1) ・大判の紙面で、適度な余白があり、すっきりと見やすい。  ・生活と衣生活は、「基礎技能」のページを設け、各学校で指導者の実情（免指導ができるよう配慮されている）が異なっても、基礎的・基本的な学習を押し込めず、  ・「プロに聞く」や「学んだことを生かす」では、それぞれの学習におけるポイントや生徒へのメッセージを掲載し、勤労観や職業観を育むことができるよう配慮されている。  ・日本や郷土に昔から伝わる食、衣服、住まいを写真とともに多数取り上げ、「伝統・文化」マークを用いて、日本の伝統に誇りや愛着を持ち、継承できるような工夫がされている。</p> <p>(2) ・JIS規格変更に伴い、衣服の取り扱い表示に関する記述が変更されている。特に「取り扱い表示の例」の表や「繊維の種類とアイロン温度」の表では、新旧表示の両方を掲載している。  ・「新しく表示する」ということのために、数値が加筆され、少なくする。  ・「聞く」で着物の文化を伝える部分では、写真が工芸品に変更されている。</p>

		種 目	技術・家庭（家庭分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発 行 者 名	
1・2・3年		教育図書株式会社	
家庭725 新技術・家庭 家庭分野			
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) 学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。 A 家族・家庭と子どもの成長 B 食生活と自立 C 衣生活・住生活と自立 D 身近な消費生活と環境	
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 「考えよう」「話し合おう」が題材ごとに設定されており、生徒にとって身近なテーマで、グループで発表しあい意見交換できるような工夫がされている。	
	(3) 地域の実態に応じる配慮がされているか。	(3) 食生活や地域の特色が、教材に反映されている。また、地域の特色が、教材に反映されている。	
	(4) 現代社会における諸課題について配慮されているか。	(4) 「健康な生活」「環境にやさしい生活」「食生活」などのテーマが、教材に反映されている。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 各単元の小題材名が生徒にもわかりやすい言葉で表記されている。また難しい語句や、専門的な用語について「参考」や「注釈」で説明を補足している。「さまざまな家族」では物語や映画、アニメが取り上げられ生徒がイメージしやすく工夫されている。</p> <p>(2) 各題材の導入では、生徒の身近な話題に触れ、現時点での自分の知識や技能を確認することで、その後の学習の弾みになっている。また具体的なイラストや図表、写真を用いて、視覚的に興味・関心を高められるように配慮されている。</p> <p>(3) 「発展」マークでは、学習の進んだ生徒や興味をもった生徒に対し、必要に応じて取り組めるよう配慮されている。「選択」ではそれぞれの内容でさらに興味・関心をもった内容に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>(4) 各内容を学習し終わった後に、「学習の振り返り」そして「生活の課題と実践」へつながるような学習が、スムーズに行えるよう工夫されている。</p> <p>(5) 6つの基礎食品群や食品成分表が種類ごとと分量、且つ調理実例は縦長に上から順に写真全体に透明なフィルムを貼って色分けされている。またアウトレイ色は白と黒の組み合わせで色分けされている。</p> <p>(6) 具体的な場面をイラスト等で表し、その中で特に安全に対する注意点を赤色を用いて「安全」や「×」ではっきりと示している。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) A～Dの各内容の始めの部分で「自立度チェック」が設けられ、家庭分野の大きなテーマの1つである「自立」を常に意識できるような配慮がされている。また、各内容の最後には「学習の振り返り」をし、さらに「生活の課題と実践」とつながっており、各内容で1つのまとまりになっている。</p> <p>(2) 「リンク」マークで、技術分野の内容との関連が図られている。</p> <p>(3) 「日常食の調理」ではp102で、様々な調理用具を取り上げ、さらにp108では計量器具や熱源について数種類紹介し、調理実習例も豊富で、学校の実情に合わせた学習ができるよう配慮されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>(1) ・各題材ごとに「キーワードチェック」が設けられており、重要な語句の確認ができ、知識の定着に役立つよう工夫されている。 ・巻頭の見開きのページでは「年中行事とわたしたちの暮らし」が月ごとにまとめられており、日本の古き良き伝統についてわかりやすく掲載されている。</p> <p>(2) ・JIS規格の変更に伴い、衣服の取り扱い表示において新表示と旧表示の一覧の配置を変更している。 ・食品表示法の施行により、新たな食品表示について付け加えられている。</p>

令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

		種目	技術・家庭（家庭分野）
教科用図書の記号・番号・名称		発行者名	
1・2・3年		開隆堂出版株式会社	
家庭726 技術・家庭（家庭分野）			
大観点	小観点	調査の結果	
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1) 学習指導要領に示された目標・内容を十分理解し、必要課題を十分設定し、内容を消化して、決めることができる。近頃の生活環境や食生活の状況や、身近な消費生活と環境について、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	
	A 家族・家庭と子どもの成長	A 自己生活の自立を促すための指導が、生活場面や身近な環境を踏まえて行われている。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	B 食生活と自立	B 食生活や食文化の理解を促すための指導が、生活場面や身近な環境を踏まえて行われている。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	C 衣生活・住生活と自立	C 衣生活や住生活の理解を促すための指導が、生活場面や身近な環境を踏まえて行われている。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	D 身近な消費生活と環境	D 身近な消費生活や環境の理解を促すための指導が、生活場面や身近な環境を踏まえて行われている。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 各単元の言語活動が、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	(3) 地域の実態に応じた配慮がされているか。	(3) A～Dの各単元の言語活動が、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	
	(4) 現代社会における諸課題について配慮されているか。	(4) 食育、防災、環境教育等、現代社会における諸課題について、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。また、食生活や衣生活など、日常生活の様々な場面で、学習指導要領に示された目標・内容に適合している。	

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果
2 程度・選択・取扱について	<p>(1) 発達の段階について考慮されているか。</p> <p>(2) 生活、興味・関心に適応しているか。</p> <p>(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。</p> <p>(4) 生徒が主体的に学習できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。</p> <p>(6) 学習を安全に行う上での配慮がされているか。</p>	<p>(1) 図表・写真・イラスト等、生徒の心身の発達段階に適合している。特に実物大写真は生徒の学習への意欲付けを図られるよう工夫されている。</p> <p>(2) 右上の爪見出しには、A・B・C・Dそれぞれの内容を特徴づける写真を掲載し、各題材に興味を持って学習内容に関して、知っておくとよい内容や情報が掲載されている。</p> <p>(3) 「探究」マークが設けられ、学習した内容を補充できるよう工夫されている。また、「発展」ページでA・B・Cの各内容に環境への配慮の視点を示してある。</p> <p>(4) 各題材とも「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成され、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。また、「豆知識」コーナーを設け、学習内容に関して、知っておくとよい内容や情報が掲載されている。</p> <p>(5) 見やすくなるために「CUD」(カラーユニバーサルデザイン)を取り入れた製作などは、本文や写真や手順・ポイントの区別が明確であり、レイアウトが使いやすい。</p> <p>(6) 「安全」「衛生」マーク等、安全に配慮すべき事項がわかりやすく示されている。また、巻末の折り込みページには、実習・製作中の安全と防災についてまとめられている。</p>
3 組織・配列等について	<p>(1) 系統性について配慮されているか。</p> <p>(2) 他教科等との関連について配慮されているか。</p> <p>(3) 学校の施設・設備の実情に応じる幅があるか。</p>	<p>(1) 「話し合ってみよう」「考えてみよう」コーナーで、基礎的な技術の確認等をし、小学校の学習の振り返りが取り上げられている。基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容への学習へと、系統的に展開されている。</p> <p>(2) 「リンク」マークで、他の学習項目や技術分野、他教科と関連する内容が表示されている。</p> <p>(3) 調理例や製作例等は、地域・学校や教師の事情、生徒の興味・関心に応じて選べるよう、多様な例を示している。特に、「幼児向けの活動」という活動に、具体的な方法が示されている。</p>
4 上記以外の特徴点について	<p>(1) その他の特徴点は何か。</p> <p>(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。</p>	<p>(1) ・多様な職業の人からのメッセージが多く掲載され、キャリア教育との関連が図られている。 ・「言語活動の充実のために」が設定され、思考・判断・表現力等を育てるための配慮がされており、具体的に示されている。 ・A・B・C・D各内容で、地域との関わりや伝統文化について資料が充実している。</p> <p>(2) ・グラフの色使いが見やすくなっている。 ・JIS規格変更に伴い、衣服の取り扱い表示の表について新表示と旧表示の両方を掲載している。 ・食品表示法について「豆知識」の欄に情報を掲載している。</p>

令和 2 年度使用

中学校・義務教育学校後期課程用  
教科用図書調査研究資料

英 語

那須塩原市・那須町採択地区協議会

令和 2 年度 使用 中学校 教科 用 図書 調査 研究 資料

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	英 語
1 年			2 年	3 年
英語 7 2 7 NEW HORIZON English Course 1	英語 8 2 7 NEW HORIZON English Course 2	英語 9 2 7 NEW HORIZON English Course 3	東京書籍株式会社	
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)		
	① 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、なごのコミュニケーション能力の基礎の育成への配慮	① Starting Out、Dialogでは聞く・話す活動に、Read and Think では、読む・書く活動に重点が置かれ、段階を踏んだ構成になっている。1年では、各Unit末に4技能をそれぞれ活用する活動が、2、3年生では、Unitの終了時にActivityで複数の技能を関連づけた活動が、各学年3回のPresentationでは4技能を統合した言語活動ができるよう工夫されている。		
	② 言語や文化に対する理解を深めること	② 日本だけでなく、英語圏や非英語圏の国々で生活している人々の生活文化について工夫されている。	② 1年：ホムラ、トリス、イン、大ジロン 2年：ホムラ、トリス、イン、大ジロン 3年：ホムラ、トリス、イン、大ジロン ① ライオン、アメ、ブ、ア ② ナ、アイ、レ、チ ③ ム、ホ、エ、ス、チ ④ ト、ヘ、ム、ス、ト、ス、チ ⑤ ヌ、ヘ、ム、ス、ト、ス、チ ⑥ ヌ、ヘ、ム、ス、ト、ス、チ	
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) Unitの各Partに基礎的言語材料を習得し、活用できるように工夫されている。			
(3) 国際理解を深めること、日本人のよさを伝えること	(3) 日本と世界の文化の違いや、日本人のよさを伝えることについて工夫されている。			



大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 身近な学校生活から地球規模の災害対策、平和問題まで発達の段階を考慮した多様な題材が設定されている。	(1) 1年：身近な話題、比較文化 2年：福祉、異文化理解、キャリア教育、伝統文化、生命尊重 3年：福祉、伝統文化、フェアトレード、世界平和、防災、環境問題
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) Daily Sceneでは、日常生活で使える表現が写真と台詞を使って、生徒が興味・関心を持って学習できている。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) Daily Sceneで学んだ文法事項などを、より実践的な場面での練習や、プレゼンテーションの練習などを通して、より深い理解や表現力を身につけることができるように配慮されている。	(3) 2年：名作鑑賞（1文） 3年：名作鑑賞副詞（2文） ・関係詞構文（3文）
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) 生徒が主体的に学習できるように、授業の中で、生徒が自ら表現し、発表する機会を積極的に提供している。	(4) 1年：学びのコーナー⑥ ・発音記号
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されている。	
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 教科書全体が、基礎となる文法と語彙を習得するUnit、場面別のコミュニケーション活動を通して、Daily Scene、学んだことを自己表現活動を行うPresentationの3部で構成されている。	(2) Presentationの内容 1年：自己紹介、一日の生活、思い出の出来事 2年：将来の夢、町紹介、好きなこと・もの 3年：修学旅行、中学校生活
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 小学校外国語活動との円滑な接続が図られるよう、1年生の冒頭にはHi English!とUnit0が設定されている。また、2、3年生においてもUnit0で前学年の学習内容を確認した上で、指導できるよう配慮されている。	(3) 1年：世界の食文化、海外で出会う日本文化など 2年：職業体験と将来の夢、ユニバーサルデザインの実際の意義など 3年：アマゾン川と熱帯雨林の恩恵と環境問題など
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 異文化、伝統文化、自然科学、物語、地理、歴史、芸術、音楽、図画、理科、社会科、英語科、他教科との関連が図られている。	
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	・教科書の大きさがA B版である。 ・2、3年生において、短めに設定された英文(Starting Out)で基本文を導入し、対話形式の英文(Dialog)を通して基本文の定着を図っている。	
	(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。	・特になし。	

令和2年度使用中学校用教科用図書調査研究資料

教科用図書の記号・番号・名称			種目	英 語
1 年	2 年	3 年		発 行 者 名
英語 7 2 8 SUNSHINE ENGLISH COURSE 1	英語 8 2 8 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2	英語 9 2 8 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3		開隆堂出版株式会社
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。	(1)		
	① 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、なごのコミュニケーションの基礎の育成への配慮	① 4技能の総合的な育成を図るため、見聞き2ページの中に「聞く」「話す」「読む」「書く」の活動が並行して行われる。また、POWER-UPでは学習の進捗に合わせて複数の技能を連付けた活動が行われる。		
	② 言語や文化に対する理解を深めること	② 日本と諸外国の文化を比較し、その違いを捉え、理解を深める。また、国際理解を深めるため、英語で表現する機会を設け、国際理解を深める。		
(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) 各PROGRAMにおいて、ペアワークやグループワークを多く取り入れている。ListenとSpeakは基礎的な言語材料を身に付ける活動場としており、Tryは言語材料の使用場面を表現し、練習や活動を通して、My Projectでは統合的な活動が行われる。			
(3) 国際理解を深めるための高水準の教材を用いているか。	(3) 日本と諸外国の文化を比較し、その違いを捉え、理解を深める。また、国際理解を深めるため、英語で表現する機会を設け、国際理解を深める。			
		② 1年： 国際紙、トン、一、菜、やちら 2年： フイ、ン、落、オム、の、ル、ラ 3年： 野、山、ル、マ		
		② 1年： 国際紙、トン、一、菜、やちら 2年： フイ、ン、落、オム、の、ル、ラ 3年： 野、山、ル、マ		
		③ 2年： チャ、セ、キ、ナ、ド 3年： ヴァ、ン、カ、リ、ス、ド、ク、ム、ス、		

大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 新しい言語材料を含む対話文は、2文から3文、4文へと増えている。題材は、学年が上がるにつれて社会的な問題を多く扱っている。	(1) 1年：異文化相互理解、福祉、日本文化、環境問題 2年：異文化相互理解、職業文化、国際理解 3年：伝統文化、日本文化紹介、環境問題、平和問題、人間理解
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 全学年とも、Welcome to Sunshine Worldにおいて各単元に関わる写真が掲載され、生徒の興味・関心、学習への意欲が高まろう工夫されている。1年のアクシオンカードは、実際に取り取ってコミュニケーション活動が行えるよう工夫されている。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) おおきく自己表現の場を設け、Write My Projectに「おまけ」を添えて提出する機会を設けている。また、Write My Projectの「おまけ」は、英語の「おまけ」を添えて提出する機会を設けている。また、Write My Projectの「おまけ」は、英語の「おまけ」を添えて提出する機会を設けている。	
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) 巻末付録「My Project」の活用を促している。また、巻末付録「My Project」の活用を促している。また、巻末付録「My Project」の活用を促している。	
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 「英語のしくみ」のページでは、英語のしくみを分かりやすく説明している。また、英語のしくみを分かりやすく説明している。また、英語のしくみを分かりやすく説明している。	
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 各PROGRAMの中で、4技能の基本的な力を身に付けられるよう配慮されている。また、それらを更に伸ばすための活動としてPOWER-UPが設定されている。各PROGRAMは3セクションでまとめられている。	
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 各学年3回ずつ設けられているMy Projectに向けて、各PROGRAMで学べるつくりになっている。小学校外国語活動との円滑な接続が図られるよう音と綴りを結びつける活動としてLet's Start及びPROGRAM 1が設定されている。	(2) My Projectの内容 1年：自己紹介、人物紹介、情報収集 2年：スキット作り、スピーチ、CM 3年：インタビュー、日本文化の紹介、卒業に向けて
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 国際社会を生きる人々の文化や生活の姿を学ぶ機会を設けている。また、国際社会を生きる人々の文化や生活の姿を学ぶ機会を設けている。また、国際社会を生きる人々の文化や生活の姿を学ぶ機会を設けている。	(3) 1年：リサイクル活動、国際フットボール大会 2年：職業体験、ズキナリ 3年：5Rs運動、パキスタンの少女マハラなど
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末付録が工夫されている。(1年アクションカード、2・3年クイックQ and A、全学年CAN-DOリスト)</li> <li>・教科書の大きさがA B版で、写真や図などが見やすく、書き込みやすいよう配慮されている。</li> <li>・CAN-DOリストが4技能別に一覧になっており、年間4回チェックできるよう工夫されている。</li> <li>・セクション毎に目標が示されており、見通しを持って学習に取り組める。</li> <li>・新しい言語材料が会話形式で示されているため、実際の使用場面がイメージしやすい。</li> </ul>	
	(2) 平成28年度採択見本から変更のあった主な点は何か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挿絵が写真に変更されていたり、解説が最新の情報やより詳しい内容に変更されたりしていた。</li> <li>・本文がより自然な表現に変更されていた。例) Monday→Mondays, Did you?→You did?</li> <li>・練習問題の文章を変えることで、より多くの表現を取り入れるようになった。</li> <li>・あまり重要でない語句や慣用句がNew Workdsから削られていた。</li> </ul>	



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 身近な話題から日本文と異なると、言語、文化、社会にたいする工夫は、理解され、異なる感覚を深めていくように工夫されている。また、1年「自分（過去、現在、未来）」まで、発達段階を考慮した活動が設定されている。	(1) 1年：日常生活、異文化理解、福祉、自然科学 2年：伝統文化、異文化理解、職業体験、環境保全問題、人間理解 3年：学生活、伝統文化、異文化理解、環境保全問題、国際社会の平和
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 1年「自分（過去、現在、未来）」まで、発達段階を考慮した活動が設定されている。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) Lessonの後にReviewが設けられ、1年では3技能、2、3年では4技能を用いた活動を通して、学習内容を定着させ、Chapterの後にChapter Projectの活動が設けられている。	
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) Chapterの扉に、各コーナーのトピックや言語材料、目標が分かるよう工夫されている。	
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 生徒の理解を助けるために写真やイラストが多用され、目に優しく落ち着いた配色が施されている。また、Check It Outのページでは英文の構成要素ごとに色分けされ、語順が理解しやすいよう配慮されている。	
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 言語材料のまとまりごとに4つのChapter(章)で構成されている。各Chapterには複数のLessonがあり、Lessonは本文、目標文、ActivitiesからなるSectionと、重要表現を確認・復習するReviewで構成されている。また、Chapter Projectでは、自己表現活動ができるよう工夫されている。 小学校外国語活動で慣れ親しんできた表現(一般動詞)から導入することで、小学校と中学校の接続を円滑にする。	
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 各Chapterの最後に、目標となる統合的な言語活動Chapter Projectが、各学年の最後には1年間目標となるBook Projectが設定されている。3年間で系統的な指導ができるよう工夫されている。 小学校外国語活動との円滑な接続が図られるようPre-Lesson、Let's Startが設定されている。	(2) Chapter Projectの内容 1年：自己紹介、他者紹介、写真、手紙、大切なものなど 2年：日記、旅行計画、将来の夢、宝物、観光パンフレットなど 3年：伝統文化紹介、インタビューする人、自分の人生など
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 日本の伝統文化や異文化を通しての国際理解、言語、習慣、環境問題、そして道徳の育成に関する題材が設定されている。	(3) 1年：アメリカの中学校生活、お正月など 2年：相撲、ジェスチャー、職業体験、学習、3Rs運動など 3年：アンネの日記など
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。  (2) 平成28年度採択見本本から変更のあった主な点は何か。	・章末のCheck It Outで言語材料や文法事項を体系的に振り返ることができるよう配慮されている。  教科書の構成では大きな変更はないが、以下の細かな違いが見受けられた。 ・Check It Outの例文に微細な変更あり→学習内容を焦点化するためか。 ・本文に関する設問の変更あり→本文中の単語を使って答えられるようにしている。 ・This is my good friend.こちらは私の友達です。→こちらは私の親友です。のように、細かな日本語訳の変更。 ・Review内のWritingにおいて、使用している単語の違いあり→本文に出てくる順番による変更。	

令和 2 年度 使用 中学校 用 教科 用 図 書 調 査 研 究 資 料

種 目			英 語
教科 用 図 書 の 記 号 ・ 番 号 ・ 名 称			発 行 者 名
1 年	2 年	3 年	株 式 会 社 三 省 堂
英語 7 3 0 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1	英語 8 3 0 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2	英語 9 3 0 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3	
大 観 点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小 観 点 及 び 内 容 の 全 体 的 な も の	
1 内 容 に つ い て	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  ① 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、などのコミュニケーション能力の基礎の育成への配慮  ② 言語や文化に対する理解を深めること	(1)  ① GETのPracticeで基本文を身に付けるための聞く、話す、書く活動を、GETの本文で読む活動を、総合的に4技能を指導できるよう工夫されている。またGETで身に付けた知識を活用する場として、USEが設定されている。  ② 各学年に自国の伝人文化や自然科の学習内容を、GETのPracticeで身に付けるための聞く、話す、書く活動を、GETの本文で読む活動を、総合的に4技能を指導できるよう工夫されている。またGETで身に付けた知識を活用する場として、USEが設定されている。	② 1年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 2年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 3年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) GETでは、基礎・基本の習得のためのListen, Speak, Writeなどの活動が、USEではReadに加え発展的なWriteやSpeakの活動が設定されている。また、いくつかのLessonで習得した知識を活用するProjectでは複数の技能を統合して言語活動が行えるよう工夫されている。	③ 1年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 2年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 3年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。
	(3) 国際理解を深めること	(3) 英語の学習を通じて、異文化理解を深めること。	③ 1年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 2年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。 3年： 本校の生活、授業、行事などに関する情報を、英語で伝えることができるようになること。

大観点	小 観 点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 各学年にCan-Doリストがあり、発達段階に 応じたタスクが設定されている。1年生の 題材について、1年での世界的な内容 の問題や人間理解まで、扱っている。	(1) 1年：自己紹介、環境問題、異文化理解、 伝統文化 2年：異文化理解、自然環境問題、 将来の夢、日本の食文化 3年：異文化理解、伝統文化、 平和問題、自然環境問題、 人権問題、人間理解
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 2年での職場体験を扱った内容など、 生徒の生活と関連を付けた内容や、 生徒の生活に合った内容や、 興味・関心を高める工夫がされている。	(1) 1年：自己紹介、環境問題、異文化理解、 伝統文化 2年：異文化理解、自然環境問題、 将来の夢、日本の食文化 3年：異文化理解、伝統文化、 平和問題、自然環境問題、 人権問題、人間理解
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 各Lessonに「で末のな法文、事項をReview して、発展的に 学習している。2 年生のLesson で、発展的な 学習を行っている。	(3) 3年：Lesson6 USE Read 関係副詞 where (1文) Let's Read③ make+A+動詞の原形 (1文)
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) For Self-studyに 対して、各Lesson の学習目標を 明確にする。1 年生のLesson で、主体的に 学習できるように 配慮されている。	(4) 1年：つづりと発音
	(5) ユニバーサルデザイン の視点について配慮 されているか。	(5) 本文のイラストも 工夫されている。 内容が豊かで、 理解しやすい。 イラストも工夫 されている。	(4) 1年：つづりと発音
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列 は適切か。	(1) 各Lessonは、見通しを 立てて「とびら」 の基礎・基本を 習得する。USE 材料を確認し、 「まとめ」で構 成されている。また、 Lessonから独立 したLet's Listen やTalkが配置 されている。	(2)Projectの内容 1年：自己紹介、友達に インタビュー、大切な もの 2年：有名人の紹介、 自分の夢、自分の町 3年：先生にインタビュー、 ディスカッション
	(2) 系統性について配慮 されているか。	(2) 年3回、統合的な 言語活動のProject が設定されている。 小学校外国語活動 との円滑な連携が 図られるよう、 Get Ready及び Lesson1～3にお いて、音綴りや 導入の工夫が されている。	(2)Projectの内容 1年：自己紹介、友達に インタビュー、大切な もの 2年：有名人の紹介、 自分の夢、自分の町 3年：先生にインタビュー、 ディスカッション
	(3) 他教科等との関連に ついて配慮されているか。	(3) 題材に文化、 理科、体育、 音楽、総合、 道徳、保健、 学習指導要領 の観点から、 関連性を 図っている。	(3) 1年：校外学習、アメリ カの文化 2年：学生生活、ロボ ット、木槇子、 キング牧師 3年：佐々木
4 上記以外の 特徴点について	(1) その他の特徴点は何 か。	・教科書の大きさがA B版である。 ・USE Readを含め、 教科書の分量が多 く、多量の英語に 触れることができ る。	
	(2) 平成28年度採択見 本から変更のあった 主な点は何か。	・特記事項なし	

教科用図書の記号・番号・名称			種 目	英 語
1 年			2 年	3 年
英語 7 3 1 ONE WORLD English Course 1 英語 7 3 2 ONE WORLD English Course 1 Essentials			英語 8 3 1 ONE WORLD English Course 2 英語 8 3 2 ONE WORLD English Course 2 Essentials	英語 9 3 1 ONE WORLD English Course 3 英語 9 3 2 ONE WORLD English Course 3 Essentials
教育出版株式会社				
大観点	小 観 点	調 査 の 結 果		
		小観点及び内容の全体的なもの		各学年の特記事項
1 内容について	(1) 内容及び範囲は、学習指導要領に示された目標・内容に適合しているか。  ① 聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと、などのコミュニケーション能力の基礎の育成への配慮  ② 言語や文化に対する理解を深めること	(1)  ① 各LessonはHop、Step、Jumpで構成されている。Hop、Stepで学習した内容を、Jump Taskで複数の技能を活用しながら振り返りができるよう工夫されている。また、Jump Projectでは、複数のLessonや活動などで積み上げてきた知識や技能を異なる場面で活用が図られるよう配慮されている。  ② 日本や世界各国の生活、風習、文化及び社会問題などが取り扱われている。		
	(2) 言語活動が十分行われるよう配慮されているか。	(2) Lessonの各Partには、Listen、Speak、Write等の基礎的な言語材料を身に付ける活動が用いられ、最後にJump Taskの活動場面を表現する。Jump Projectは、各Partの活動の成果を総合的に表現する。また、Jump Taskの活動場面を表現する。Jump Projectは、各Partの活動の成果を総合的に表現する。		
	(3) 国際理解を深めること、高めようとする意図が、深層に際して自多方向に理解を促すよう配慮されているか。	(3) 本邦の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などについて、日本と外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などを比較対照し、相互の理解を深めること、高めようとする意図が、深層に際して自多方向に理解を促すよう配慮されている。		
		(3) 1年： 外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などについて、日本と外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などを比較対照し、相互の理解を深めること、高めようとする意図が、深層に際して自多方向に理解を促すよう配慮されている。 2年： 外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などについて、日本と外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などを比較対照し、相互の理解を深めること、高めようとする意図が、深層に際して自多方向に理解を促すよう配慮されている。 3年： 外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などについて、日本と外国の文化や生活習慣、食文化、言語、風習、歴史、地理、社会問題などを比較対照し、相互の理解を深めること、高めようとする意図が、深層に際して自多方向に理解を促すよう配慮されている。		



大観点	小観点	調査の結果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 自分自身や友達との成長の過程を振り返る。また、1年間の学習の振り返りを行う。	(1) 1年：学校生活、日本文化、異文化理解 2年：福祉、異文化理解、将来の夢、環境保全問題、技術・情報化社会 3年：異文化理解、伝統文化、人間理解、国際社会の平和
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 1年：漫画、2年：盲導犬やハロウィンなど、3年：修学旅行や英語の学習など、興味・関心のある題材を取り上げる。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) 各Lessonには、既習事項を復習するためのJump Taskと既習事項を使い分けた表現活動の定着を図る。また、英語の復習を促す。	
	(4) 生徒が主体的に学習できるように配慮されているか。	(4) 巻末の「Can-Do」を参考に、生徒自身が学習の進捗を確認できるように工夫する。	
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 1年：Jump Projectの幅を広げる。2年：Writing Tipsの活用を図る。	(5) 2年：Word List ユニバーサルフォントが用いられている。
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 各Lessonは、Hop、Step、Jumpの3段階で構成されている。HopとStepでは、読む活動とActivityを通して段階的に学ぶ。また、Jumpでは、Lessonを振り返る活動と4技能を統合した活動が行えるよう配慮されている。1年の最後でbe動詞の過去形が扱われている。	
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 複数のLessonごとに、ゴールとなる統合的な言語活動Projectが設定されている。また、4技能の学習の進捗を段階的に確認できるように工夫されている。また、3年間の学習の振り返りを行う。また、英語の学習の進捗を確認できるように工夫されている。	(2) Projectの内容 1年：自己紹介、友達紹介、好きな漫画やアニメについて 2年：英語の新聞、将来の夢、英語のガイドブック、卒業スピーチ 3年：町のガイドブック、卒業スピーチ
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) 国際理解、自然科学、福祉、文化、芸術などとの関連を図る。	(3) 1年：日本のアニメ文化、オーディオブックなど 2年：サッカー、ロボット、盲導犬など 3年：修学旅行、落語など
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。 (2) 平成28年採択見本から変更のあった主な点は何か	・別冊付録Essentials（赤色マスキングシート付き）では、様々な活動を通して基本文や語句の定着を図られるよう工夫されている。 ・目標の文言が一部「～できる」から「～することができる」に変更されている。 ・「Time for words」に使用されている絵の順番が生徒が使用しやすいものに変更されている。 ・先入れの絵が変更されている。また、色紙の順番も変更されている。 ・新しい絵が追加されている。また、色紙の順番も変更されている。 ・「熟語」の掲載が、英語の学習の進捗を確認できるように工夫されている。 ・「英語」の掲載が、英語の学習の進捗を確認できるように工夫されている。	



大観点	小観点	調 査 の 結 果	
		小観点及び内容の全体的なもの	各学年の特記事項
2 程度・選択・取扱について	(1) 発達の段階について考慮されているか。	(1) 本文は、教科書に登場してくる4人の経験などから、中学生が成長していき、おもしろい道徳心を養う。	(1) 1年：自己紹介、伝統文化、学校生活 2年：自然科学、異文化理解、福祉、職場体験、平和 3年：異文化理解、将来の夢、環境問題、社会情勢、情報教育
	(2) 興味・関心に適応しているか。	(2) 人権教育、福祉教育、環境教育など幅広く題材を扱い、生徒が興味・関心を持って学習に取り組めるよう工夫されている。	
	(3) 補充的な学習、発展的な学習について配慮されているか。	(3) You Can Do It!では、Unitごとの復習を4回行った後、Unitごとの単元復習を1回行った上で、Language Focusの練習を設ける。	
	(4) 生徒が主体的に学習できるような配慮されているか。	(4) Your Coachは、辞書の使い方や音読の工夫など、具体的学習方法を提示している。	
	(5) ユニバーサルデザイン化の視点について配慮されているか。	(5) 目に優しい色や読みやすさなど配慮されている。	
3 組織・配列等について	(1) 単元の教材構成、配列は適切か。	(1) 各Unitは本文、Try It!、You Can Do It!で構成されている。本文とTry It!で基本知識を習得し、You Can Do It!で4技能の活用が図られるよう工夫されている。その他Go for It!とLet's Readが配置されている。	
	(2) 系統性について配慮されているか。	(2) 統合的な言語活動Go for It!が、年に3回設定されている。小学校外国語活動との円滑な連携が図られるよう、音と綴りを結びつける活動としてLet's Enjoy Englishが設定されている。	(2) Go for It!の内容 1年：自己紹介、大切な人、ALT新聞など 2年：旅のしおり、職場体験、自分の町など 3年：修学旅行、給食と弁当、卒業文集など
	(3) 他教科等との関連について配慮されているか。	(3) CLIL (Content and Language Integrated Learning: 内容言語総合型学習) では、技術・家庭科、理科、保健体育など、他教科等の内容を英語で学習する工夫が盛り込まれている。	(3) 1年：食品と私たちの体 2年：日本の歴史、世界の気候 3年：スポーツをもっと知ろう、情報通信技術の発達と社会
4 上記以外の特徴点について	(1) その他の特徴点は何か。  (2) 平成28年採択見本から変更のあった主な点は何か	・教科書の大きさがA B版で、写真や図などが見やすく、書き込みやすいよう配慮されている。  ・COURSE2において平成28年度見本では山の名称が「マッキンリー」であったが、2015年に山の名称が「デナリ」に改称されたことを受け、平成31年度給本でも改称された。 ・その他は変更点はなかった。	